ひかりソフトフォン
取扱説明書

第2.1版

平成 23年 7月28日

西日本電信電話株式会社

●変更履歴

日付	版数	項	区分	変更内容
09/02/03	1.0版	―	―	初版
09/04/21	1.1版	―	修正	「ひかりソフトフォンをご使用になる前に」を修正
		1	追加	「注意」の追加
		1-12.1	追加	「ファイルコピーの完了（Windows XP の場合）」を追加
		1-19.1	追加	「注意」の追加
		1-22.1	削除	「注意」の削除
09/09/08	1.2版	3-1.1	変更	電話画面に通話品質ロゴを挿入 ※以降の電話画面全てに挿入
		表-3-1.1	追加	「音声/映像品質ロゴ」の説明を追加
		3-2.1	追加	電話の発信のメッセージ表示に「接続中です。」を追加
		3-3.1	変更	着信中ダイアログの表示画像の変更
10/07/15	2.0版	全て	変更	メイン画面、電話画面の変更に伴う各画面イメージの変更
		―	修正	「ひかりソフトフォンをご使用になる前に」を修正
		4	追加	「データ通信」の説明を追加
		6	追加	「環境設定」に「データ通信」に関する説明を追加
		6	変更	環境設定画面の変更に伴う環境設定画面イメージの変更
		6-9.2	修正	「使用許諾」を「利用規約」に修正
		1-9.1	追加	インストール時の設定項目の追加
		1-10.1	追加	インストール時の設定項目の追加
11/07/28	2.1版	―	追加	「ひかりソフトフォンをご使用になる前に」への追加

目次

ひかりソフトフォンをご使用になる前に

1.インストール～起動

1-1.1 インストールの準備
1-2.1 .NET Framework 警告画面
1-3.1 インストール開始
1-4.1 システム情報画面
1-5.1 ハードウェア要件不足メッセージボックス
1-6.1 利用規約
1-7.1 インストール先の選択
1-8.1 プログラムフォルダ選択
1-9.1 データ通信機能選択
1-10.1 テレビ電話の品質選択
1-11.1 ファイルコピー開始
1-12.1 セットアップステータス
1-13.1QoS ドライバインストール中メッセージボックス
1-14.1 ファイルコピーの完了（WindowsVista の場合、WindowsXP の場合）
1-15.1 インストール完了
1-16.1 セットアップの中止
1-17.1 インストールの中断
1-18.1 ソフトフォンの起動
1-18.2 デスクトップのショートカットからの起動
1-18.3 スタートメニューからの起動
1-18.4 クイック起動
1-18.5 ソフトフォン起動時の画面遷移について
1-18.6 スプラッシュ画面表示
1-19.1 内線番号設定
1-20.1 オートアップデート
1-20.2 オートアップデート画面
1-20.3 オートアップデート画面の動作
1-21.1 アップデート開始確認画面
1-21.2 アップデート開始確認画面の動作
1-22.1 ダウンロード画面
　(1) 推奨ダウンロード画面
　(2) 必須ダウンロード画面
1-22.2 ダウンロード画面の動作
1-23.1 セットアップ
1-24.1 アンインストール

2.メイン画面説明

2-1.1 メイン画面上部
2-2.1 メイン画面下部
2-3.1 ダイヤル画面
2-4.1 着信履歴画面
2-5.1 発信履歴画面
2-6.1 アドレス帳画面

3 電話

3-1.1 電話画面説明
3-1.2 送信相手が設定されていない場合の電話起動
3-1.3 送信相手が設定されている場合の電話起動
3-1.4 電話番号の入力
3-1.5 電話番号の削除
3-2.1 電話の発信
3-3.1 電話の着信
3-4.1 電話の終了
3-5.1 電話の保留
3-6.1 電話の音声ミュート
3-7.1 電話の映像ミュート
3-8.1 電話の音量調節
3-9.1 電話のデスクトップ共有
3-9.2 デスクトップ共有の起動
3-9.3 デスクトップ共有の開始
3-9.4 デスクトップ共有エリアの再設定
3-9.5 デスクトップ共有の終了
3-10.1 キャッチホンの応答
3-10.2 キャッチホンの切替
3-11.1 電話の転送
3-11.2 電話中のデータ通信受信許可／拒否切り替え

4 データ通信

4-1.1 データ通信画面説明
4-2.1 データ通信の起動
4-3.1 データ通信の着信
4-4.1 データ通信の自動応答
4-5.1 データ通信の画面モード変更
4-6.1 データ通信の送信用ファイルの追加
4-7.1 データ通信のファイル送信
4-8.1 データ通信の発信・呼び出しキャンセル
4-9.1 データ通信のファイル送信キャンセル
4-10.1 データ通信の送信リスト削除

4-11.1 データ通信の継続
4-12.1 データ通信の継続キャンセル
4-13.1 データ通信のファイル受信
4-14.1 データ通信のファイル受信キャンセル
4-15.1 データ通信の受信リスト削除
4-16.1 データ通信のファイル保存
4-17.1 データ通信のファイル保存キャンセル
4-18.1 データ通信の終了

5. 付属機能

5-1 メーラ
5-1.1 メーラの起動
5-2 アドレス帳
5-2.1 アドレス帳のグループの一覧表示
5-2.2 グループの追加
5-2.3 グループの名前変更
5-2.4 グループの削除
5-2.5 メンバの登録
5-2.6 メンバの削除
5-2.7 メンバ情報の変更
5-2.8 メンバ情報の閲覧
5-2.9 メンバの取り込み
5-2.10 メンバの書き出し
5-2.11 メンバの登録・変更時の自動応答チェック
5-3.1 電話時のダイヤルトーン（ダイヤルパッド表示方法）
5-4.1 クリック　トゥ　コールの設定
5-5.1 拒否メンバリスト画面説明
5-5.2 拒否メンバリストの表示
5-5.3 拒否メンバの登録
5-5.4 拒否メンバの変更
5-5.5 拒否メンバの削除
5-5.6 拒否メンバリストの取り込み
5-5.7 拒否メンバリストの書き出し

6　環境設定

6-1.1 環境設定の起動
6-2.1 システム
6-2.2 起動時の環境設定
6-3.1 ユーザ
6-3.2 内線番号変更画面
6-4.1 映像音声通信
6-5.1 推奨スペック画面
6-5.2 映像音声通信－音声
6-5.3 映像音声通信－映像
6-5.4 映像音声通信－メディアファイル
6-5.5 映像音声通信－着信音の設定
6-6.1 データ通信
6-7.1 データ入出力
6-8.1 着信中メッセージ
6-9.1 バージョン情報
6-9.2 利用規約
6-9.3 環境設定の終了

（参考）マルチディスプレイ環境での画面の移動について

ひかりソフトフォンご使用になる前に

ひかりソフトフォンをご使用になる前に「必要な機器」や「注意事項」を確認してください。

必要な機器

			CPU	メモリ	HDD
OS	Windows® 7 （SP1 32bit/64bit 対応）各エディション （Enterprise を除く） Microsoft.NetFramework3.5 SP1 および、 Microsoft.NetFramework3.5 SP1 日本語 Lannguage Pack 推奨	VGA	Intel® Core 2 Duo 2.00GHz 相当以上（推奨）	1G Byte 以上（推奨）	100M Byte 以上の空き容量
		QVGA	ﾃﾞｭｱﾙｺｱ もしくは ﾊｲﾊﾟｰｽﾚｯﾃｨﾝｸﾞ・ﾃｸﾉﾛｼﾞ対応ｲﾝﾃﾙ Atom ﾌﾟﾛｾｯｻｰ 1.6GHz 相当以上	1G Byte 以上（推奨）	100M Byte 以上の空き容量
	Windows® Vista（SP2 32bit 対応）各エディション （Enterprise を除く） Microsoft.NetFramework3.5 SP1 および、 Microsoft.NetFramework3.5 SP1 日本語 Lannguage Pack 推奨	VGA	Intel® Core 2 Duo 2.00GHz 相当以上（推奨）	2G Byte 以上（推奨）	100M Byte 以上の空き容量
		QVGA	ﾃﾞｭｱﾙｺｱ もしくは ﾊｲﾊﾟｰｽﾚｯﾃｨﾝｸﾞ・ﾃｸﾉﾛｼﾞ対応ｲﾝﾃﾙ Atom ﾌﾟﾛｾｯｻｰ 1.6GHz 相当以上	2G Byte 以上（推奨）	100M Byte 以上の空き容量
	Windows®XP （SP3 32bit 対応） Home/Professional Microsoft.NetFramework3.5 SP1 および、 Microsoft.NetFramework3.5 SP1 日本語 Lannguage Pack 推奨	VGA	Intel® Core 2 Duo 2.00GHz 相当以上（推奨）	1G Byte 以上（推奨）	100M Byte 以上の空き容量
		QVGA	ﾃﾞｭｱﾙｺｱ もしくは ﾊｲﾊﾟｰｽﾚｯﾃｨﾝｸﾞ・ﾃｸﾉﾛｼﾞ対応ｲﾝﾃﾙ Atom ﾌﾟﾛｾｯｻｰ 1.6GHz 相当以上	1G Byte 以上（推奨）	100M Byte 以上の空き容量
ヘッドセット			周波数特性の上限が 8000Hz 以上		
Web カメラ			・解像度：640×480、320×240、176×144 ・色数：24bit 色以上のカラー ・フレームレート：30フレーム/秒、15フレーム/秒、10フレーム/秒 ・ビデオフォーマットがI420 または RG24 または YUY2 をサポート ・DirectShow 対応 ・インタフェース：USB2.0 以上		

「ひかりソフトフォン」をご利用になるには、上記の要件を満たす機器が必要になります。上記要件を満たさない機器では、通話の品質の劣化や、パソコンの動作が不安定になる可能性があります。また、上記内容を満たしてもひかりソフトフォンがご利用いただけない場合があります。

注意事項

●「ひかりソフトフォン」のご利用には、「フレッツ 光ネクスト」「ひかり電話」およびプロバイダの契約・料金が必要です。ただし、「ひかり電話オフィスタイプ」及び「ひかり電話オフィスA（エース）」ではひかりソフトフォンはご利用いただけません。

●「ひかりソフトフォン」ご利用には、ひかり電話の契約約款（音声利用ＩＰ通信網サービス契約約款）に基づく料金が発生します。
ひかり電話のご利用料金については右記ＵＲＬをご参照下さい。 http://flets-w.com/next/hikari/ryoukin.html

●「ひかりソフトフォン」をインストールしているパソコンの電源がオフの時は通信を行うことができません。その際、緊急通報へ発着信が出来ないため、一般電話機を併用してひかりソフトフォンをご利用下さい。

●お使いのWebカメラやヘッドセットによっては「ひかりソフトフォン」が正常に動作しない場合があります。また、お客様の利用状況ばかりでなく、お客様と通信をされるお相手の利用状況（通信環境）によっても通話品質の劣化等が発生する可能性があります。ただし、その場合においても、接続開始から切断まで通話料金が課金されます。

●複数のアプリケーションの同時利用や、パソコンの無線LAN接続での利用（有線ＬＡＮ接続を推奨）、ソフトウェアの競合等、お客様の利用状況（通信環境）によっては正常にご利用いただけない場合があります。

●「ひかりソフトフォン」起動中にパソコンの環境変更やショートカットキー操作等、特定の操作を行った際、「ひかりソフトフォン」が正常に動作しない場合があります。

●マルチディスプレイ環境において「ひかりソフトフォン」のメイン画面と電話画面はメインディスプレイ以外ではご利用いただけません。

●「ひかりソフトフォン」をインストール及びアンインストール中はパソコンの電源を絶対に切らないで下さい。

●「ひかりソフトフォン」の操作方法等における注意事項は本取扱説明書の各ページにある「注意」をご確認下さい。

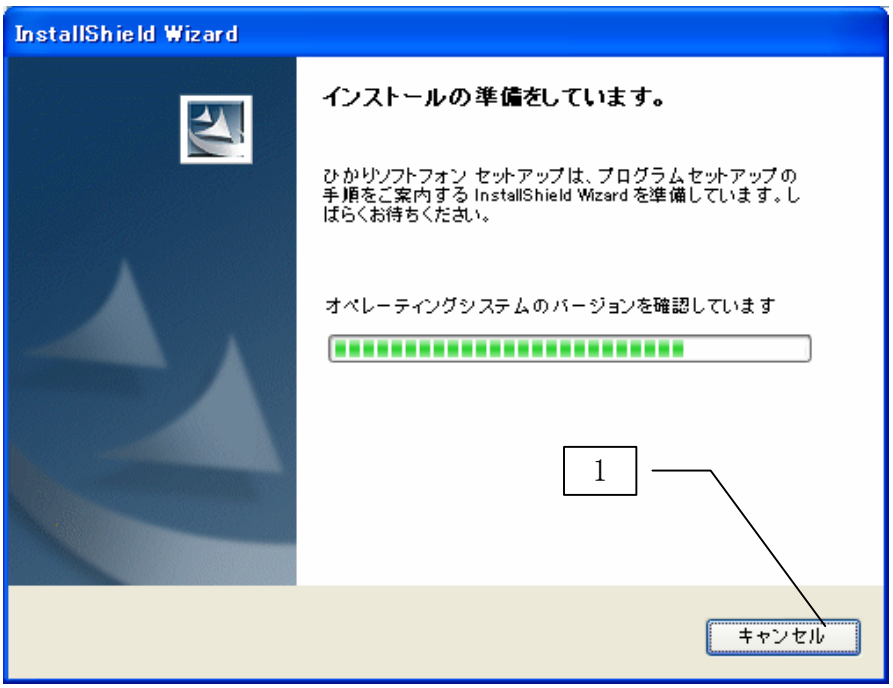
1インストール～起動

ご注意

①ひかりソフトフォンインストール前にWebカメラとヘッドセットの最新版のドライバをインストールし、パソコンに接続している必要があります。内蔵カメラについても最新版のドライバをインストールしておいてください。
②ひかりソフトフォンのインストールは管理者権限で実行して下さい。
③インストールの途中はパソコンの電源を絶対に切らないで下さい。インストールの途中でパソコンの電源が切断されてしまった場合は、パソコンの「システムの復元」でシステムの変更を元に戻して下さい。「システムの復元」完了後、再度インストールをやり直して下さい。
④お使いのセキュリティソフトによっては、「ひかりソフトフォン」のインストール時にセキュリティソフトの警告ダイアログが表示される場合がありますが、「許可」をクリックし、インストールを完了してください。

1-1.1 インストールの準備

［インストール］ボタンをクリックしてください。インストールの準備の画面が表示します。インストールの準備中に［キャンセル］ボタンをクリックするとインストールは中断します。



インストールの準備

1 キャンセル

インストールを中断する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。
「図 1-14.1 セットアップ中止」が表示します。

1-2.1 NET Framework 警告画面

パソコンにインストールしている.NET Framework のバージョンが規定スペックに満たない場合に.NET Framework 警告画面が表示します。規定スペックの.NET Framework をインストールした後、再度ひかりソフトフォンをインストールしてください。

.NET Framework 警告画面

1 OK

インストールを中断する場合は、［OK］ボタンをクリックします。

ご注意

①「Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 日本語 Language Pack」 がインストールされていないパソコンでは、エラーメッセージ等が日本語表示されない場合があります。
「Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 日本語 Language Pack」のインストールについてはマイクロソフト社のホームページをご確認下さい。

●推奨環境である、「Microsoft .NET Framework 3.5 SP1」及び
「Microsoft .NET Framework3.5 SP1 日本語 Language Pack」のインストール先の URL
http://msdn.microsoft.com/ja-jp/netframework/default.aspx

1-3.1 インストール開始

インストール開始画面が表示します。

インストール開始画面

1 次へ

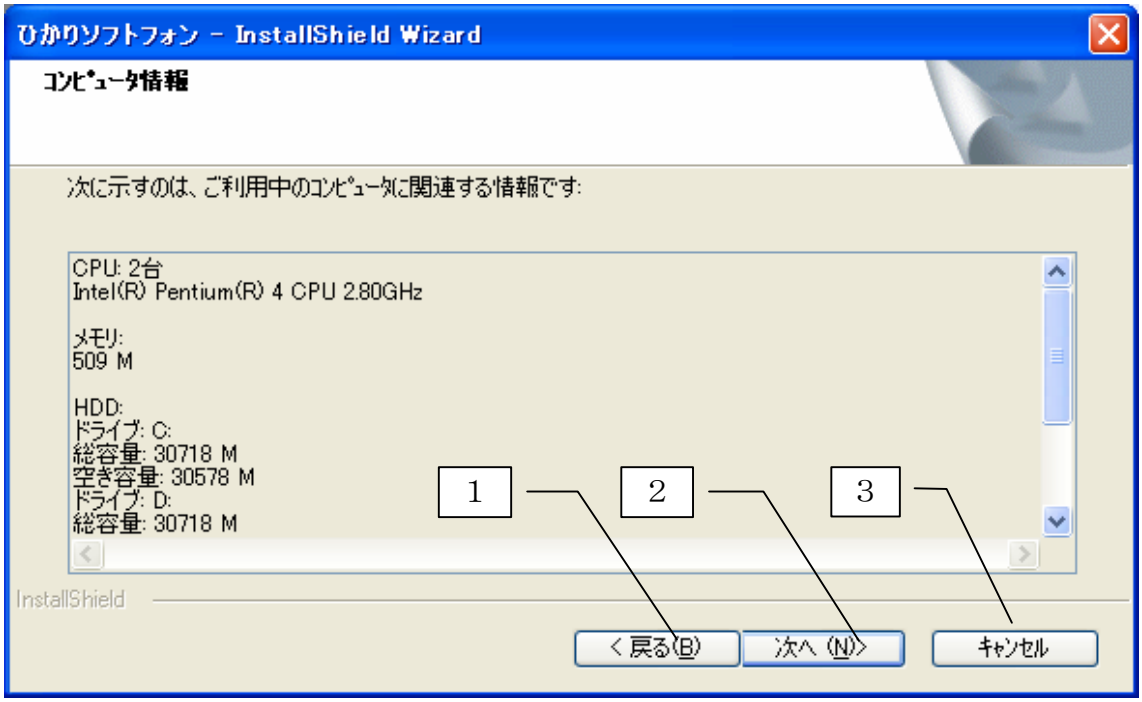
次の画面に進む場合は、［次へ］ボタンをクリックします。
次項の「システム情報画面」が表示します。

2 キャンセル

インストールを中断する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。
「図 1-14.1 セットアップ中止」が表示します。

1-4.1 システム情報画面

システム情報画面が表示されます。



システム情報画面

1 戻る

前の画面に戻る場合は、［戻る］ボタンをクリックします。
前項の「インストール開始画面」が表示されます。

2 次へ

次の画面に進む場合は、［次へ］ボタンをクリックします。
システムスペックが規定のスペックに満たない場合は「図 1-5.1　ハードウェア要件不足メッセージ」が表示されます。
システムスペックが規定のスペックを満たしている場合は「使用許諾契約画面」が表示されます。

3 キャンセル

インストールを中断する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。
「図 1-14.1 セットアップ中止」が表示されます。

1-5.1 ハードウェア要件不足メッセージボックス

ご利用のパソコンがひかりソフトフォンを利用するための容量に満たない場合に表示されます。

ハードウェア要件不足メッセージボックス

1 はい

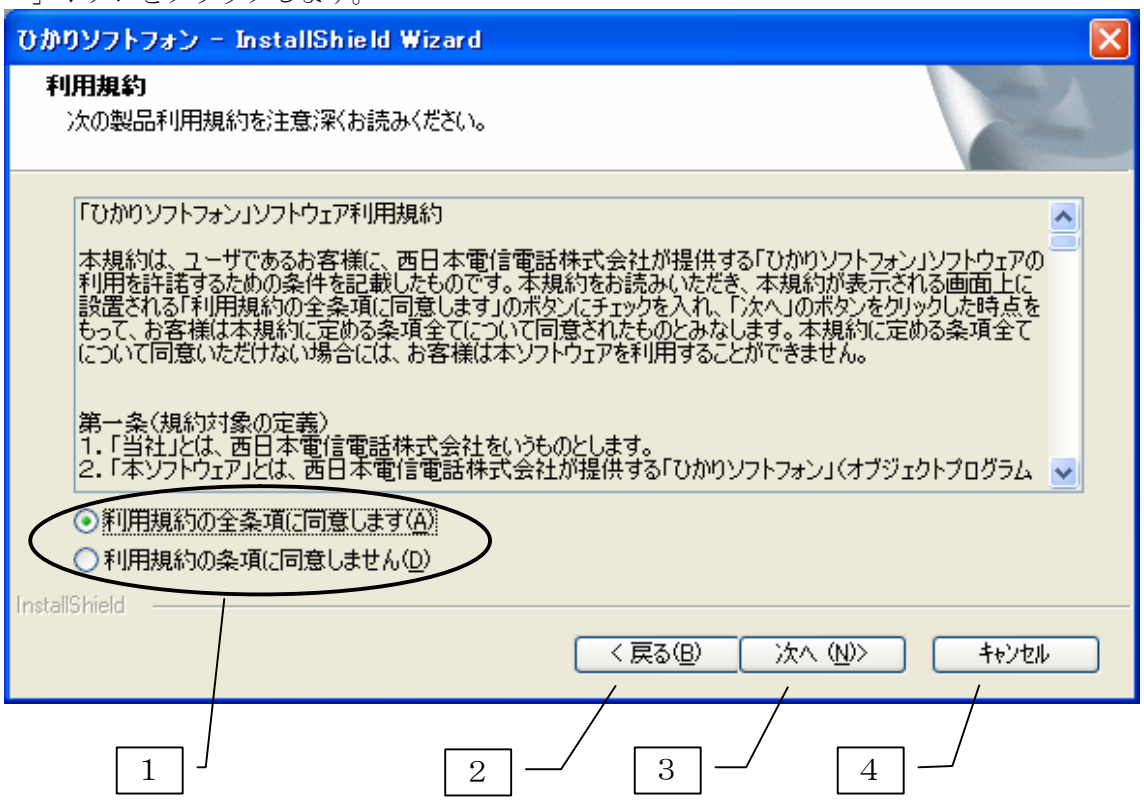
次の画面に進む場合は、［はい］ボタンをクリックします。
次項の「使用許諾契約画面」が表示されます。

2 いいえ

インストールを中断する場合は、［いいえ］ボタンをクリックします。

1-6.1 利用規約

利用規約が表示されます。
内容を確認し、契約内容に同意する場合は、［利用規約の全条項に同意します］を選択して［次へ］ボタンをクリックします。



使用許諾契約画面

1 利用規約の全条項に同意します

利用規約の全条項に同意する場合は、［利用規約の全条項に同意します］ラジオボタンにチェックを入れます。なお、デフォルトでは、［利用規約の条項に同意しません］ラジオボタンがチェックされます。また、［利用規約の条項に同意しません］ラジオボタンがチェックされた場合は、インストールができない（［次へ］ボタンが有効にならない）ため、前の画面に戻る（［戻る］ボタンを押す）か、インストールの中断（［キャンセル］ボタンを押す）しかできません。

2 戻る

前の画面に戻る場合は、［戻る］ボタンをクリックします。

3 次へ

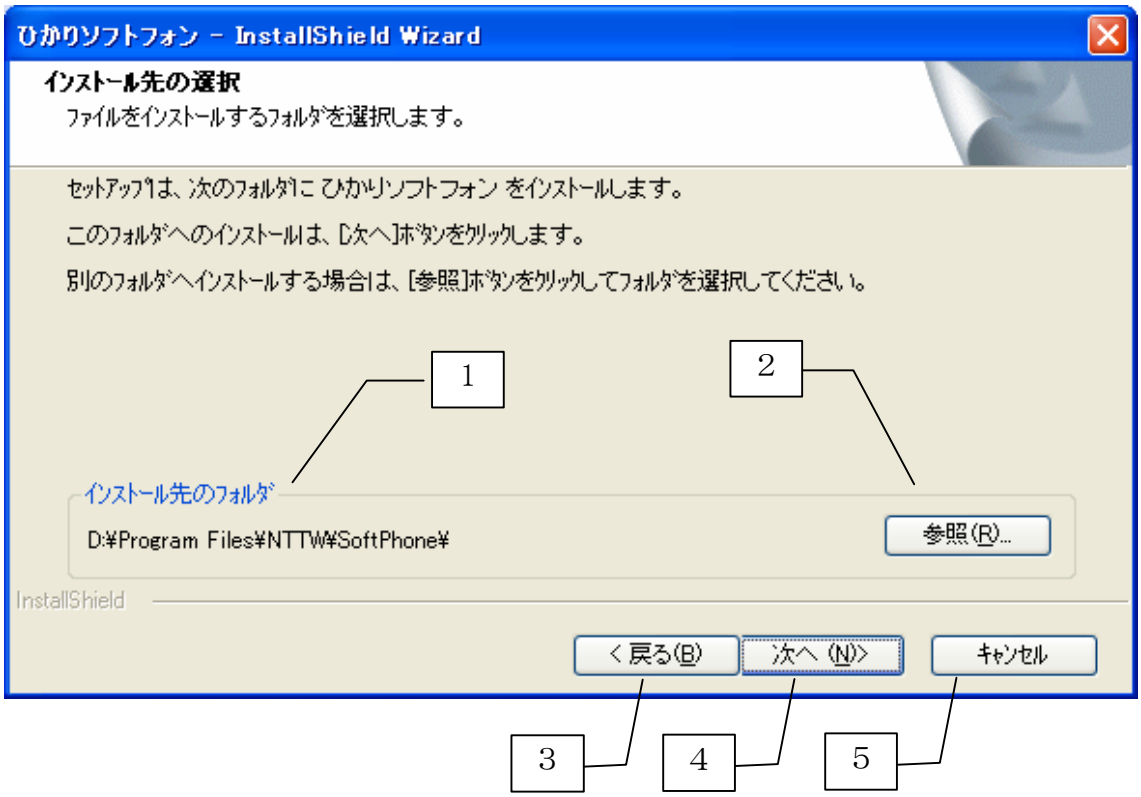
次の画面に進む場合は、［次へ］ボタンをクリックします。

4 キャンセル

インストールを中断する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。

1-7.1 インストール先の選択

プログラムをインストールするフォルダの選択を行います。
確認をしましたら［次へ］ボタンをクリックします。



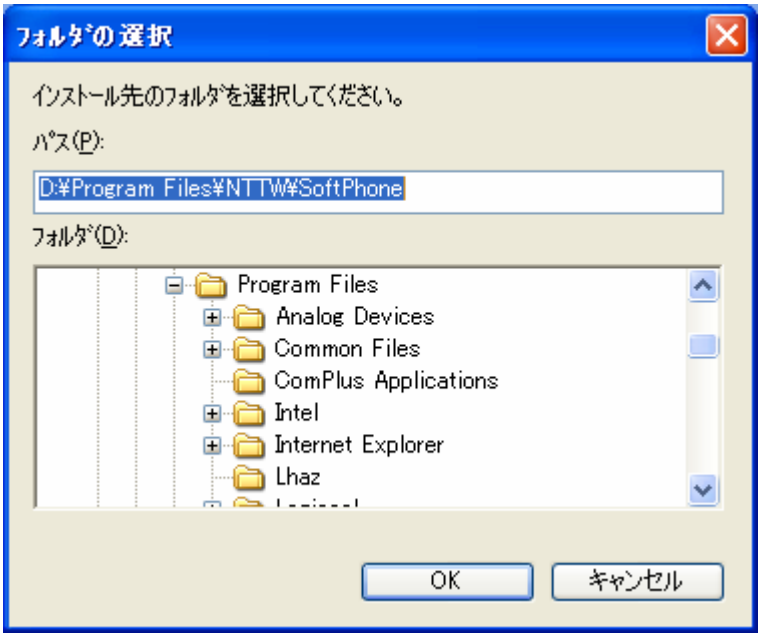
インストール先の選択画面

1 インストール先のフォルダの表示

アプリケーションのインストール先が表示します。
［インストール先のフォルダ］を確認したら、［次へ］ボタンをクリックしてください。

2 インストール先のフォルダの選定

インストール先を指定したい場合は［参照］ボタンをクリックします。「インストール先のフォルダの指定」が表示され、インストール先のフォルダを指定することができます。



インストール先のフォルダの指定

インストール先のフォルダを選択後、［OK］ボタンをクリックすると、フォルダの選択画面が閉じ「インストール先の選択画面」1 インストール先のフォルダに指定したフォルダが表示します。フォルダを確認したら4 ［次へ］ボタンをクリックします。

3 戻る

前の画面に戻る場合は、［戻る］ボタンをクリックします。

4 次へ

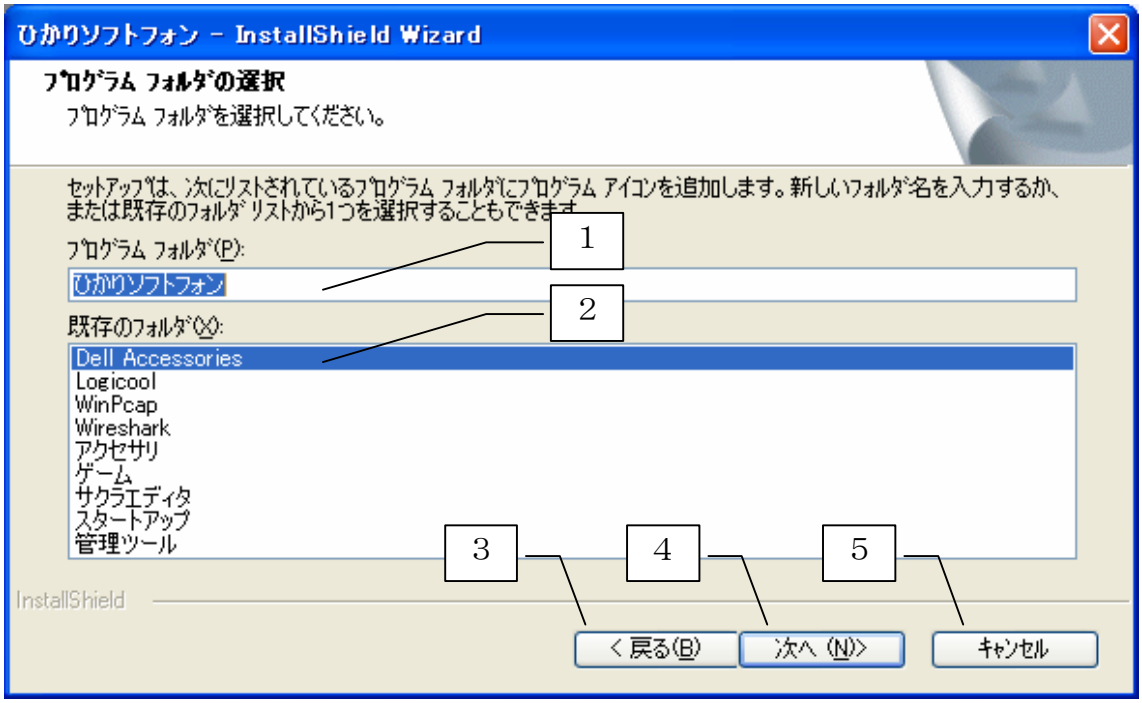
次の画面に進む場合は、［次へ］ボタンをクリックします。

5 キャンセル

インストールを中断する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。

1-8.1 プログラムフォルダ選択

プログラムアイコンを保存するフォルダの選択を行います。



プログラムフォルダ選択画面

1 プログラムフォルダ

プログラムアイコンを保存するフォルダを指定する画面で、特に指定したい場合には、新しいフォルダ名を入力できます。
内容を確認して［次へ］ボタンをクリックします。

2 既存のフォルダ

既存のフォルダにプログラムアイコンを追加します。
内容を確認して［次へ］ボタンをクリックします。

3 戻る

前の画面に戻る場合は、［戻る］ボタンをクリックします。

4 次へ

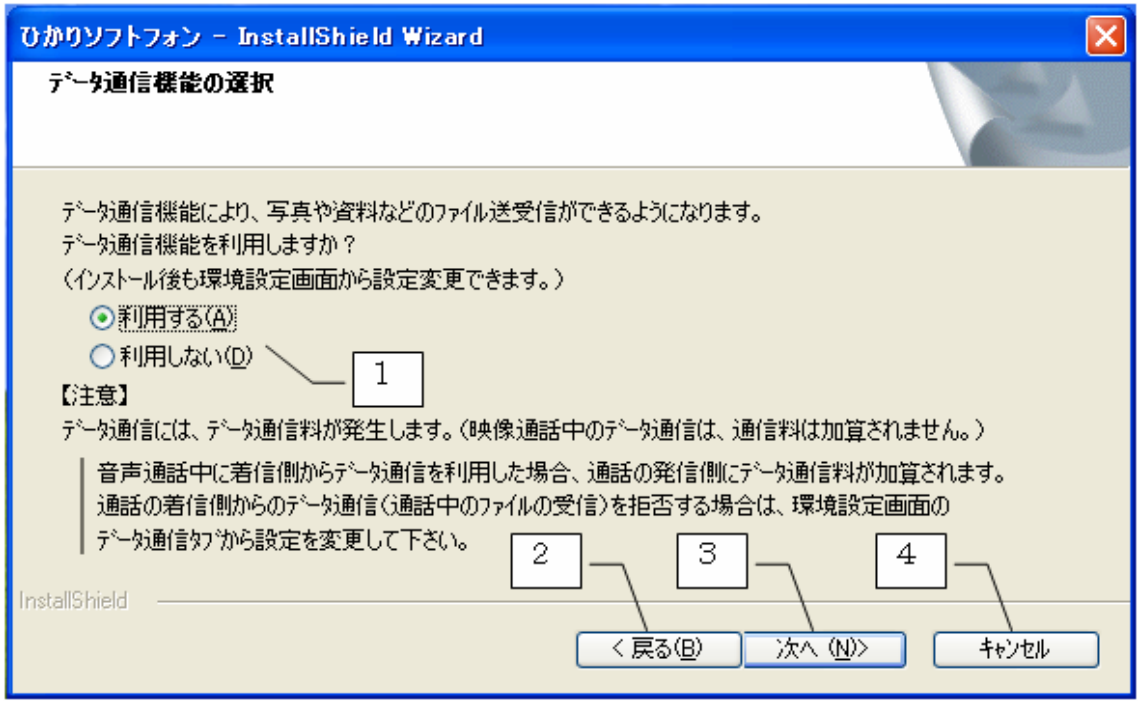
次の画面に進む場合は、［次へ］ボタンをクリックします。

5 キャンセル

インストールを中断する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。

1-9.1 データ通信機能選択

データ通信機能の利用有無の選択を行います。
選択後、［次へ］ボタンをクリックします。



データ通信機能選択画面

1 利用する

データ通信機能を利用する場合は、［利用する］ラジオボタンにチェックを入れます。
デフォルトでは、［利用する］ラジオボタンがチェックされています。
データ通信機能を利用しない場合は、［利用しない］ラジオボタンにチェックを入れます。
なお、インストール後、環境設定画面でデータ通信機能の利用有無設定を変更できます。

2 戻る

前の画面に戻る場合は、［戻る］ボタンをクリックします

3 次へ

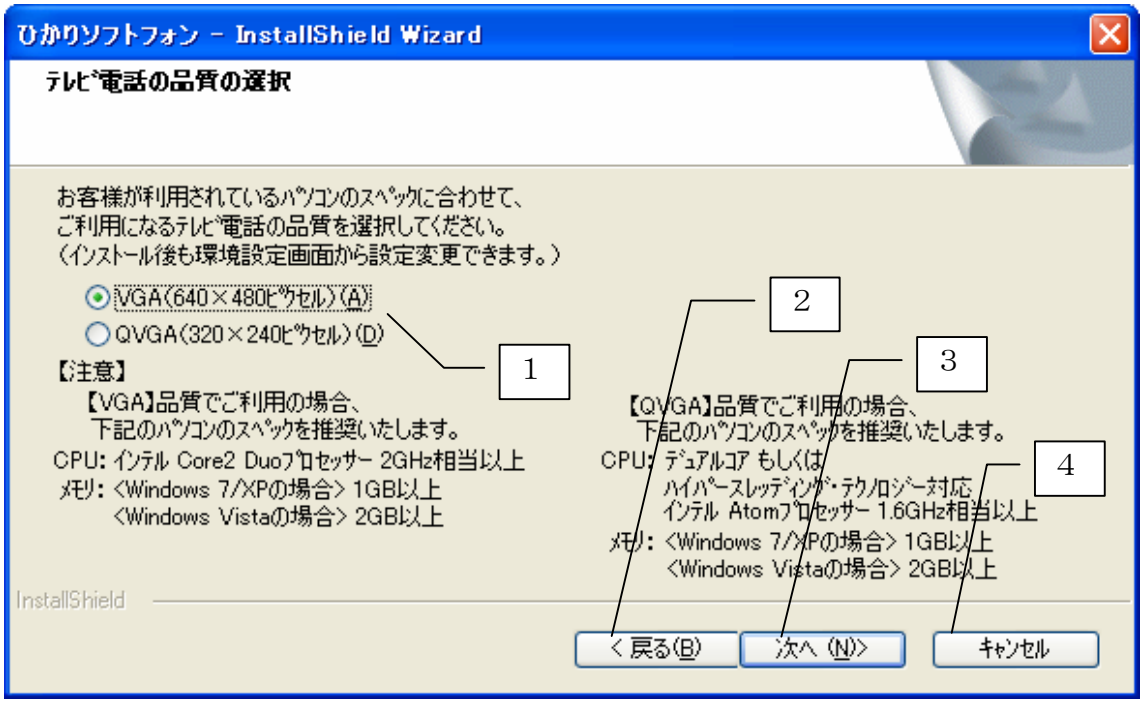
次の画面に進む場合は、［次へ］ボタンをクリックします。

4 キャンセル

インストールを中断する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。

1-10.1 テレビ電話の品質選択

テレビ電話の品質の選択を行います。
選択後、［次へ］ボタンをクリックします。



テレビ電話の品質選択画面

1 VGA

VGA を利用する場合は、［VGA（640×480 ピクセル)］ラジオボタンにチェックを入れます。
デフォルトでは、［VGA（640×480 ピクセル)］ラジオボタンがチェックされています。
QVGA を利用する場合は、［QVGA（320×240 ピクセル)］ラジオボタンにチェックを入れます。
なお、インストール後、環境設定画面でテレビ電話の品質設定を変更できます。

2 戻る

前の画面に戻る場合は、［戻る］ボタンをクリックします

3 次へ

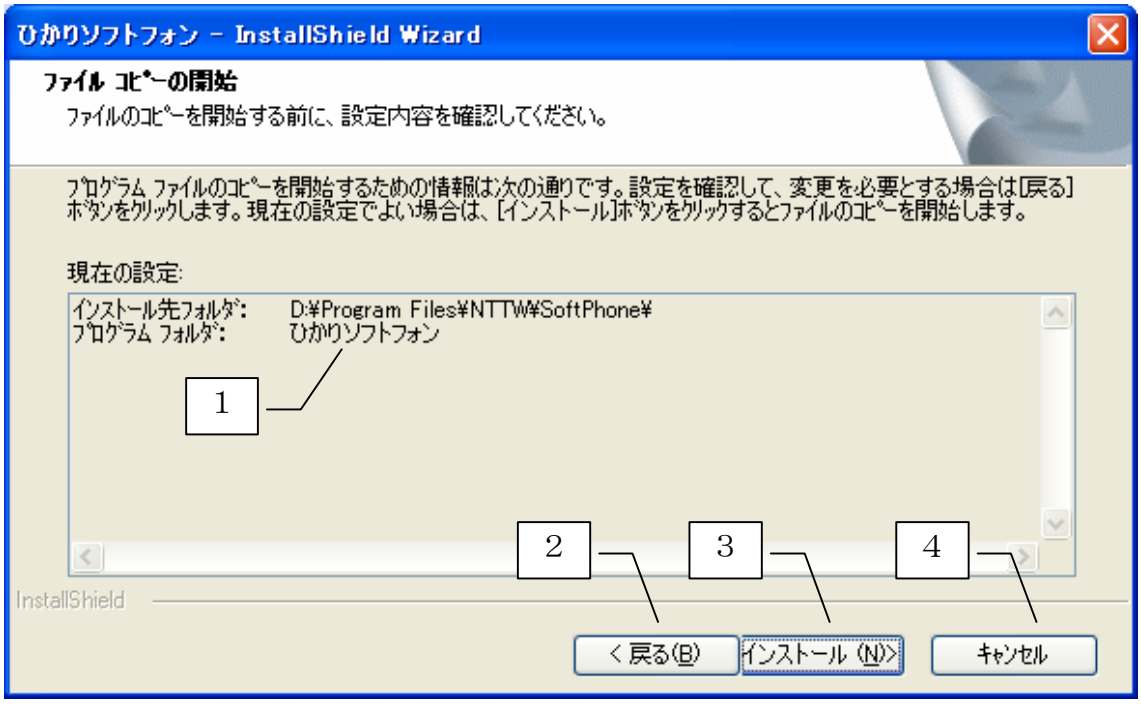
次の画面に進む場合は、［次へ］ボタンをクリックします。

4 キャンセル

インストールを中断する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。

1-11.1 ファイルコピー開始

［インストール先のフォルダ］と［プログラムフォルダ］で選択・入力した設定内容が表示されます。



ファイルコピー開始画面

1 現在の設定

「インストール先の選択画面」で選択した「インストール先のフォルダ」と、「プログラムフォルダ選択画面」で入力もしくは、選択した「プログラムフォルダ」が表示されます。

2 戻る

前の画面に戻る場合は、［戻る］ボタンをクリックします
前項の「プログラムフォルダ選択画面」が表示します。

3 インストール

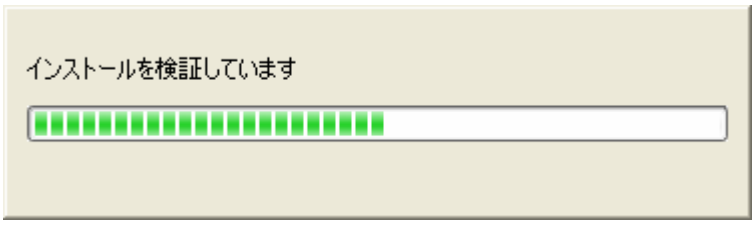
「インストール」ボタンをクリックすると、インストールが実行します。

4 キャンセル

インストールを中断する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。

1-12.1 セットアップステータス

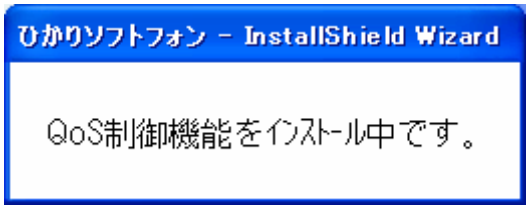
インストールの進行状況をお知らせする「セットアップステータス」が表示します。
インストール実行中はキャンセルすることができません。



セットアップステータス画面

1-13.1QoS ドライバインストール中メッセージボックス

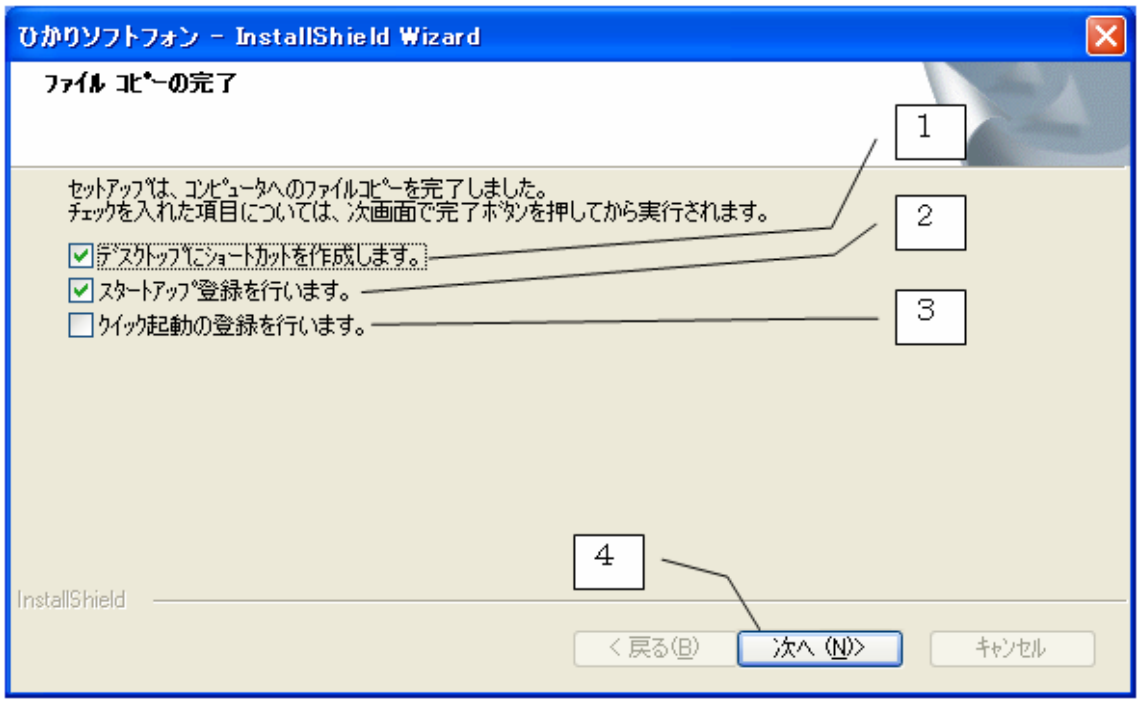
QoS ドライバがインストールされます。



QoS ドライバインストール中メッセージボックス

1-14.1 ファイルコピーの完了(Windows XP の場合)

インストール完了後に実行する動作の選択を行います。



ファイルコピーの完了画面(Windows XP の場合)

1 デスクトップにショートカットを作成します。

チェックを入れて［次へ］ボタンをクリックすると、インストール終了後にデスクトップにショートカットが作成されます。

2 スタートアップ登録を行います。

チェックを入れて［次へ］ボタンをクリックすると、Windows 起動時に［ひかりソフトフォン］が自動起動するように設定されます。

3 クイック起動の登録を行います。

チェックを入れて［次へ］ボタンをクリックすると、インストール終了後にクイック起動にショートカットが作成されます。

4 次へ

次の画面に進む場合は、［次へ］ボタンをクリックします。

・［デスクトップにショートカットを作成します。］チェックボックスにチェックしている場合、デスクトップにショートカットが作成されます。
・［スタートアップ登録を行います。］チェックボックスにチェックしている場合、［スタートアップ］に登録され、Windows 起動時に［ひかりソフトフォン］が自動起動するように設定されます。
・［クイック起動の登録を行います。］チェックボックスにチェックしている場合、クイック起動にショートカットが作成されます。

ファイルコピーの完了(Windows Vista の場合)

インストール完了後に実行する動作の選択を行います。

ファイルコピーの完了画面(Windows Vista の場合)

1 デスクトップにショートカットを作成します。

チェックを入れて［次へ］ボタンをクリックすると、インストール終了後にデスクトップにショートカットが作成されます。

2 スタートアップ登録を行います。

チェックを入れて［次へ］ボタンをクリックすると、Windows 起動時に［ひかりソフトフォン］が自動起動するように設定されます。

3 クイック起動の登録を行います。

チェックを入れて［次へ］ボタンをクリックすると、インストール終了後にクイック起動にショートカットが作成されます

4 次へ

次の画面に進む場合は、［次へ］ボタンをクリックします。

・[デスクトップにショートカットを作成します。] チェックボックスにチェックしている場合、デスクトップにショートカットが作成されます。
・[スタートアップ登録を行います。] チェックボックスにチェックしている場合、[スタートアップ] に登録され、Windows 起動時に [ひかりソフトフォン] が自動起動するように設定されます。
・[クイック起動の登録を行います。] チェックボックスにチェックしている場合、クイック起動にショートカットが作成されます。

ファイルコピーの完了(Windows 7 の場合)

インストール完了後に実行する動作の選択を行います。

ファイルコピーの完了画面(Windows 7 の場合)

1 デスクトップにショートカットを作成します。

チェックを入れて［次へ］ボタンをクリックすると、インストール終了後にデスクトップにショートカットが作成されます。

2 スタートアップ登録を行います。

チェックを入れて［次へ］ボタンをクリックすると、Windows 起動時に［ひかりソフトフォン］が自動起動するように設定されます。

3 次へ

次の画面に進む場合は、［次へ］ボタンをクリックします。

・［デスクトップにショートカットを作成します。］チェックボックスにチェックしている場合、デスクトップにショートカットが作成されます。

・［スタートアップ登録を行います。］チェックボックスにチェックしている場合、［スタートアップ］に登録され、Windows 起動時に［ひかりソフトフォン］が自動起動するように設定されます。

1-15.1 インストール完了

インストールが完了すると、「インストール完了のお知らせ」が表示されます。

インストール完了画面

1 はい、今すぐコンピュータを再起動します。

今すぐコンピュータを再起動する場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] ラジオボタンにチェックを入れます。
後でコンピュータを再起動する場合は、[いいえ、後でコンピュータを再起動します。] ラジオボタンにチェックを入れます。
なお、デフォルトでは、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] ラジオボタンがチェックされます。

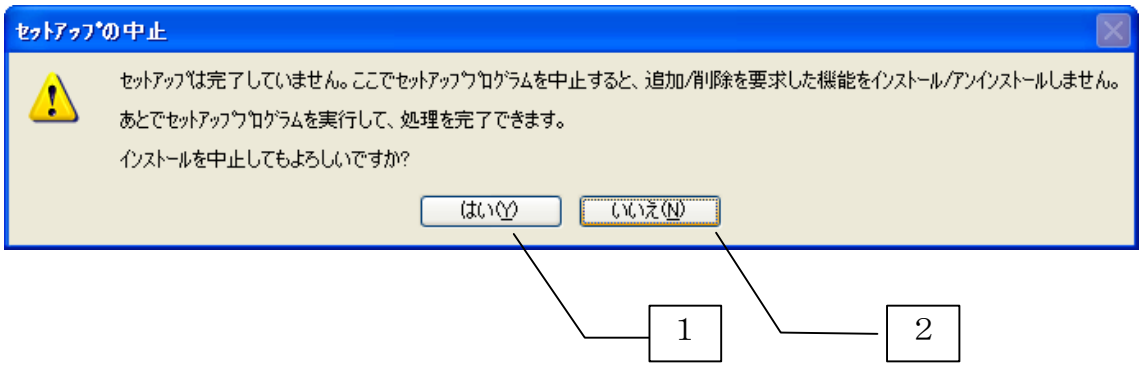
2 完了

インストールが終了します。
[完了] ボタンをクリックすると、画面が終了します。

以上で、インストール作業は終了です。

1-16.1 セットアップの中止

インストール中［キャンセル］ボタンが押された場合、「セットアップ中止画面」を表示します。



セットアップ中止画面

1 はい

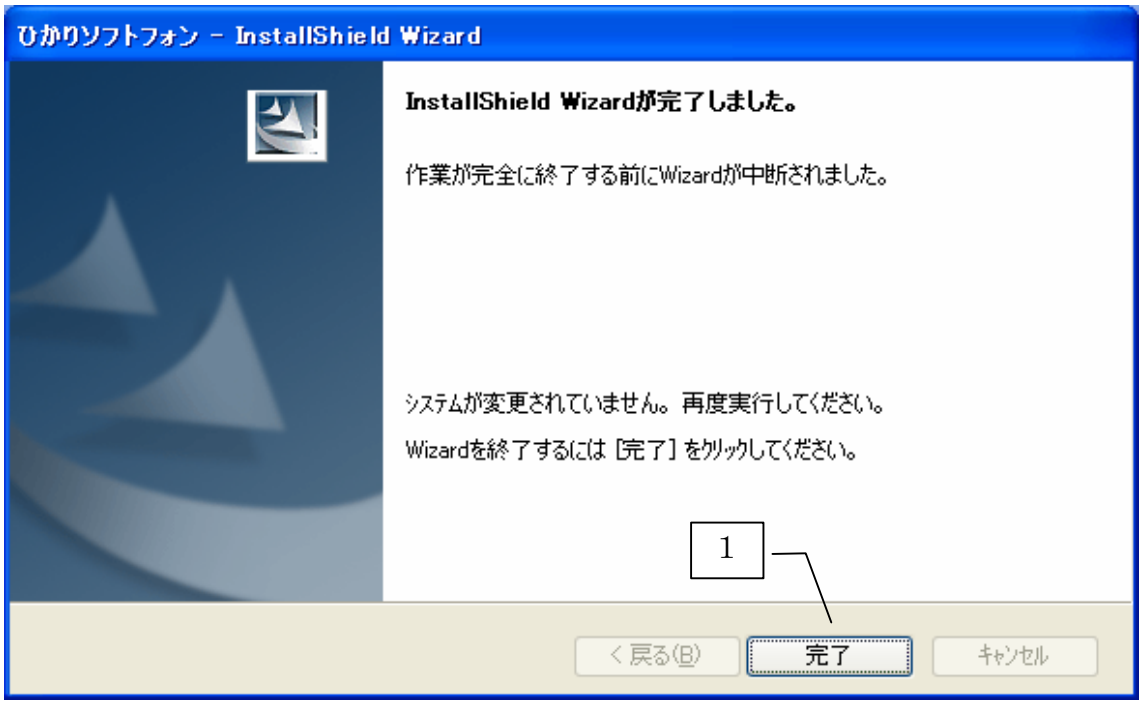
インストールを中止する場合は、［はい］ボタンをクリックします。
「図 1-15.1　インストール中断」画面が表示されます。

2 いいえ

インストールを続行させる場合は、［いいえ］ボタンをクリックします。

1-17.1 インストールの中断

インストールが中断された場合、「インストール中断画面」を表示します。



インストール中断画面

1 完了

［完了］ボタンをクリックすると、「インストール中断画面」が終了します。

1-18.1 ソフトフォンの起動

ご注意

①ひかりソフトフォン起動中は、パソコンの環境変更（画面テーマの変更やディスプレイ解像度の変更等の操作）やショートカットキーの操作（Ctrl+Alt+DeleteやWindowsキー+L等の操作）を行わないで下さい。ひかりソフトフォンが正常に動作しない場合があります。ひかりソフトフォンが正常に動作しない場合はひかりソフトフォンを再起動して下さい。
②ひかりソフトフォンがオフライン起動となる場合はひかりソフトフォンを再起動、もしくはパソコンを再起動してください。

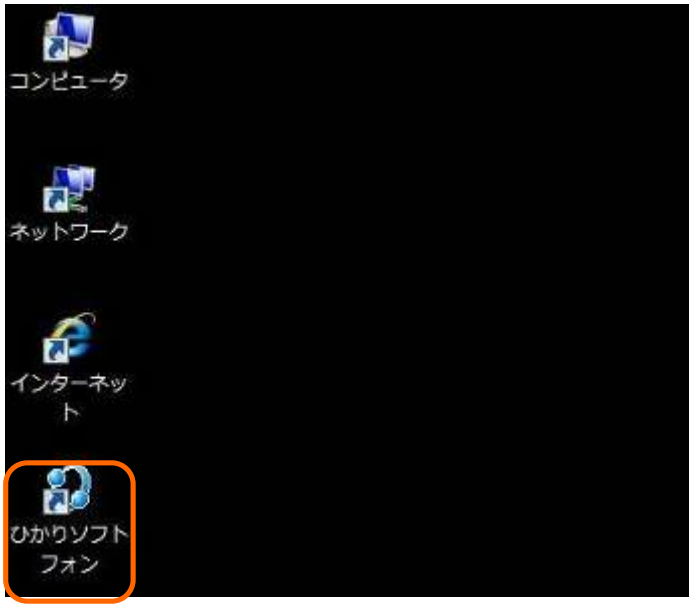
ソフトフォンの起動方法は、

- デスクトップのショートカットからの起動
- スタートメニューからの起動
- クイック起動

の 3 つの方法あります。

1-16.2 デスクトップのショートカットからの起動

インストール完了時にデスクトップ上に作成されたショートカット（ひかりソフトフォン）をダブルクリックしてソフトフォンを起動します。



デスクトップに作成されたショートカット

1-16.3 スタートメニューからの起動

Windows ツールバーの「スタート」を押下した際のメニューより、
「すべてのプログラム」→「NTTW」→「ひかりソフトフォン」→「ひかりソフトフォン」の手順で選択し、ソフトフォンを起動します。

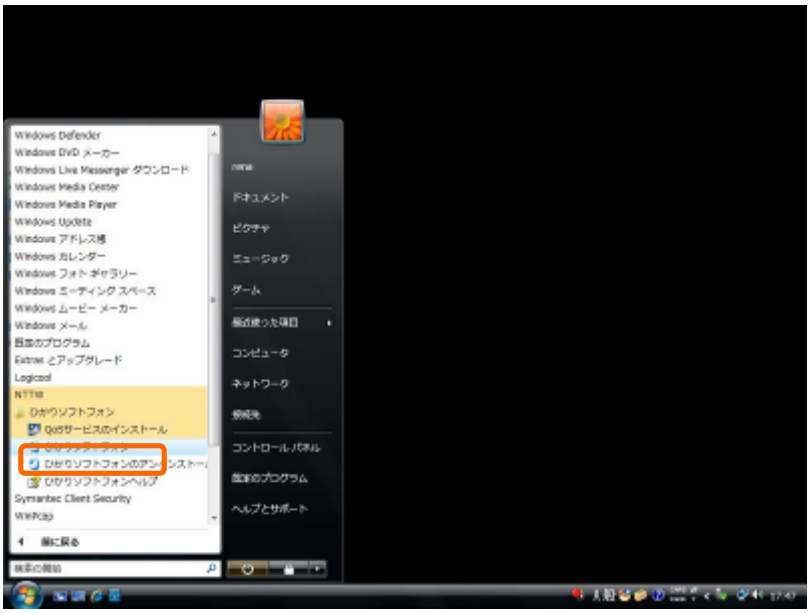


図 1-16.2 スタートメニューからの起動

1-16.5 クイック起動

Windows ツールバーの[ひかりソフトフォン]アイコンを押下し、ソフトフォンを起動します。

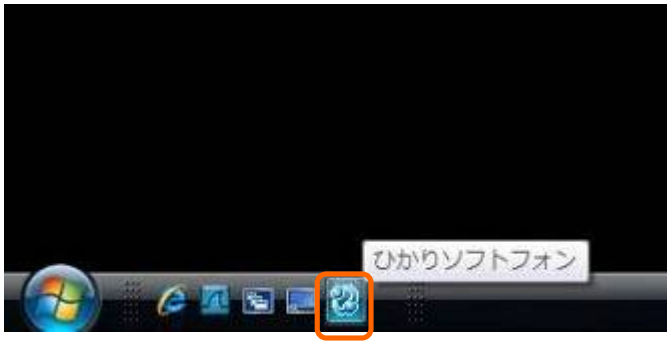


図 1-16.4 クイック起動

1-16.6 ソフトフォン起動時の画面遷移について

ソフトフォン起動時の画面遷移について説明します。

(1) スプラッシュ画面の表示
スプラッシュ画面を表示します。

(2) ネットワークアダプタ選択画面の表示
場合によりネットワークアダプタ選択画面を表示します。

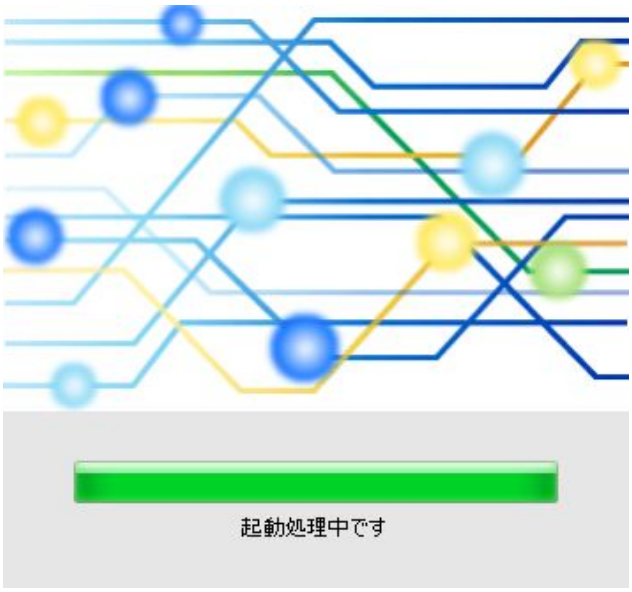
(3) 内線番号設定画面の表示
場合により、内線番号設定画面を表示します。

(4) オートアップデート画面の表示
場合により、オートアップデート画面を表示します。

(5) 映像デバイス無し警告画面
映像デバイスが PC に接続されていない場合に表示します。

1-17.1 スプラッシュ画面表示

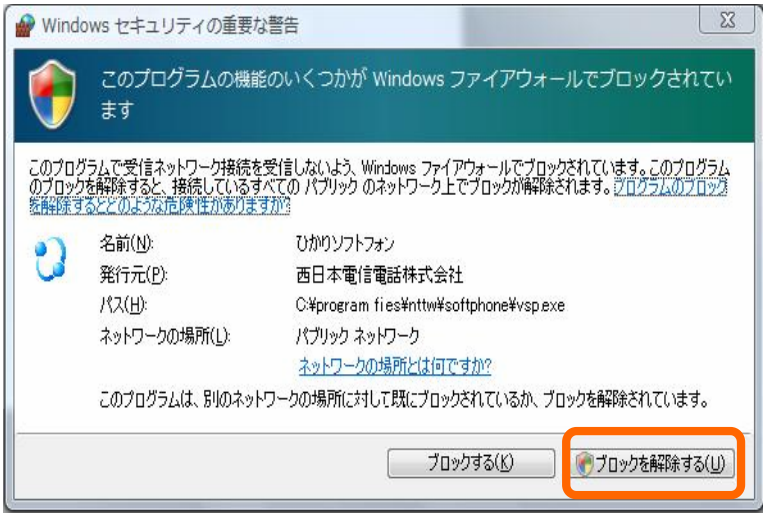
スプラッシュ画面の表示について下記に示す。



スプラッシュ画面

ご注意

①Windows ファイアーウォールが有効になっている場合は下の画面がポップアップします。「ブロックを解除する」を選択してください。



「ブロックする」を選択するとひかりソフトフォンが正常動作とならない場合があります。Windows ファイアーウォールの設定でひかりソフトフォンを例外登録してください。

＜例外登録方法＞

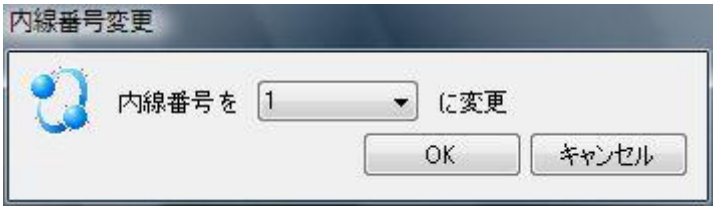
１）コントロールパネルから Windows ファイアーウォールをクリックし

２）「例外」タブにある「ひかりソフトフォン」のチェックボックスをクリックし、例外登録してください。

1-18.1 内線番号設定

内線番号設定について説明します。

- 初回起動時および内線番号の設定が必要な場合に内線番号変更画面が表示します。
- 内線番号を選択し、内線番号変更画面の[OK]ボタンを押下すると、選択された番号で内線番号が設定されます。[キャンセル]ボタンを押下した場合は、内線番号が設定されず(メイン画面上では内線番号として[0]が表示される)にオフライン状態となります。



内線番号変更画面

1-19.1 オートアップデート

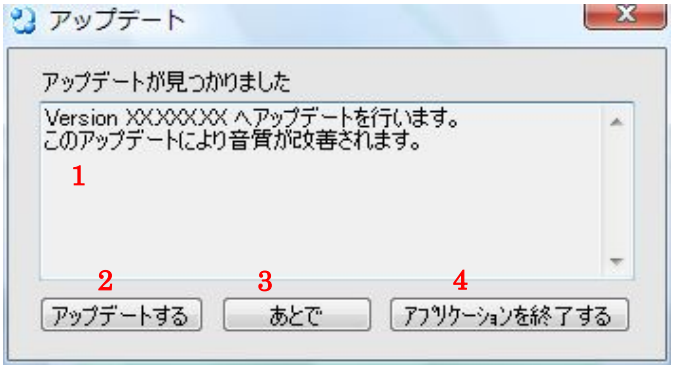
アップデート情報がある場合、オートアップデート機能が起動します。
アップデート情報には、必須アップデートと推奨アップデートの 2 種類があります。
必須アップデートの場合はアップデートを必ず実施してください。完了しない場合はひかりソフトフォンがオンライン起動しません。
なお、オートアップデートする際は管理者権限が必要となります。ソフトフォンのアイコンを右クリックして管理者として起動することで、管理者権限で実行されます。

ご注意

①お使いのセキュリティソフトによっては、「ひかりソフトフォン」のアップデート時にセキュリティソフトの警告ダイアログが表示される場合がありますが、「許可」をクリックし、アップデートを完了してください。

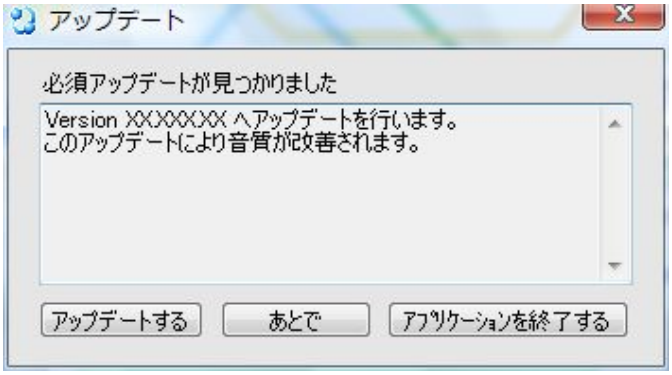
1-19.2 オートアップデート画面

推奨アップデート画面



推奨オートアップデート画面

必須アップデート画面



必須オートアップデート画面

オートアップデート画面

項番	名称	説明
1	[アップデート情報]テキストエリア	アップデートに関する情報を表示
2	[アップデートする]ボタン	アップデートを実行
3	[あとで]ボタン	アップデートをあとで実行
4	[アプリケーションを終了する]ボタン	アップデートを実行せずに終了

1-19.3 オートアップデート画面の動作

各ボタンの動作を説明します。

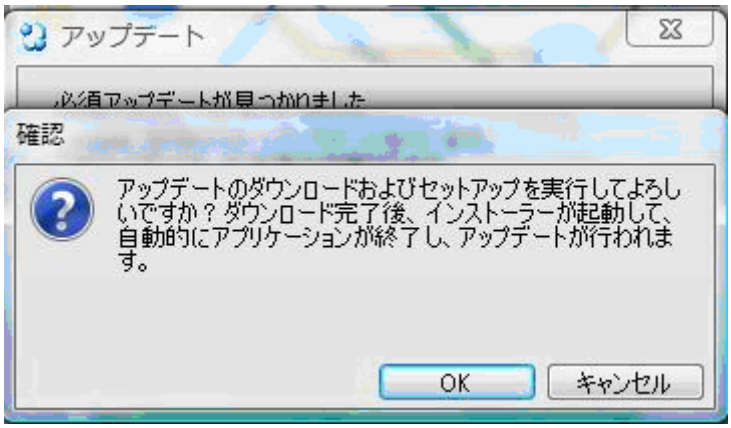
- [アップデートする]ボタンを押下すると、確認ダイアログが表示されます。
  [OK]ボタンを押下した場合はアップデートを開始し、[キャンセル]ボタンを押下した場合はダイアログを閉じます。

- [あとで]ボタンを押下すると、確認ダイアログが表示される。
  [OK]ボタンを押下すると、以下の通り、推奨と必須で動作が変わります。
  推奨： アップデート画面を終了すると、オンライン起動します。
  必須： アップデート画面を終了すると、オフライン起動します。

- [アプリケーションを終了する]ボタンを押下すると、本アプリケーションが終了します。(画面右上の[閉じる]ボタンを押下した場合も同様です。)

1-20.1 アップデート開始確認画面

オートアップデート画面で [アップデートする] を選択した場合、アップデート開始確認画面が表示されます。



アップデート開始確認画面

1-20.2 アップデート開始確認画面の動作

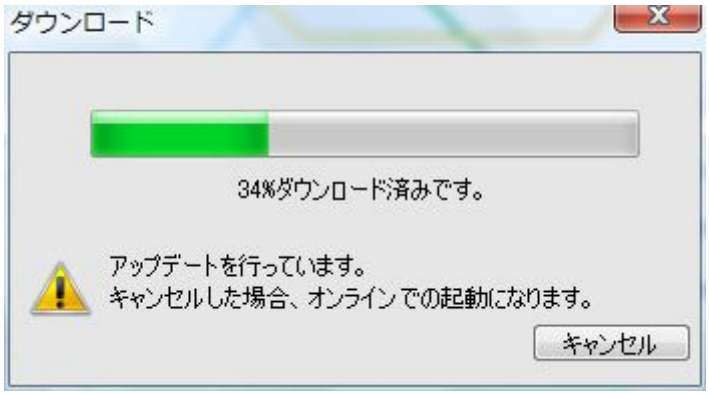
各ボタンの動作を説明します。

- [OK] ボタンを押下すると、ダウンロード画面が表示されます。

1-21.1 ダウンロード画面

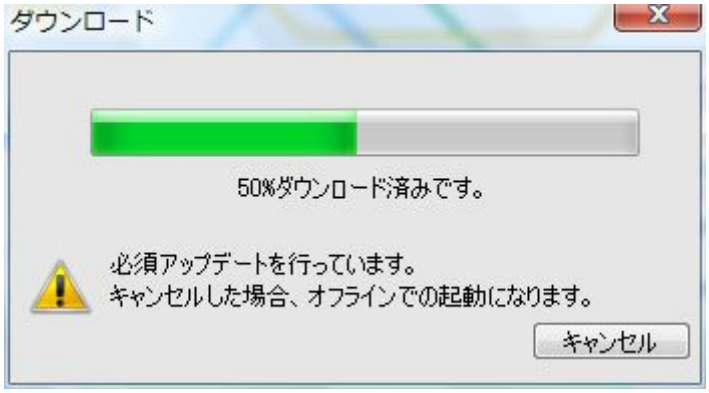
アップデート確認画面で [OK] を選択した場合、ダウンロード画面が表示されます。

推奨ダウンロード画面



推奨ダウンロード画面

必須ダウンロード画面



必須ダウンロード画面

1-21.2 ダウンロード画面の動作

ボタンの動作を説明します。

- 推奨ダウンロード画面で [キャンセル] ボタンを押下すると、アップデートを中断し、オンライン起動します。
- 必須ダウンロード画面で [キャンセル] ボタンを押下すると、アップデートを中断し、オフライン起動します。

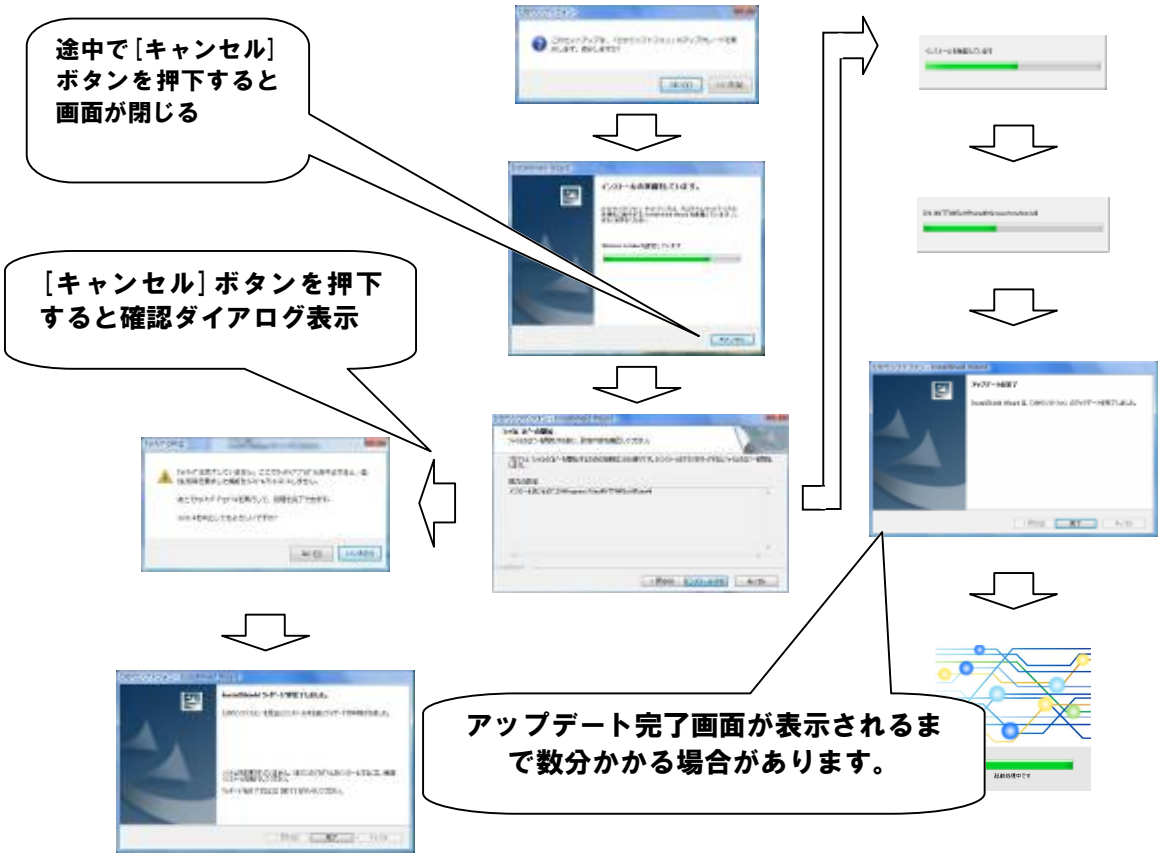
※画面右上の [閉じる] ボタンを押下した場合は、 [キャンセル] ボタン押下時と同様です。

1-22.1 セットアップ

ダウンロード完了後、インストーラが起動して、自動的にアプリケーションが終了し、アップデートを行います。

アップデート完了後、自動的にアプリケーションが起動します。

ただし、パソコンの再起動が必要な場合は、自動起動しません。



セットアップ（主な画面例）

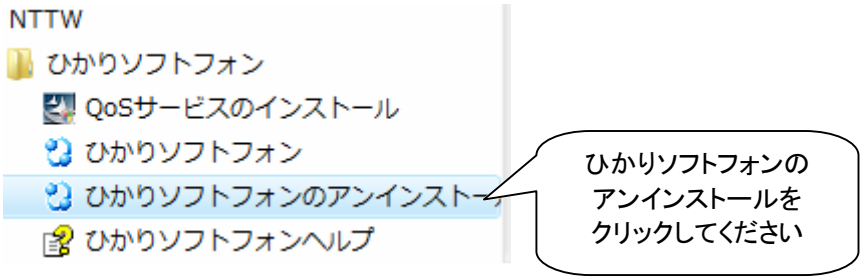
1-23.1 アンインストール

ご注意

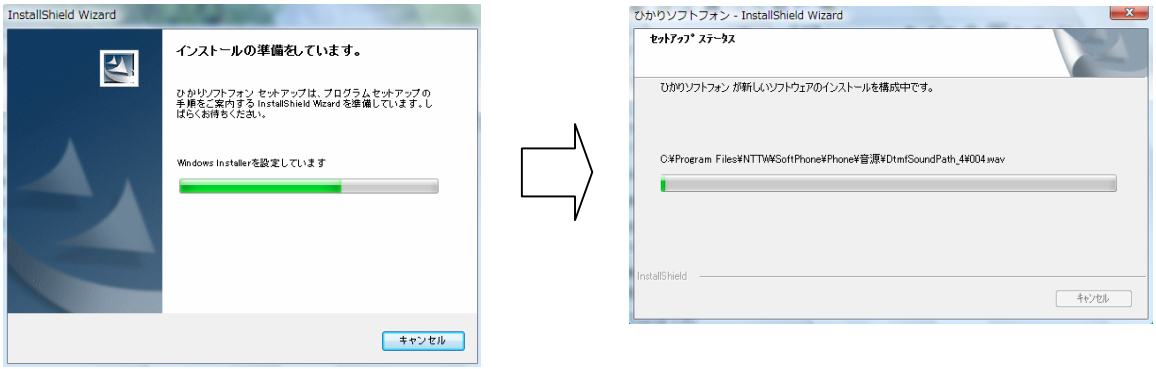
①ひかりソフトフォンのアンインストールは管理者権限で実行して下さい。
②アンインストールの途中ではパソコンの電源を絶対に切らないで下さい。アンインストールの途中でパソコンの電源が切断されてしまった場合は、パソコンの「システムの復元」でシステムに対する変更を元に戻して下さい。「システムの復元」完了後、再度アンインストールをやり直して下さい。

ソフトフォンプログラムのアンインストール方法を説明します。
スタートメニューからひかりソフトフォンをアンインストールして下さい。
※ひかりソフトフォン起動時はアンインストールが出来ません。

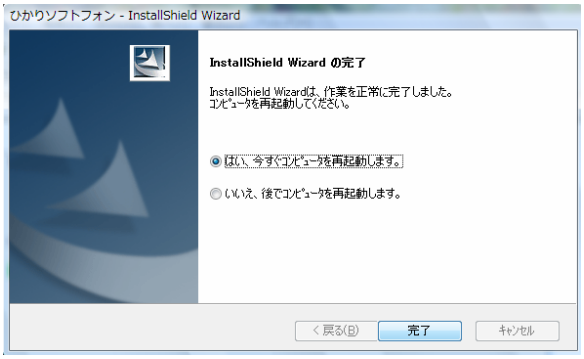
スタート → 全てのプログラム → NTTW → ひかりソフトフォン
→ ひかりソフトフォンのアンインストール をクリックしてください。



InstallShield Wizard の準備画面が表示された後、セットアップステータスの画面が表示されます。
※InstallShield Wizard 準備画面のキャンセルボタンを押すとアンインストールが中断されます。



セットアップステータスが完了後、アンインストール完了です。再起動画面が表示されますので、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し再起動を実施してください。



アンインストール画面

2.メイン画面説明

ご注意

①ひかりソフトフォン起動中は、パソコンの環境変更（画面テーマの変更やディスプレイ解像度の変更等の操作）やショートカットキーの操作（Ctrl+Alt+DeleteやWindowsキー+L等の操作）を行わないで下さい。ひかりソフトフォンが正常に動作しない場合があります。ひかりソフトフォンが正常に動作しない場合はひかりソフトフォンを再起動して下さい。

ソフトフォンのメイン画面について説明します。

2-1.1 メイン画面上部

メイン画面の上部について説明します。

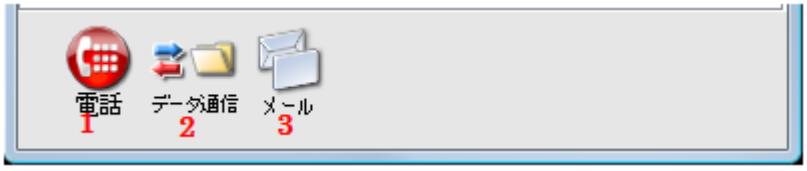
メイン画面上部

メイン画面上部説明

項番	名称	説明
1	[内線番号]欄	自分の内線番号を表示
2	[最小化]ボタン	画面を最小化
3	[最大化]ボタン	画面を最大化
4	[閉じる]ボタン	画面を最小化、または閉じる(環境設定 ユーザ設定画面の「メイン画面の閉じるボタンの設定」の設定内容により挙動が異なる)
5	[ダイヤル]タブ	ダイヤル画面への切り替えタブ
6	[着信履歴]タブ	着信履歴画面への切り替えタブ
7	[発信履歴]タブ	発信履歴画面への切り替えタブ
8	[アドレス帳]タブ	アドレス帳画面への切り替えタブ
9	[メイン画面ロゴ]表示欄	ロゴを表示

2-2.1 メイン画面下部

メイン画面の下部について説明します。



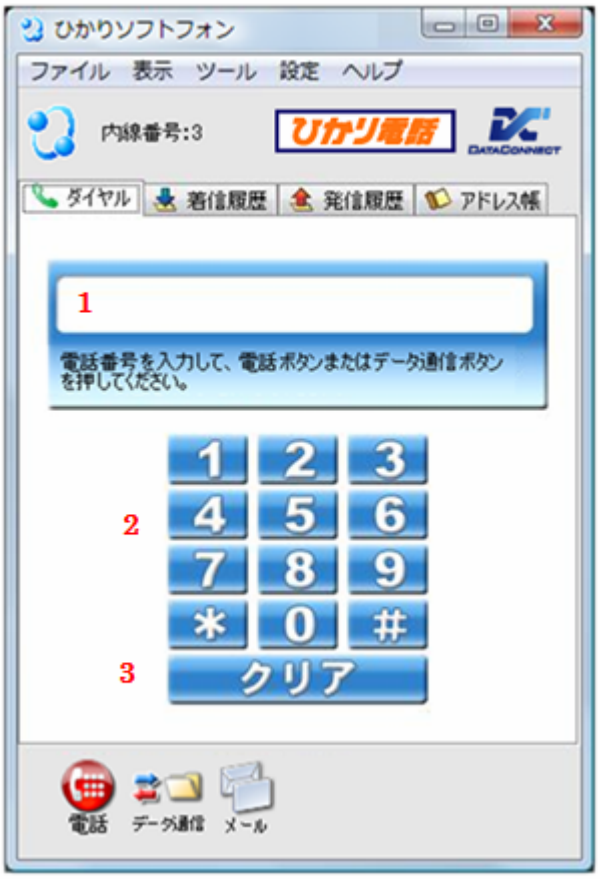
イン画面下部

メイン画面下部説明

項番	名称	説明
1	[電話]ボタン	電話画面を起動
2	[データ通信]ボタン	データ通信画面を起動
3	[メール]ボタン	メールソフトを起動

2-3.1 ダイヤル画面

ダイヤル画面について説明します。



ダイヤル画面

ダイヤル画面説明

項番	名称	説明
1	[電話番号] テキストボックス	電話番号を入力できます
2	[ダイヤル]ボタン	押下することにより数字の「0」から「9」と「＊」「＃」を[電話番号]テキストボックスに入力します
3	[クリア]ボタン	押下することにより[電話番号]テキストボックスを空にできます

2-4.1 着信履歴画面

着信履歴画面について説明します。

着信履歴画面

着信履歴画面説明

項番	名称	説明
1	[着信履歴検索] テキストボックス	着信履歴の検索条件を入力します スペース区切りで、and 検索が可能
2	[検索] ボタン	検索を実行します
3	[着信種別] ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能です 右クリックで表示・非表示の変更が可能です
4	[相手] ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能です 右クリックで表示・非表示の変更が可能です
5	[日時] ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能です 右クリックで表示・非表示の変更が可能です
6	[通話時間] ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能です 右クリックで表示・非表示の変更が可能です

項番	名称	説明
7	[状態]ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能です 右クリックで表示・非表示の変更が可能です
8	[着信種別アイコン]セル	着信の種別を下記のアイコンで表示
		音声/映像通話アイコン
		データ通信アイコン
9	[相手テキスト]セル	着信相手の電話番号がアドレス帳にある場合、通信相手の表示名＞氏名＞電話番号を表示します アドレス帳にない場合は、電話番号を表示します
10	[日時テキスト]セル	着信日時を YY/MM/DD HH:MM で表示します 例）05/11/08 18:25
11	[通話時間テキスト]セル	通話時間を HH:MM:SS で表示します 例）00:05:45
12	[状態テキスト]セル	状態変化を「通話」「拒否」「未応答」「(空欄)」で表示します
13	[アドレス帳登録]ボタン	新規メンバ登録画面を表示します
14	[削除]ボタン	選択した着信履歴を削除します 複数選択削除も可能です

2-5.1 発信履歴画面

発信履歴画面について説明します。

発信履歴画面

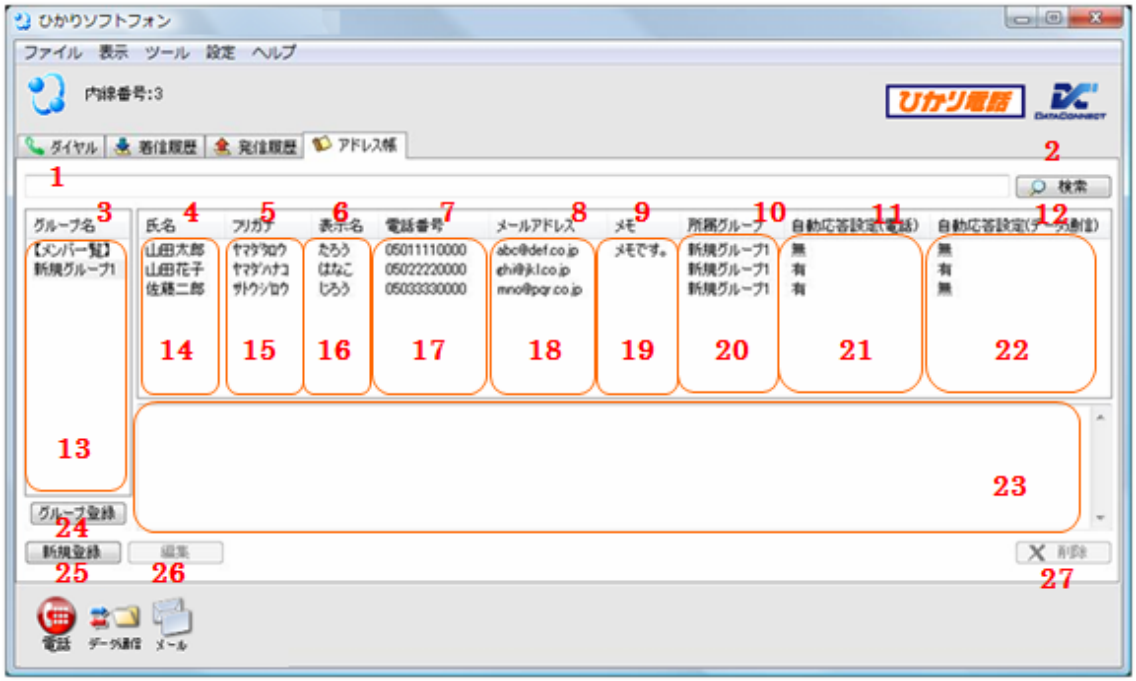
発信履歴画面説明

項番	名称	説明
1	[発信履歴検索] テキストボックス	発信履歴の検索条件を入力します スペース区切りで、and 検索が可能
2	[検索] ボタン	検索を実行します
3	[発信種別] ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能です 右クリックで表示・非表示の変更が可能です
4	[相手] ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能です 右クリックで表示・非表示の変更が可能です

項番	名称	説明
5	[日時]ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能です 右クリックで表示・非表示の変更が可能です
6	[通話時間]ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能です 右クリックで表示・非表示の変更が可能です
7	[状態]ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能です 右クリックで表示・非表示の変更が可能です
8	[発信種別アイコン]セル	発信種別を下記のアイコンで表示 音声/:映像通話アイコン データ通信アイコン
9	[相手テキスト]セル	着信相手の電話番号がアドレス帳にある場合、通信相手の表示名＞氏名＞電話番号を表示します アドレス帳にない場合は、電話番号を表示します
10	[日時テキスト]セル	発信日時を YY/MM/DD HH:MM で表示します 例）05/11/08 12:40
11	[通話時間テキスト]セル	通話時間を HH:MM:SS で表示します 例）00:02:05
12	[状態テキスト]セル	状態変化を「通話」「未応答」「(空欄)」で表示します
13	[アドレス帳登録]ボタン	新規メンバ登録画面を表示します
14	[削除]ボタン	選択した着信履歴を削除します 複数選択削除も可能です

2-6.1 アドレス帳画面

アドレス帳画面について説明します。



アドレス帳画面

アドレス帳画面説明

項番	名称	説明
1	[アドレス帳検索] テキストボックス	アドレス帳の検索条件を入力します スペース区切りで、and 検索が可能
2	[検索]ボタン	検索を実行します
3	[グループ名]ヘッダ	―
4	[氏名]ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能です 右クリックで表示・非表示の変更が可能です
5	[フリガナ]ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能です 右クリックで表示・非表示の変更が可能です
6	[表示名]ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能です 右クリックで表示・非表示の変更が可能です
7	[電話番号]ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能です 右クリックで表示・非表示の変更が可能です
8	[メールアドレス] ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能です 右クリックで表示・非表示の変更が可能です
9	[メモ]ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能です 右クリックで表示・非表示の変更が可能です

項番	名称	説明
10	**[所属グループ]ヘッダ**	**クリックで昇順・降順の変更が可能です 右クリックで表示・非表示の変更が可能です**
11	[自動応答設定(電話)]ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能 右クリックで表示・非表示の変更が可能
12	[自動応答設定(データ通信)]ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能 右クリックで表示・非表示の変更が可能
13	[グループリスト表示]エリア	グループをリストとして表示 「【メンバ一覧】」を選択時、登録されている全てのメンバ情報を表示 特定のグループを選択時、選択したグループに登録されているメンバ情報を表示
14	[氏名]セル	アドレス帳に登録されている氏名を表示
15	[フリガナ]セル	アドレス帳に登録されているフリガナを表示
16	[表示名]セル	アドレス帳に登録されている表示名を表示
17	[電話番号]セル	アドレス帳に登録されている電話番号を表示
18	[メールアドレス]セル	アドレス帳に登録されているメールアドレスを表示
19	[メモ]セル	アドレス帳に登録されているメモを表示
20	[所属グループ]セル	所属するグループを表示
21	[自動応答設定(電話)]セル	アドレス帳に登録されている自動応答設定(電話)の有・無を表示
22	[自動応答設定(データ通信)]セル	アドレス帳に登録されている自動応答設定(データ通信)の有・無を表示
23	[グループ登録]ボタン	新規にグループの登録を実行
24	[個人情報詳細表示]エリア	選択された任意のメンバ情報を表示
25	[新規登録]ボタン	新規メンバ登録画面を表示
26	[編集]ボタン	選択された任意のメンバのメンバ編集画面が表示 メンバ未選択の場合、グレーアウト表示
27	[削除]ボタン	選択された任意のメンバ情報を消去 複数選択削除も可能

3　電話

3-1.1 電話画面説明

電話画面のそれぞれの機能を説明いたします。

電話画面（音声モード）

電話画面（映像モード）

電話画面説明

項番	名称	説明
1	[通信状態表示]アイコン	通常、通信中、保留中、発信中/切断中の 4 状態で状態変更毎にアイコンが変更
2	[発信先/着信相手表示] エリア	通信相手の電話番号がアドレス帳にある場合、 通信相手の表示名＞氏名＞電話番号が表示 また、非通知着信の場合は[非通知]と表示
3	[電話番号入力]エリア	ダイヤルパッド、キーボード等より入力可能 入力制限は『13.1 文字入力の制限について』を参照
4	[ダイヤル表示]ボタン	ダイヤルパッドが表示
5	[メッセージ表示]エリア	各種のメッセージが表示
6	[ステータス表示]エリア	データ通信の状態が表示
7	[通話時間]エリア	通話時間が表示
8	[発信]ボタン	映像モードまたは音声モードで発信を実行
9	[切]ボタン	・呼び出しの中止を実行 ・通話または保留中の電話を切断
10	[保留]ボタン	通話の保留または保留の解除を実行
11	[内線]ボタン	ボタン文字が「内線」の場合、内線電話へ発信画面を表示 ボタン文字が「転送」の場合、内線相手に転送画面を表示 ボタン文字が「切替」の場合、電話回線の切替画面を表示
12	[データ通信]ボタン	データ通信画面を起動する
13	[データ通信受信許可/拒否] ボタン	ファイル受信の許可/拒否を切り替える
14	[映像モード切り替え] ボタン	通話モードを映像モードに切り替え
15	[音声モード切り替え] ボタン	通話モードを音声モードに切り替え
16	[受話音量]インジケータ	受話音量が表示
17	[音声ミュート ON/OFF] ボタン	音声のミュート/ミュート解除を実行
18	[マイク]インジケータ	マイク音量が表示
19	[受話音量調整]スライダー	受話音量の調節を実行
20	[マイクゲイン調整] スライダー	マイク音量の調節を実行
21	[画面サイズ初期化] ボタン	画面サイズを初期状態に戻す
22	[映像ミュート] ボタン	表示する画像の動画/静止画を切り替え

23	[デスクトップ共有] ボタン	デスクトップ共有画面を表示	
24	[相手画像表示]エリア	相手のカメラの映像又は静止画像が表示	
25	[自画像表示]エリア	自分のカメラの映像又は静止画像が表示	
26	[高音質ロゴ]表示欄	現在の通話状態、音声コーディックに基づいた高音質ロゴを表示	
		■	音声コーディック=G.711.1
		■	音声コーディック=UEMCLIP
		■	音声コーディック=G.711 μ-law
		■	非通信時
27	[映像品質ロゴ]表示欄	現在の通話状態、通信映像サイズに基づいた映像品質ロゴを表示	
		■	通信映像サイズ=VGA
		■	通信映像サイズ=QVGA
		■	通信映像サイズ=QCIF
		■	非通信時

3-1.2 送信相手が設定されていない場合の電話起動

起動した電話画面に相手の情報が設定されていない場合の起動方法を説明します。

- ダイヤル画面において電話番号が入力されていない状態、または着信履歴画面、発信履歴画面、アドレス帳画面においてメンバ情報を選択していない状態で、メイン画面下部の［電話］ボタンを押してください。またはメイン画面上部のメニューから「ツール」→「電話を開く」を選択してください。
- 着信履歴画面、発信履歴画面、アドレス帳画面においてメンバ情報を選択していない状態で、右クリック→「電話を開く」 を選択してください。

電話の起動

3-1.3 送信相手が設定されている場合の電話起動

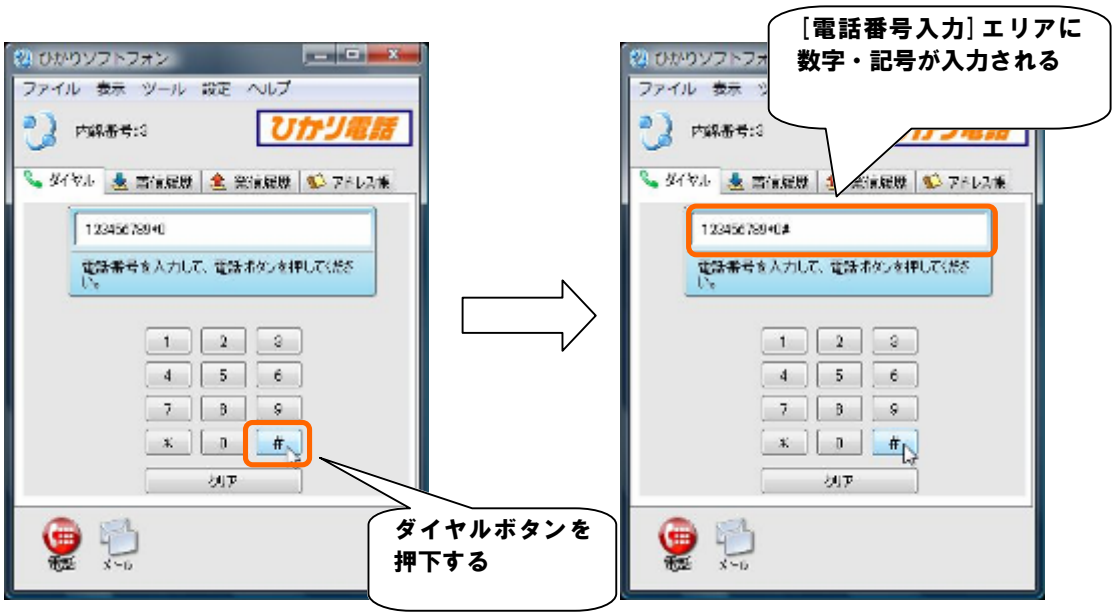
下記の場合は、起動した電話画面に相手の情報が設定されている場合の起動方法を説明します。（アドレスに登録されている場合のみ氏名が表示され、登録されていない場合は電話番号だけが表示します。）

- ダイヤル画面において電話番号を入力、または着信履歴画面、発信履歴画面、アドレス帳画面でメンバ情報を一件選択して、メイン画面下部の［電話］ボタンを押してください。またはメイン画面上部のメニューから「ツール」→「電話を開く」を選択します。
- 着信履歴画面、発信履歴画面、アドレス帳画面においてメンバ情報を選択し、右クリック→「電話を開く」を選択します。
- 着信履歴画面、発信履歴画面で、電話の発着信履歴をダブルクリック、またはアドレス帳のメンバ情報をダブルクリックします。

電話の起動

3-1.4 電話番号の入力

[0~9、#、＊]の各ダイヤルボタンを押下すると[電話番号入力]エリアにそれぞれの数字または記号を入力することが出来ます。

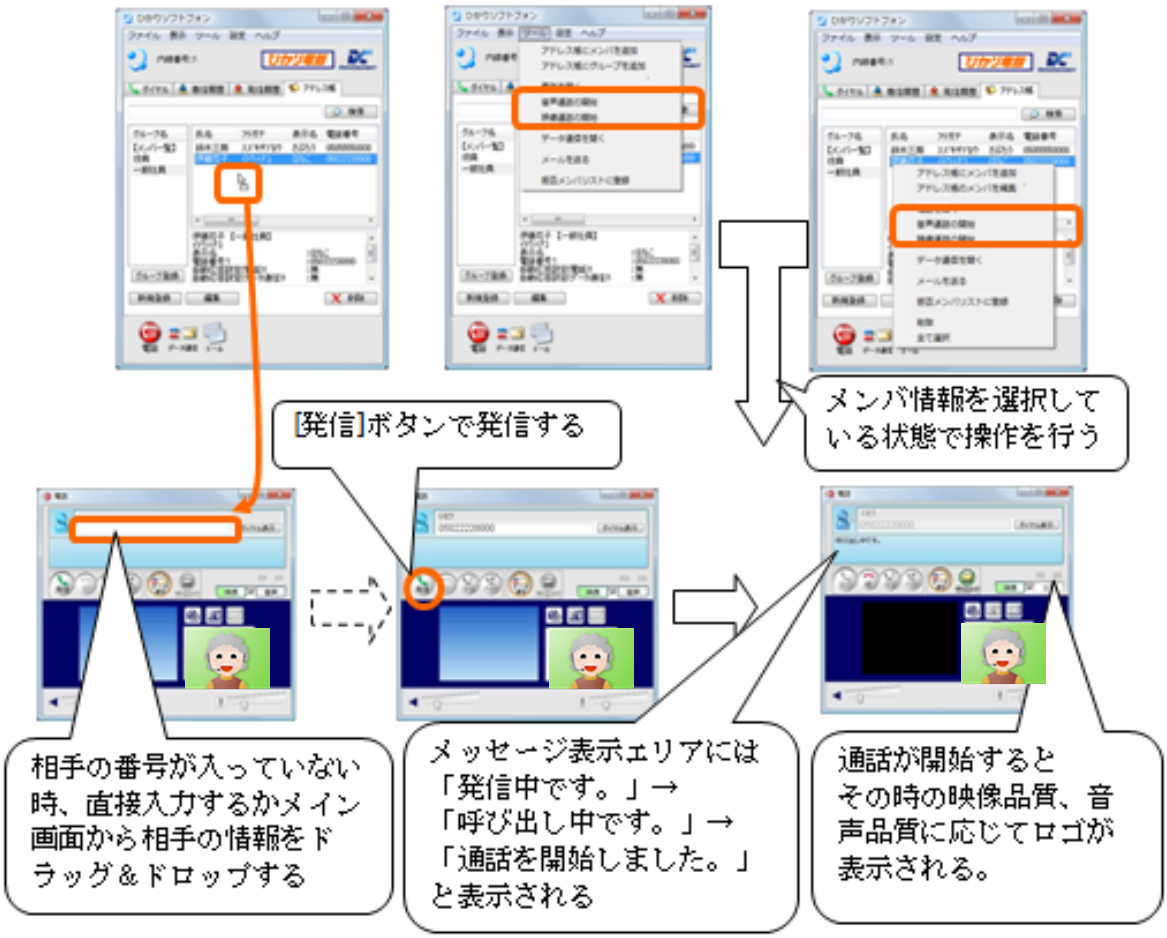


電話番号の入力

3-2.1 電話の発信

電話画面の [発信] ボタンを押下すると、電話の発信を行うことが出来ます。相手の情報が表示されていない状態で電話画面を起動した場合、相手番号を [電話番号入力] エリアに直接入力するか、メイン画面の着信履歴、発信履歴、アドレス帳から、相手情報をドラッグ＆ドロップで入力してから、[発信] ボタンを押します。

ドラッグ＆ドロップした時、選択した相手の氏名、表示名がアドレス帳に未登録の場合は、氏名、表示名は引き継ぎません。



電話の発信

電話の発信前に映像モードで[音声モード切り替え]ボタンを押下すると、音声モードに変更することが出来ます。
また、音声モードで[映像モード切り替え]ボタンを押下すると、映像モードに変更することが出来ます。

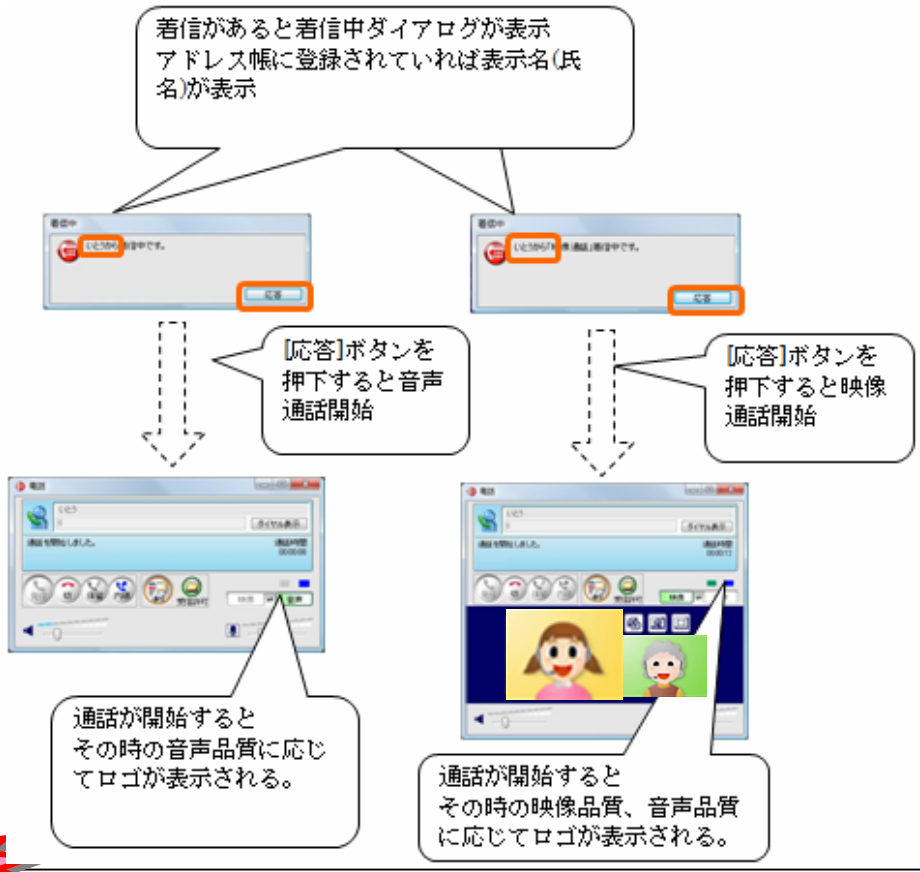
電話の通信モード変更

ご注意

①通話中は映像通信と音声通信とのモード切替は出来ません。
②他社ソフトウェアとの通信の場合、通信エラーになる事があります。
③Webカメラを利用する他社ソフトウェアと同時にひかりソフトフォンはご利用いただけません。
④パソコンが無線接続している場合、通信エラーになる事があります。
⑤音声が聴こえない場合はパソコンのサウンドの詳細設定でサンプリングレート値を確認し、サンプリングレートを１６bit/４８kHzに変更して下さい。
ただし、通話中はパソコンのサウンドの詳細設定変更（再生サンプリングレートの変更）を行わないで下さい。

3-3.1 電話の着信

電話の着信があると、着信中である画面が表示され、映像着信の場合は映像通話で音声着信の場合は音声通話で通信が出来ます。アドレス帳に表示名/氏名が登録済みであれば表示名(氏名)、未登録であれば電話番号を着信メッセージのタイトルに表示します。



ご注意

①通話中は映像通信と音声通信とのモード切替は出来ません。
②他社ソフトウェアとの通信の場合、通信エラーになる事があります。
③Webカメラを利用する他社ソフトウェアと同時にひかりソフトフォンはご利用いただけません。
④パソコンが無線接続している場合、通信がエラーになる事があります。
⑤ひかりソフトフォンで着信番号を表示するには、ナンバーディスプレイのお申込み（有料）が必要です。 お申込みは0120-116116へご連絡下さい。

3-4.1 電話の終了

下記の操作を行うと、電話の通信を終了することが出来ます。

・電話画面の[切]ボタンを押下してください(ただし、通話は切断されるが、電話画面は閉じません)

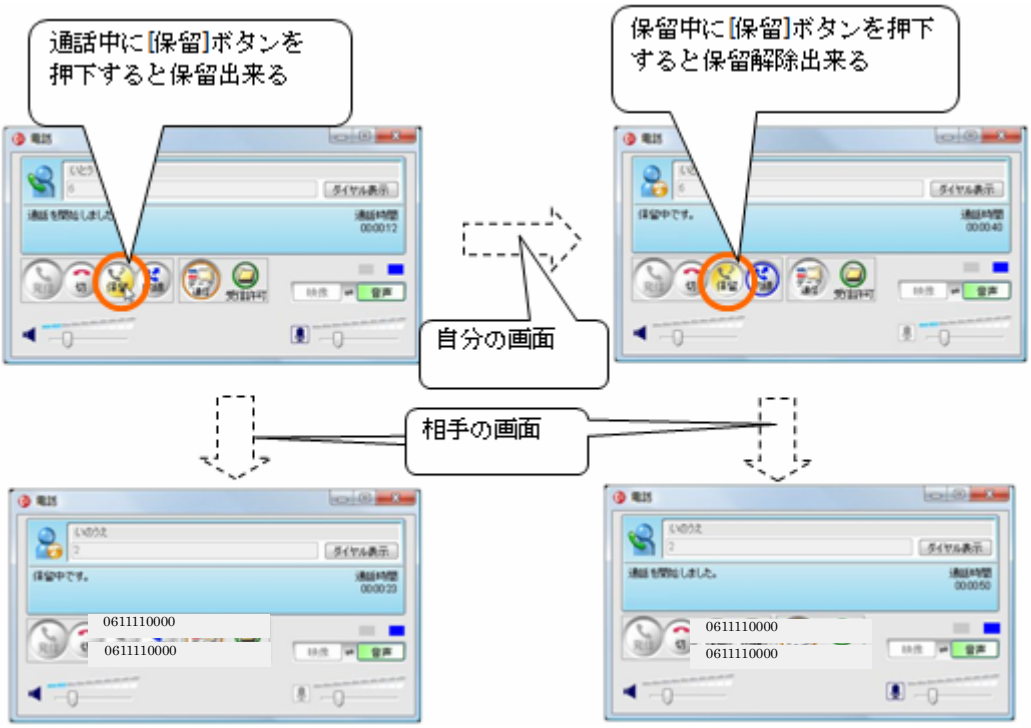
・電話画面の[閉じる]ボタンを押下してください。

電話の終了

3-5.1 電話の保留

音声通話中に[保留]ボタンを押すと、保留を行うことが出来ます。また、保留中に[保留]ボタンを押すと、保留の解除を行うことが出来ます。

※ ただし、映像通話中及びデータ通信中の保留は出来ません。



電話の保留

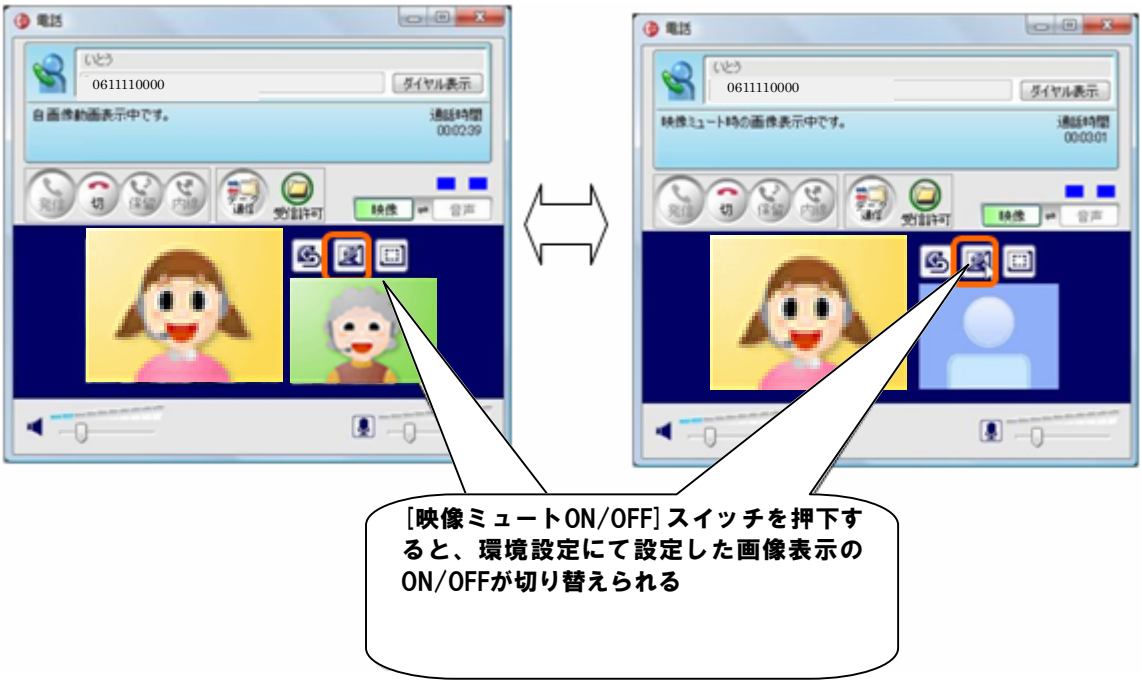
3-6.1 電話の音声ミュート

通信中に[音声ミュート ON/OFF]スイッチを押すと、マイクからの音声入力を停止/再開することが出来ます。

電話の音声ミュート

3-7.1 電話の映像ミュート

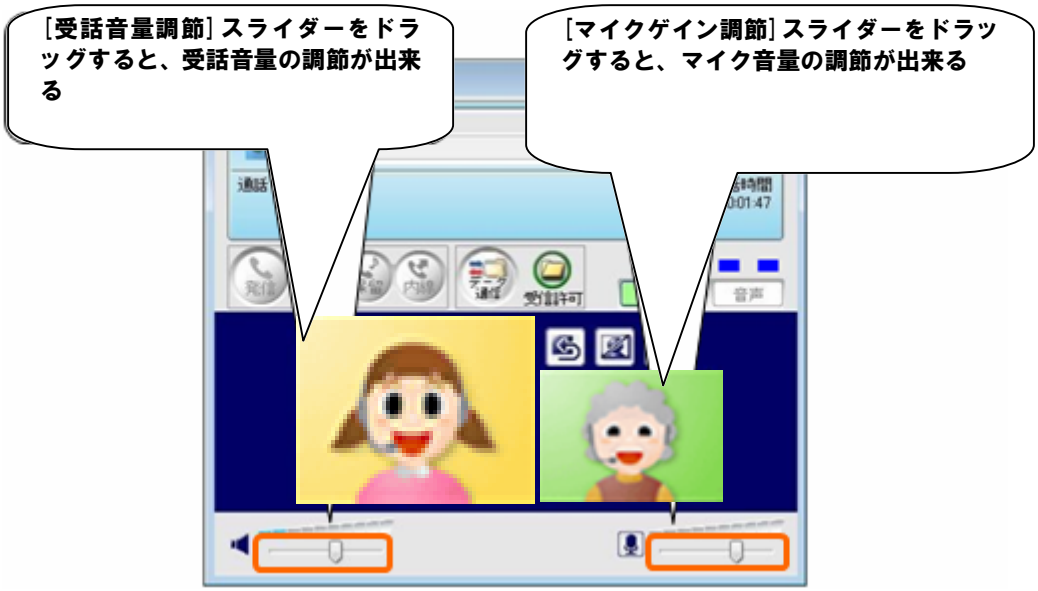
映像モードで通信中に[映像ミュート ON/OFF]スイッチを押すことにより、映像画面をミュートにすることが出来ます。再度スイッチを押すと映像画面をＯＮにすることが出来ます。



電話の映像ミュート

3-8.1 電話の音量調節

通信中に[受話音量調整]スライダーを左右に移動すると、受話音量の調節を行うことが出来ます。また、通信中に[マイクゲイン調整]スライダーを左右に移動すると、マイク音量の調節を行うことが出来ます。



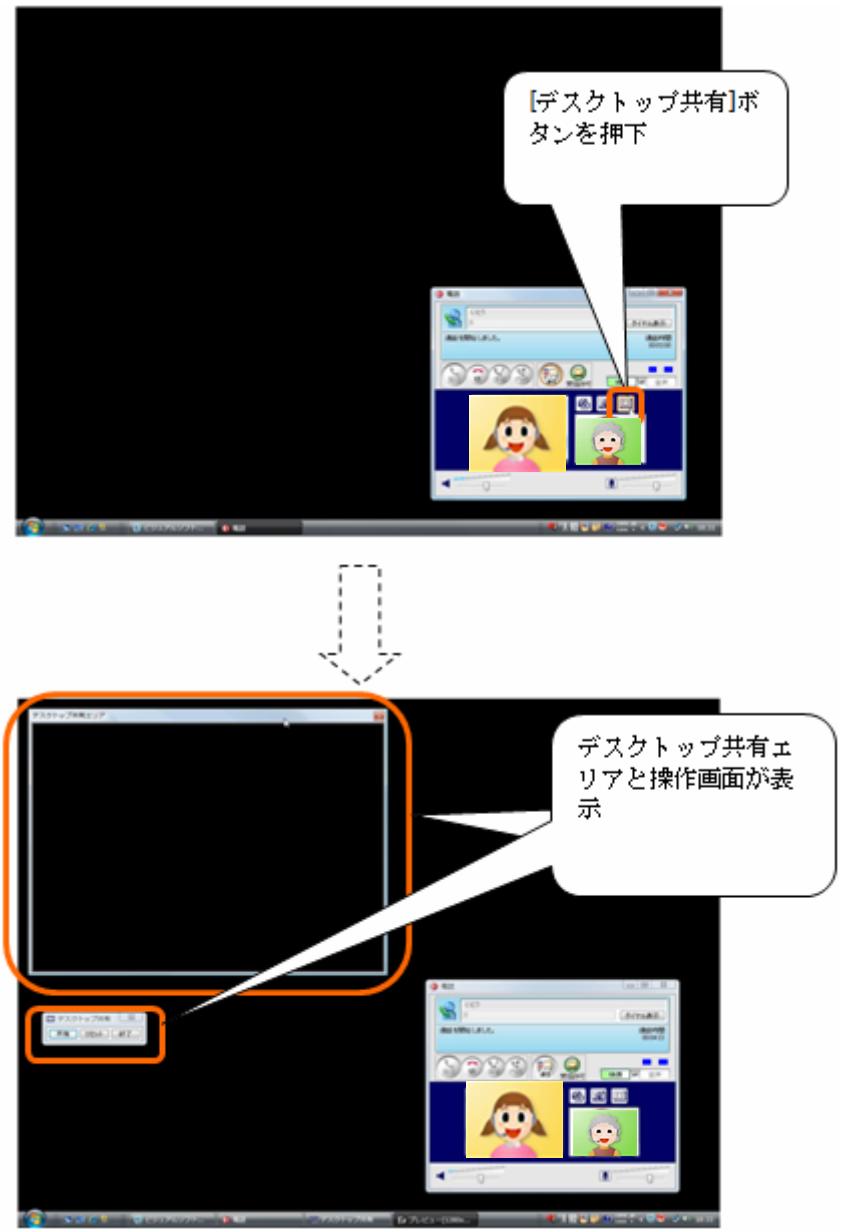
電話の音量調節

3-9.1 デスクトップ共有

映像電話の通話中に、指定したデスクトップ領域内の画像を通信相手に共有する「デスクトップの共有」を行うことが出来る機能です。

3-9.2 デスクトップ共有の起動

映像電話画面の［デスクトップ共有］ボタンを押すと、デスクトップ上にデスクトップ共有エリアおよび操作画面が表示します。

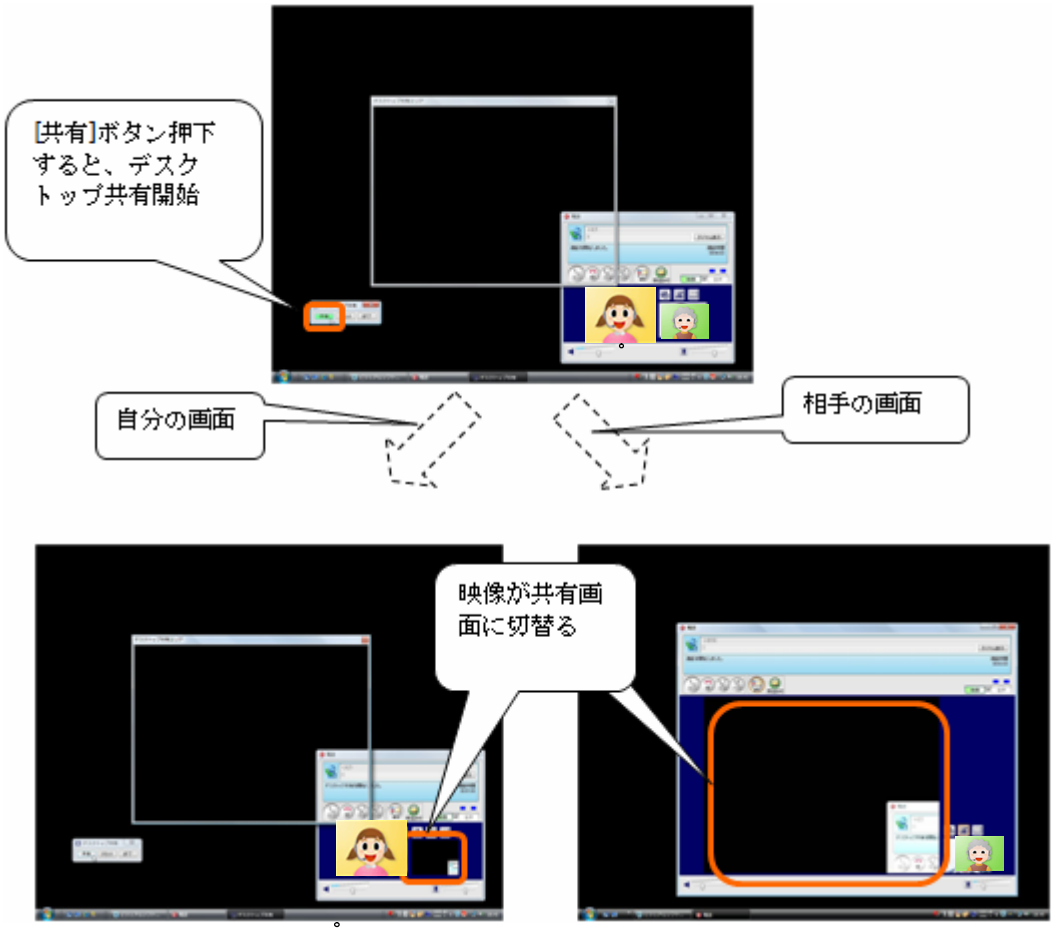


デスクトップ共有の起動

3-9.3 デスクトップ共有の開始

操作画面の [共有] ボタンを押します。

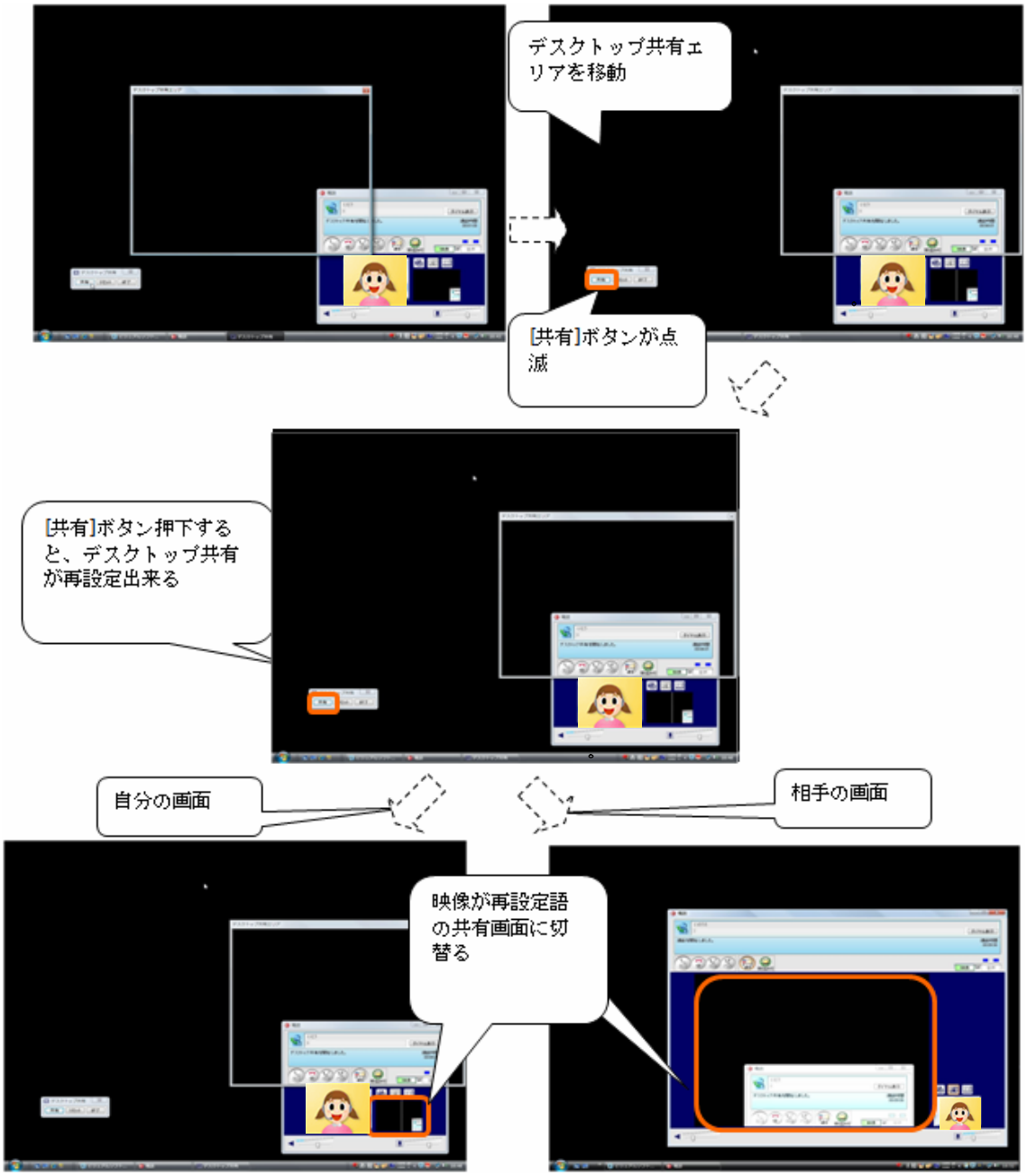
デスクトップ共有の開始が表示し、自分の映像電話画面および相手の映像電話画面に、デスクトップ共有エリアで指定したエリアの映像が表示します。



デスクトップ共有の開始

3-9.4 デスクトップ共有エリアの再設定

デスクトップ共有エリアを移動させると操作画面の [共有] ボタンが点滅します。
[共有] ボタンを押すと、[共有] ボタンの点滅が終了し、デスクトップ共有エリアの再設定をすることが出来きます。



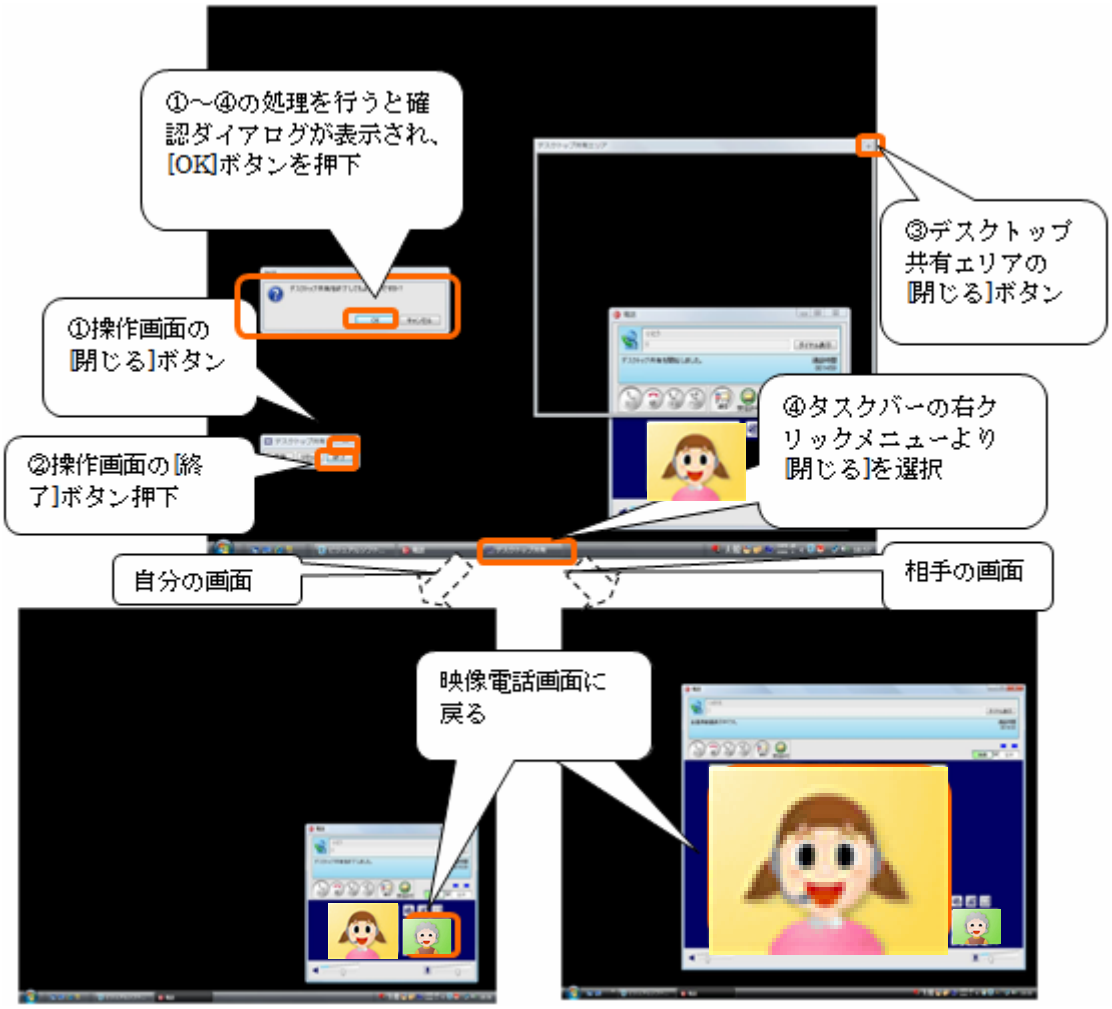
。デスクトップ共有エリアの再設定

3-9.5 デスクトップ共有の終了

- 操作画面の [閉じる] ボタン押下 (①)
- 操作画面の [終了] ボタン押下 (②)
- デスクトップ共有エリアの [閉じる] ボタン押下 (③)
- タスクバーの右クリックメニューより [閉じる] を選択 (④)

のいずれかを実行すると、確認画面が表示され、 [OK] を選択するとデスクトップ共有エリアおよび操作画面が閉じます。

[キャンセル] を押下すると、デスクトップ共有が継続出来ます。

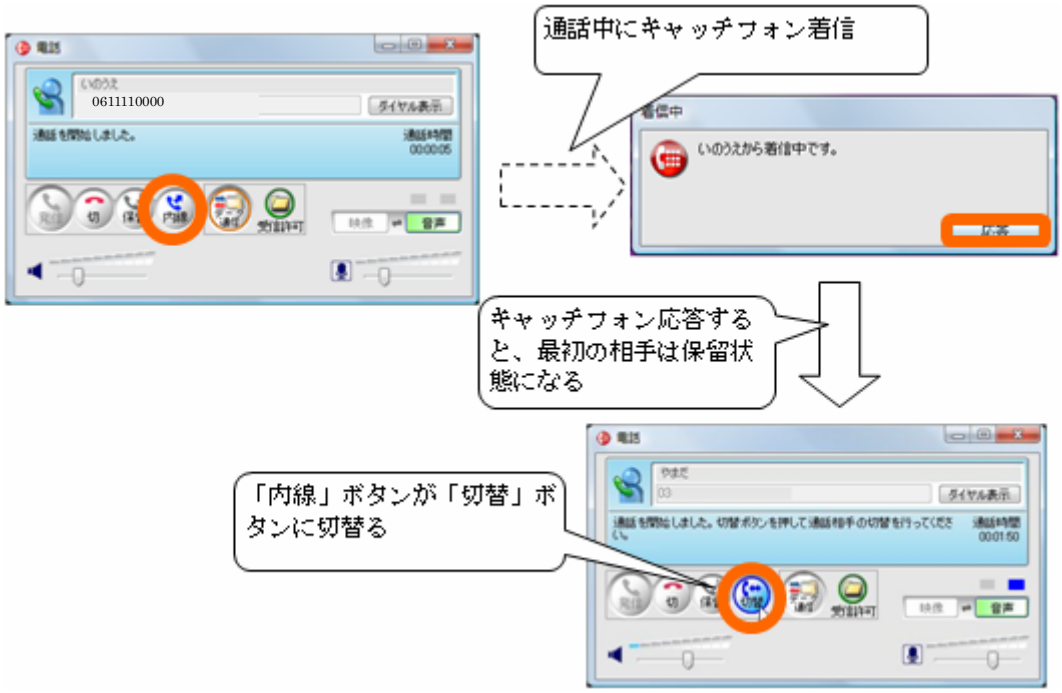


デスクトップ共有の終了

3-10.1 キャッチホンの応答

音声電話の通話中において、電話のキャッチホン着信を受け、通話相手を切り替えての通話ができます。

通話中、キャッチホン着信時に電話着信画面が表示されます。キャッチホンに応答直後、電話画面の [内線] ボタンが [切替] ボタンに切替り、最初の通話相手は保留状態になります。



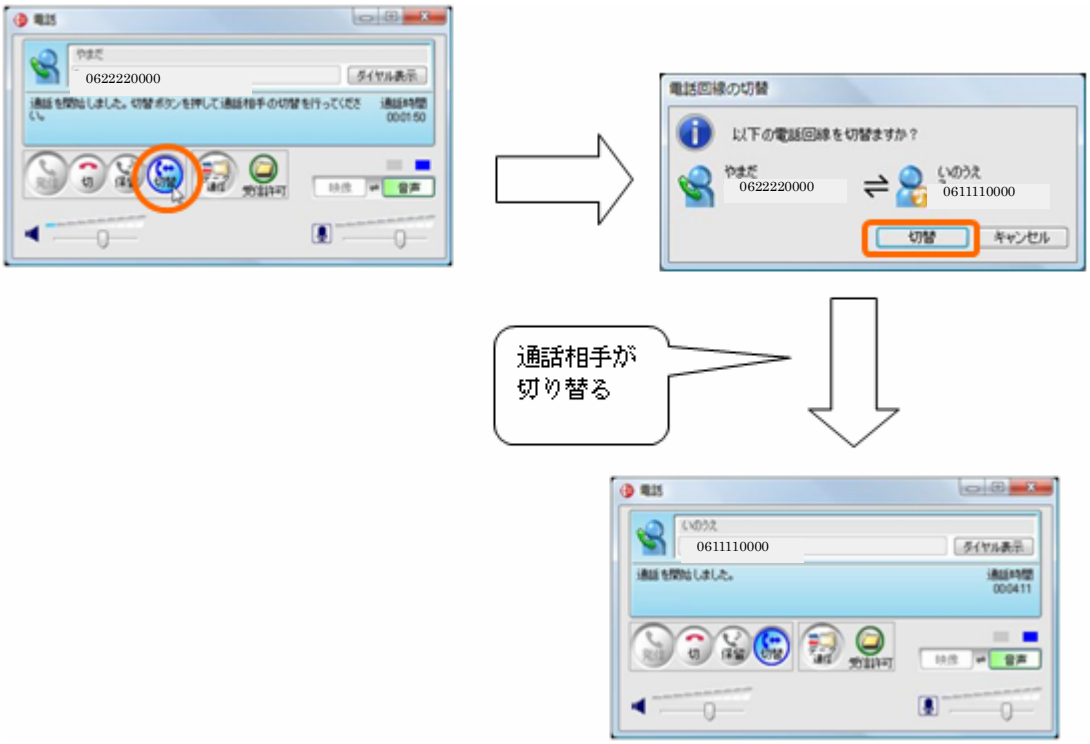
キャッチホンの応答

ご注意

①キャッチホンによる通話中は転送を行うことは出来ません。
②映像通話中はキャッチホンは着信出来ません。
キャッチホンの着信は、音声通話のみ着信可能です。

3-10.2 キャッチホンの切替

キャッチホン通話中に電話画面の [切替] ボタンを押した場合、電話回線の切替画面が表示します。



キャッチホンの切替

3-11.1 電話の転送

音声通話中/保留中に内線電話へ転送を行うことが出来ます。

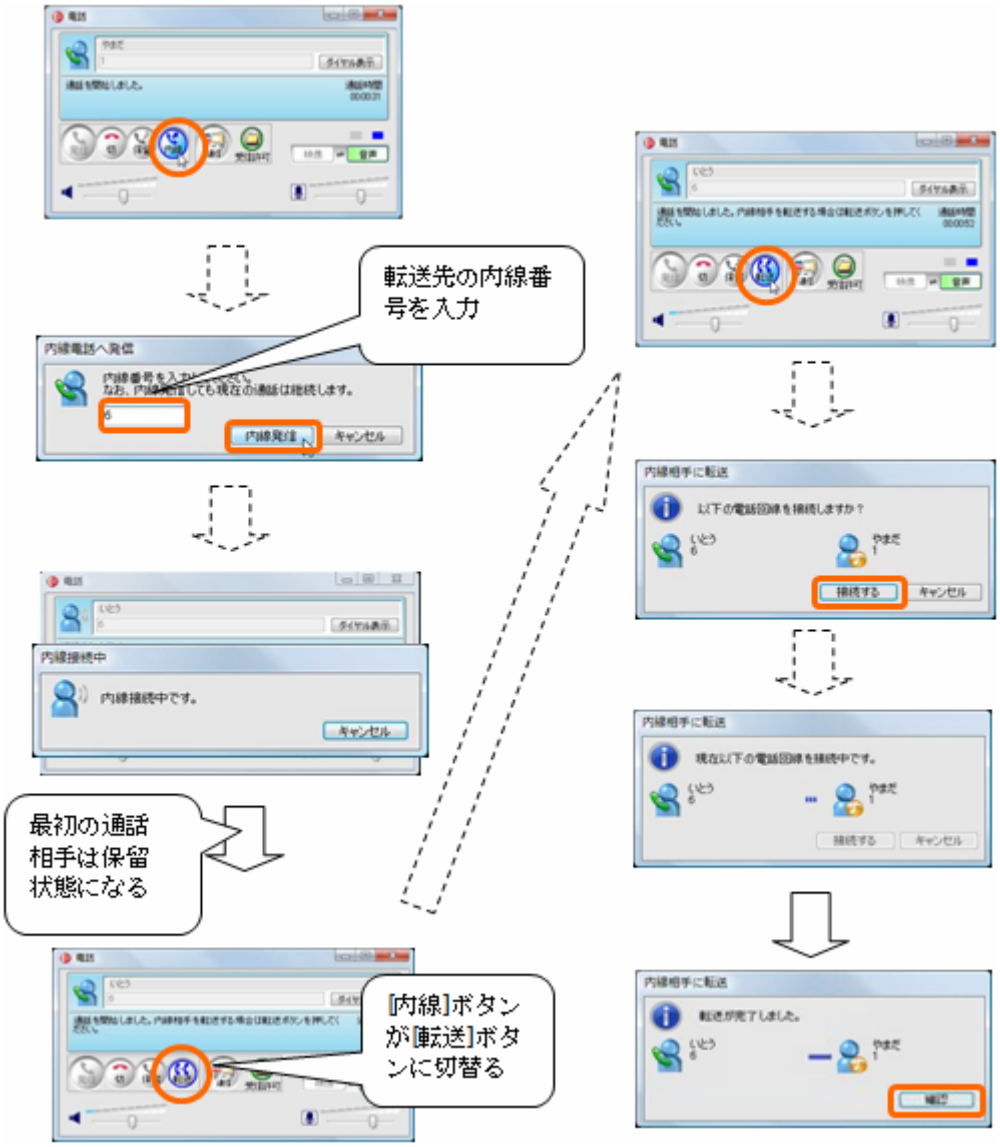
内線番号へ転送画面に内線番号を入力して、[内線発信]ボタン押下で、入力した内線に発信し、内線相手と接続すると通話が開始される。内線接続処理に入ると、外線相手は保留音が鳴っている状態になります。

内線が繋がると、電話画面の[内線]ボタンが[転送]ボタンに替わります。

内線発信中にキャンセル、または、エラーが発生した場合、メッセージダイアログが表示され、外線相手との保留状態に戻ったことが伝えられる。[OK]ボタンを押下すると保留が解除され、外線相手との会話が始まります。

ご注意

①[内線]ボタン押下後、キャッチホン着信は出来ません。
②一部の端末で内線通話時にエラーになる場合があります。


転送先の内線番号を入力
内線電話へ発信
内線接続中
内線接続中です。
キャンセル
最初の通話相手は保留状態になる
[内線]ボタンが[転送]ボタンに切替る
内線相手に転送
以下の電話回線を接続しますか？
接続する
キャンセル
現在以下の電話回線を接続中です。
転送が完了しました。

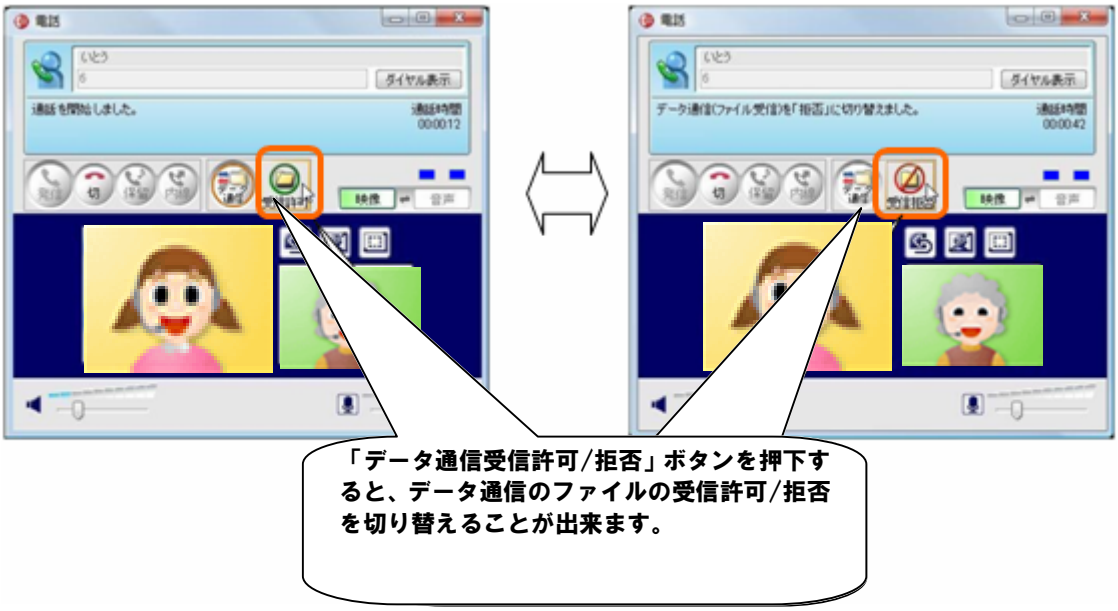
電話の転送

3-11.2 電話中のデータ通信受信許可／拒否切り替え

電話発信後の通信中に[データ通信受信許可/拒否]ボタンを押下する事により、データ通信のファイルの受信許可／拒否を切り替えることが出来ます。

[データ通信受信許可/拒否]ボタンによる許可／拒否の設定を電話画面起動中に一度でも行った場合は、拒否メンバリストの許可／拒否設定及び、データ通信のファイルの受信設定よりも優先されます。

[データ通信受信許可/拒否]の初期表示状態は、拒否メンバリストの許可／拒否設定及び、データ通信のファイルの受信設定の状態により決定されます。



電話のデータ通信受信許可／拒否切り替え

4 データ通信

データ通信についての説明をいたします。

4-1.1 データ通信画面説明

データ通信画面についての説明をいたします。

データ通信(ファイル送信)画面

データ通信(ファイル受信)画面

データ通信画面説明

項番	名称	説明
1	[転送状態表示]アイコン	未接続、接続中、送信中、受信中の 4 状態で状態変更毎にアイコンが変更
2	[ファイル転送相手表示]エリア	通信相手の電話番号がアドレス帳にある場合、通信相手の表示名＞氏名＞電話番号が表示 また、非通知着信の場合は[非通知]と表示
3	[電話番号入力]エリア	キーボードより入力可能 入力制限は『13.1 文字入力の制限について』を参照
4	[データ通信残回数表示]エリア	ファイルの送受信可能な残り回数を表示(電話通話中時のみ表示される)
5	[データ通信時間表示]エリア	データ通信時間を表示
6	[システムメッセージ表示]エリア	データ通信に関する情報を表示
7	[ステータス表示]エリア	現在のデータ通信の状態を表示
8	[送信画面切り替え]ボタン	データ通信(ファイル受信)画面が表示されている場合、データ通信(ファイル送信)画面に切り替え
9	[受信画面切り替え]ボタン	データ通信(ファイル送信)画面が表示されている場合、データ通信(ファイル受信)画面に切り替え

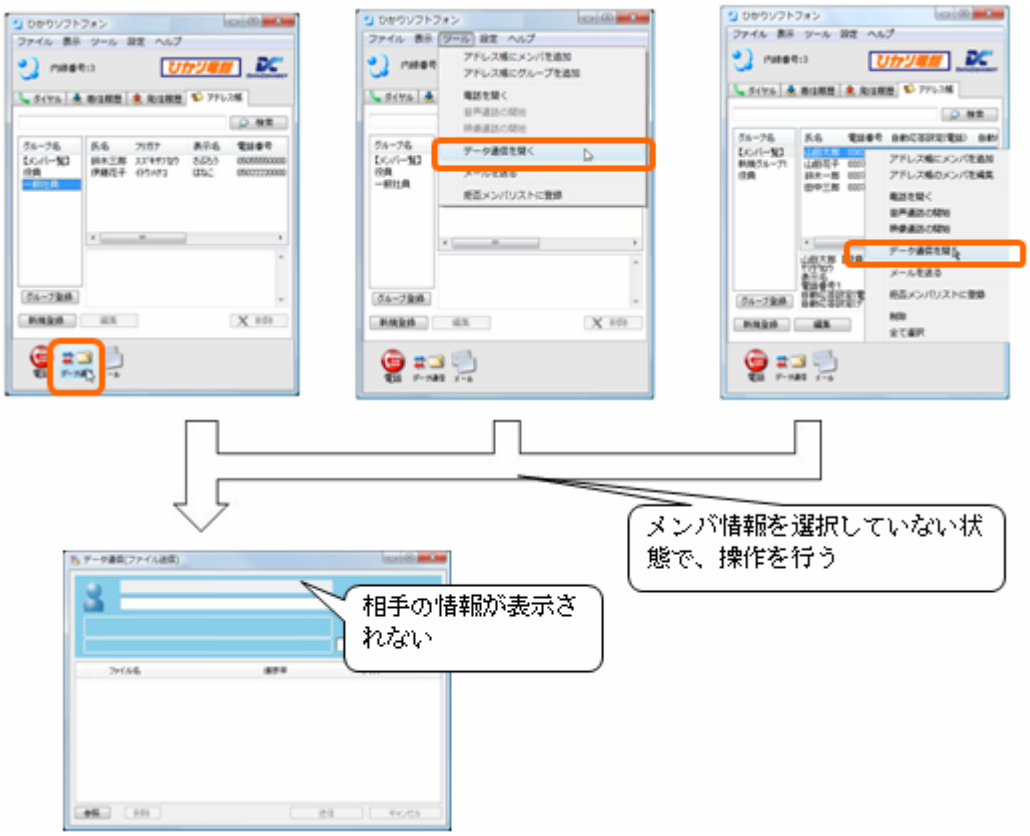
項番	名称	説明
10	[ファイル選択]ヘッダ	ソート不可
11	[ファイルイメージ]ヘッダ	ソート不可
12	[ファイル名]ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能
13	[進捗率]ヘッダ	ソート不可
14	[サイズ]ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能
15	[ファイル選択]セル	ファイルの選択状況を表示
16	[ファイルイメージ]セル	ファイルのイメージ(アイコン)を表示
17	[ファイル名]セル	ファイル名を表示
18	[進捗率]セル	ファイル送受信の進捗状況を表示
19	[サイズ]セル	ファイルのサイズを表示
20	[参照]ボタン	送信するファイルを選択する為のファイル選択ダイアログを表示
21	[削除]ボタン	選択されている(チェックボックスがチェックされている)ファイルをリストから削除
22	[送信]ボタン	選択されているファイルを送信
23	[キャンセル]ボタン	・発信、呼び出しの中止 ・送信の中止 ・データ通信継続の終了
24	[送信者]ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能
25	[受信日時]ヘッダ	クリックで昇順・降順の変更が可能
26	[送信者]セル	ファイルの送信者を表示
27	[受信日時]セル	ファイルの受信日時を表示
28	[保存先フォルダ表示]エリア	[保存]ボタンを押下した際の受信したファイルの保存先フォルダを表示
29	[参照]ボタン	受信したファイルの保存先を選択する為のファイル選択ダイアログを表示
30	[保存]ボタン	選択されているファイルを[保存先フォルダ表示]エリアで表示されているフォルダに保存
31	[削除]ボタン	選択されているファイルをリストから削除
32	[キャンセル]ボタン	・受信の中止 ・データ通信継続の終了

4-2.1 データ通信の起動

下記の操作を行うと、データ通信画面を起動することが出来ます。

送信相手が設定されていない場合のデータ通信起動

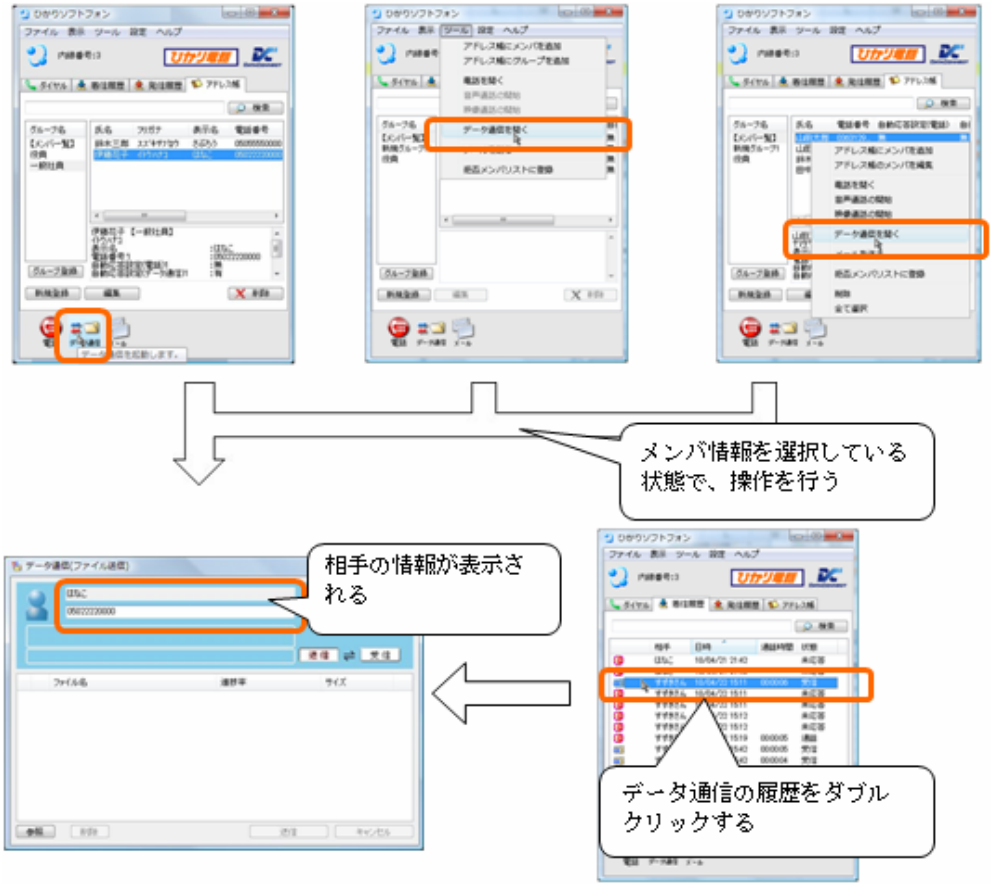
- 非通話中にダイヤル画面において電話番号が入力されていない状態、または着信履歴画面、発信履歴画面、アドレス帳画面においてメンバ情報を選択していない状態で、メイン画面下部の[データ通信]ボタンを押下、またはメイン画面上部のメニューから「ツール」→「データ通信を開く」を選択
- 非通話中に着信履歴画面、発信履歴画面、アドレス帳画面においてメンバ情報を選択していない状態で、右クリック→「データ通信を開く」 を選択
- 電話番号が入力されていない状態で、電話画面の[データ通信]ボタンを押下



データ通信の起動 1

送信相手が設定されている場合のデータ通信起動

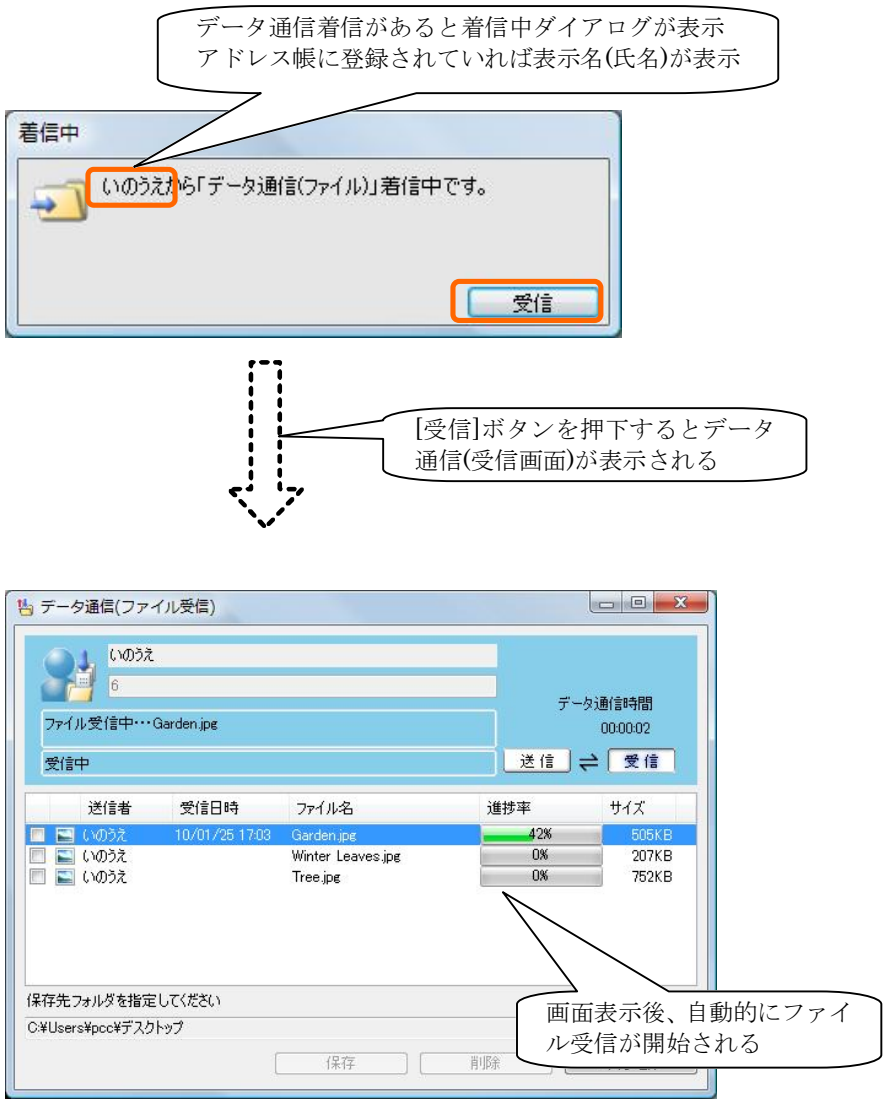
- ダイヤル画面において電話番号を入力、または着信履歴画面、発信履歴画面、アドレス帳画面でメンバ情報を一件選択して、メイン画面下部の[データ通信]ボタンを押下、またはメイン画面上部のメニューから「ツール」→「データ通信を開く」を選択
- 着信履歴画面、発信履歴画面、アドレス帳画面においてメンバ情報を選択し、右クリック→「データ通信を開く」を選択
- 着信履歴画面、発信履歴画面で、データ通信の発着信履歴をダブルクリック



データ通信の起動 2

4－3.1 データ通信の着信

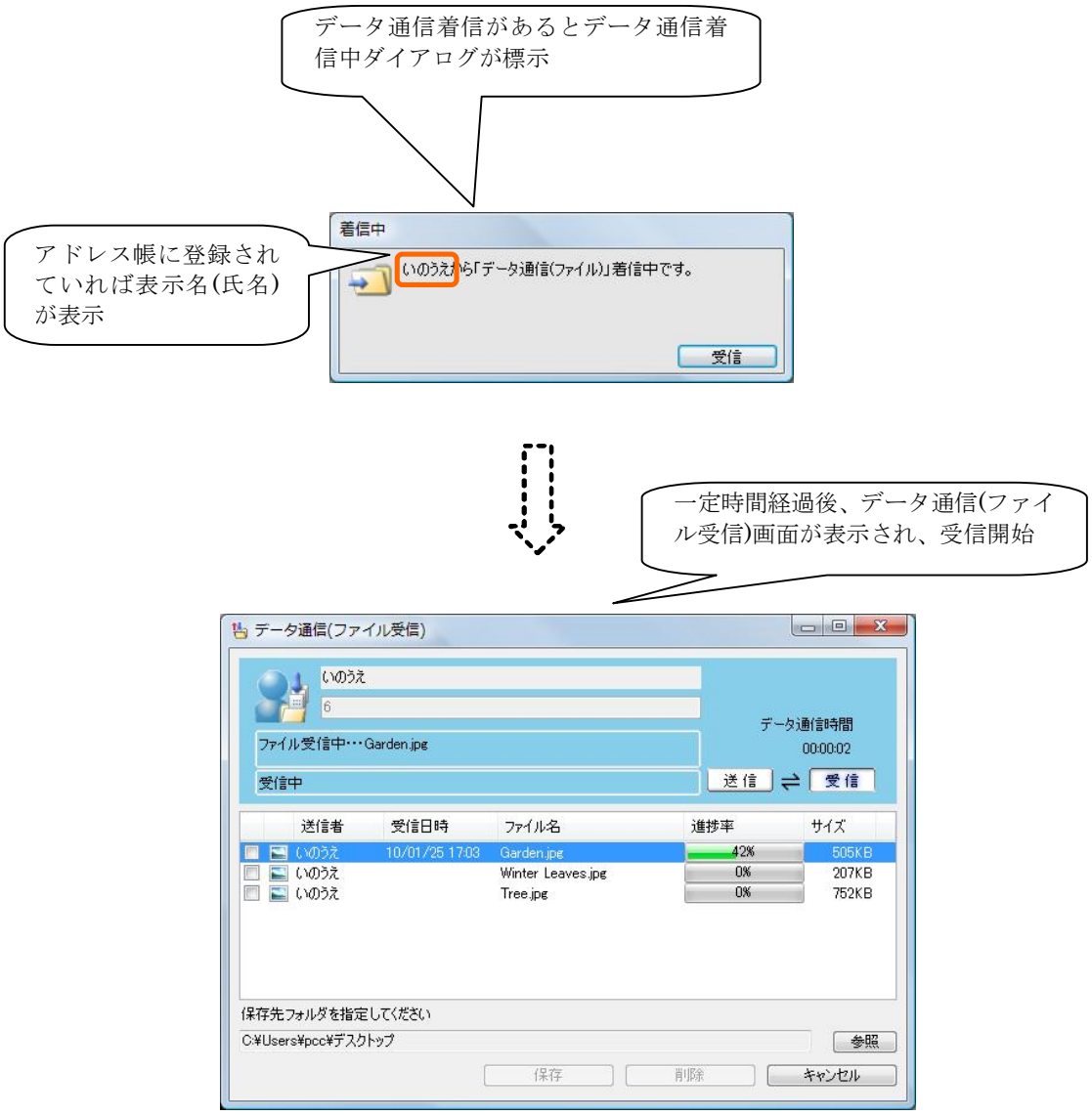
非通話中にデータ通信の着信があると、データ通信着信中ダイアログが表示されます。



データ通信の着信

4-4.1 データ通信の自動応答

『12.5 データ通信』で[自動応答する]チェックボックスがチェックされており、且つ、アドレス帳で着信した電話番号に対してデータ通信の自動着信応答が設定されている場合、データ通信着信中ダイアログ表示後に環境設定にて設定した時間が経過すると自動的にファイル受信が開始されます。

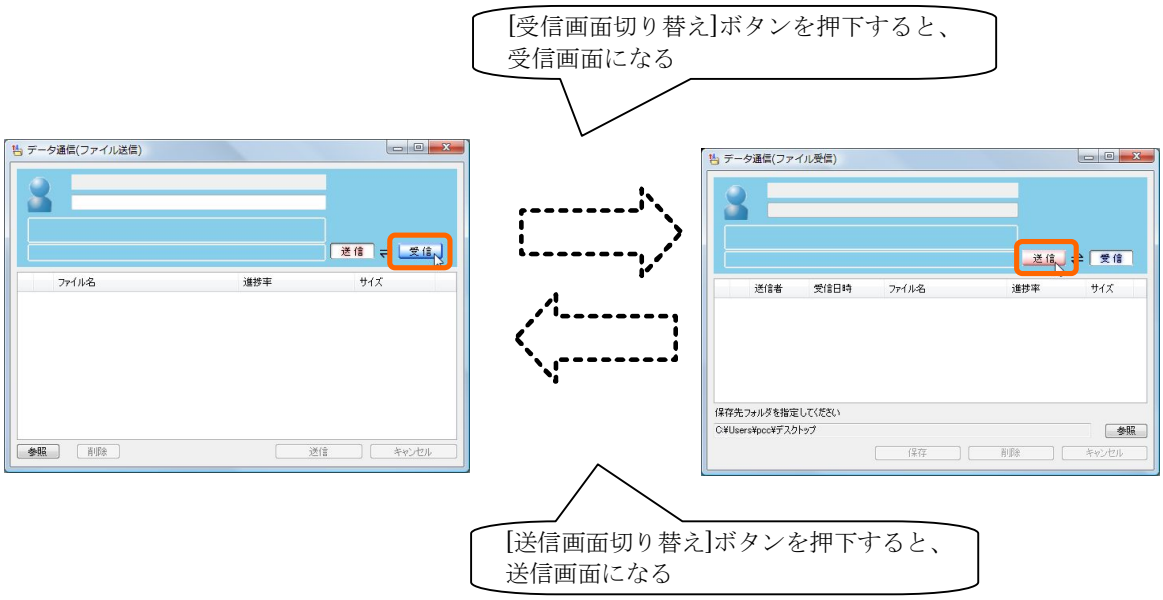


データ通信の自動応答

4-5.1 データ通信の画面モード変更

送信画面表示時に[受信画面切り替え]ボタンを押下すると、受信画面に変更することが出来ます。

また、受信画面表示時に[送信画面切り替え]ボタンを押下すると、送信画面に変更することが出来ます。



データ通信の画面モード変更

4-6.1 データ通信の送信用ファイルの追加

送信画面の[参照]ボタンを押下するとファイル選択ダイアログが表示され、送信リストにファイルの追加を行うことが出来ます。また、送信リストへファイルをドラッグ＆ドロップすることでもファイルの追加を行うことが出来ます。

ファイルを追加する際に以下の条件のいずれかに当てはまる場合は、ファイルを追加することはできません。

・追加しようとしているファイルのサイズが 4GB 以上の場合
・追加済みのファイルと合わせて、100 件以上ファイルが追加される場合
・発信中・呼び出し中・送信中の場合

送信リスト追加

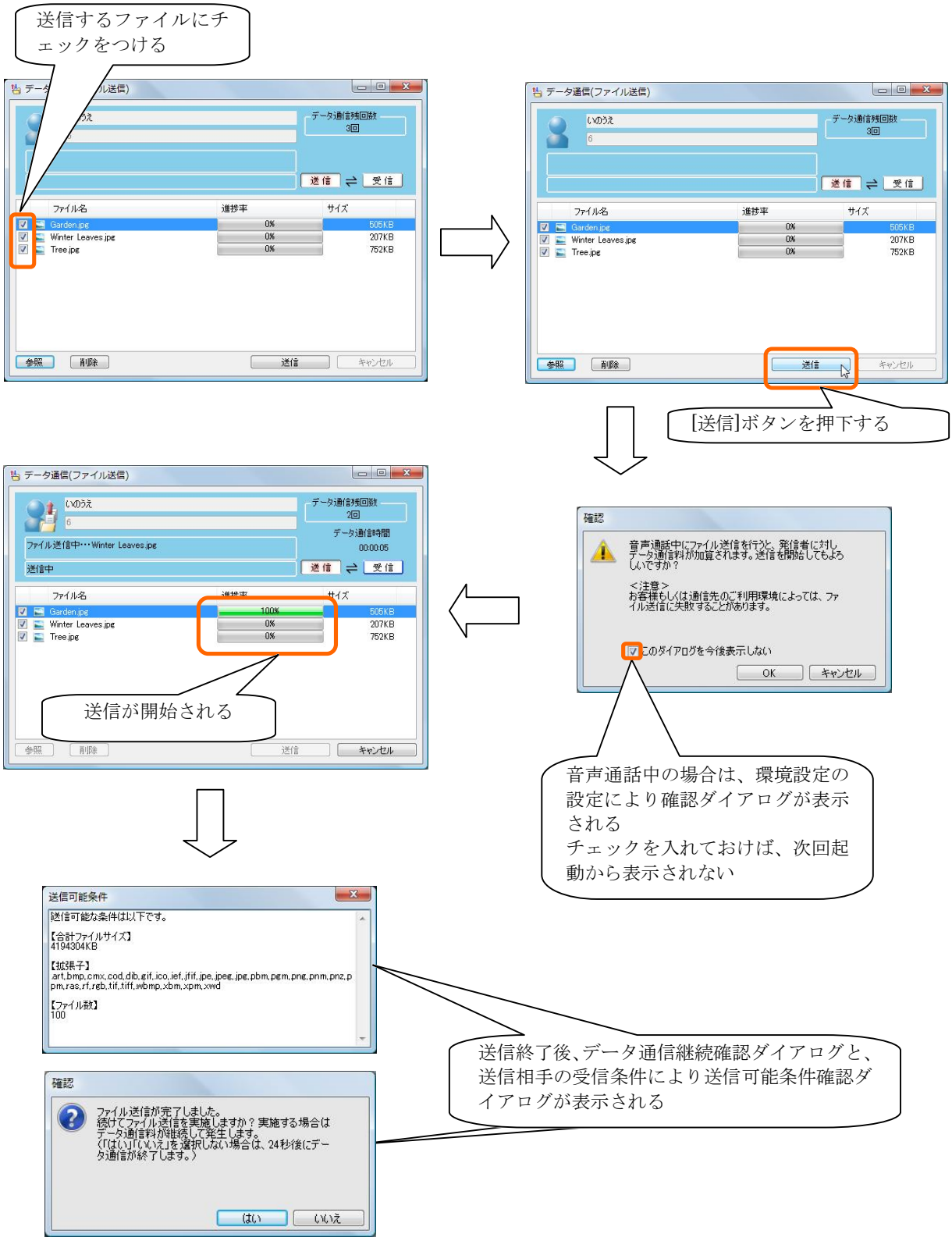
4-7.1 データ通信のファイル送信

通話中のファイル送信

送信リストのファイルにチェックが入っている状態で、画面の[送信]ボタンを押下すると、ファイルの送信を行うことが出来ます。
送信終了後、データ通信継続確認ダイアログが表示されます。

ファイルを送信する際に以下の条件のいずれかに当てはまる場合は、ファイルを送信することはできません。

・通話中の相手が緊急呼の場合
・データ通信継続中に、データ通信可能条件の数以上のファイルを一度に送信しようとした場合
・データ通信残回数が 0 回の場合(データ通信継続中は可能)
・送信相手が受信可能でないサイズのファイルの送信を試みた場合

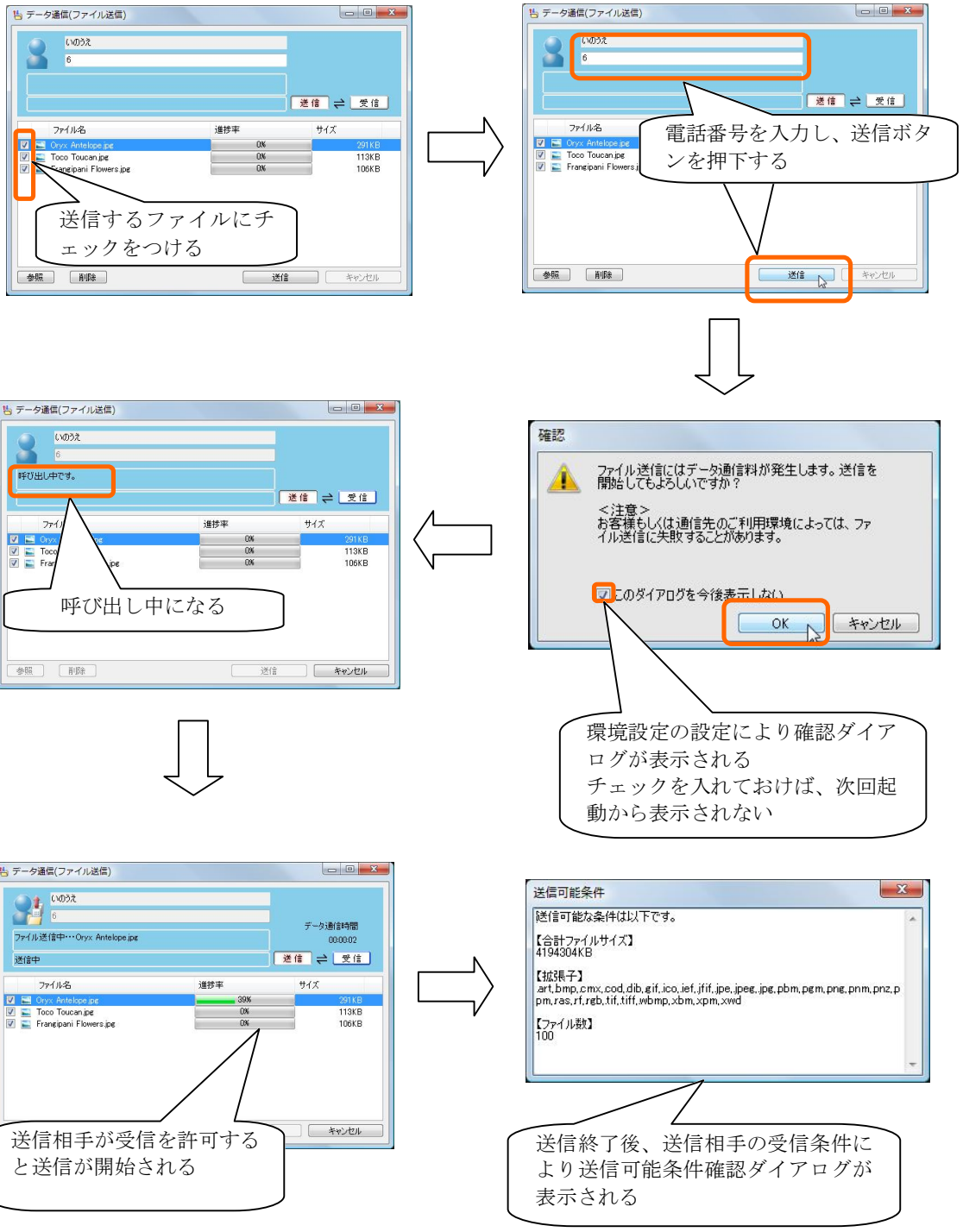

送信するファイルにチェックをつける
[送信]ボタンを押下する
送信が開始される
音声通話中の場合は、環境設定の設定により確認ダイアログが表示される
チェックを入れておけば、次回起動から表示されない
送信終了後、データ通信継続確認ダイアログと、送信相手の受信条件により送信可能条件確認ダイアログが表示される

通話中のファイル送信

非通話中のファイル送信

電話番号入力欄に電話番号が入力されており送信リストのファイルにチェックが入っている状態で、画面の[送信]ボタンを押下すると、ファイルの送信を行うことが出来ます。緊急呼へのファイル送信を行うことはできません。

[送信]ボタン押下後、送信相手の画面にデータ通信着信ダイアログが表示され、送信相手が受信を許可するとファイルの送信が開始されます。



非通話中のファイル送信

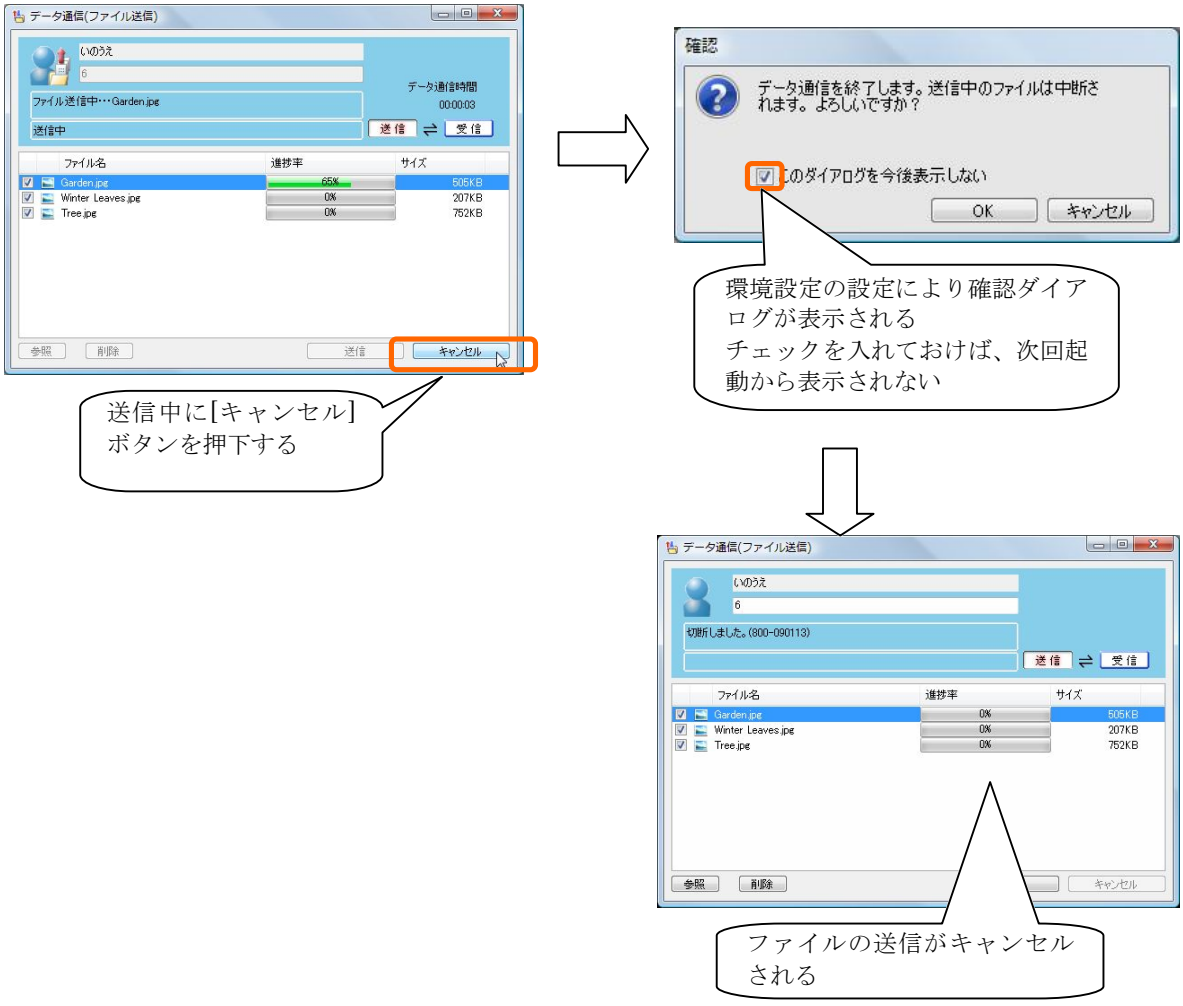
4-8.1 データ通信の発信・呼び出しキャンセル

非通話時のファイル送信において発信中・呼び出し中時に、画面の[キャンセル]ボタンを押下することにより、発信・呼び出しをキャンセルすることが出来ます。

データ通信の発信・呼び出しキャンセル

4-9.1 データ通信のファイル送信キャンセル

ファイルを送信中に、画面の[キャンセル]ボタンを押下することにより、ファイルの送信をキャンセルすることが出来ます。しかし、画面上ですでに送信済みのファイル（進捗率が 100%）の送信をキャンセルすることはできません。

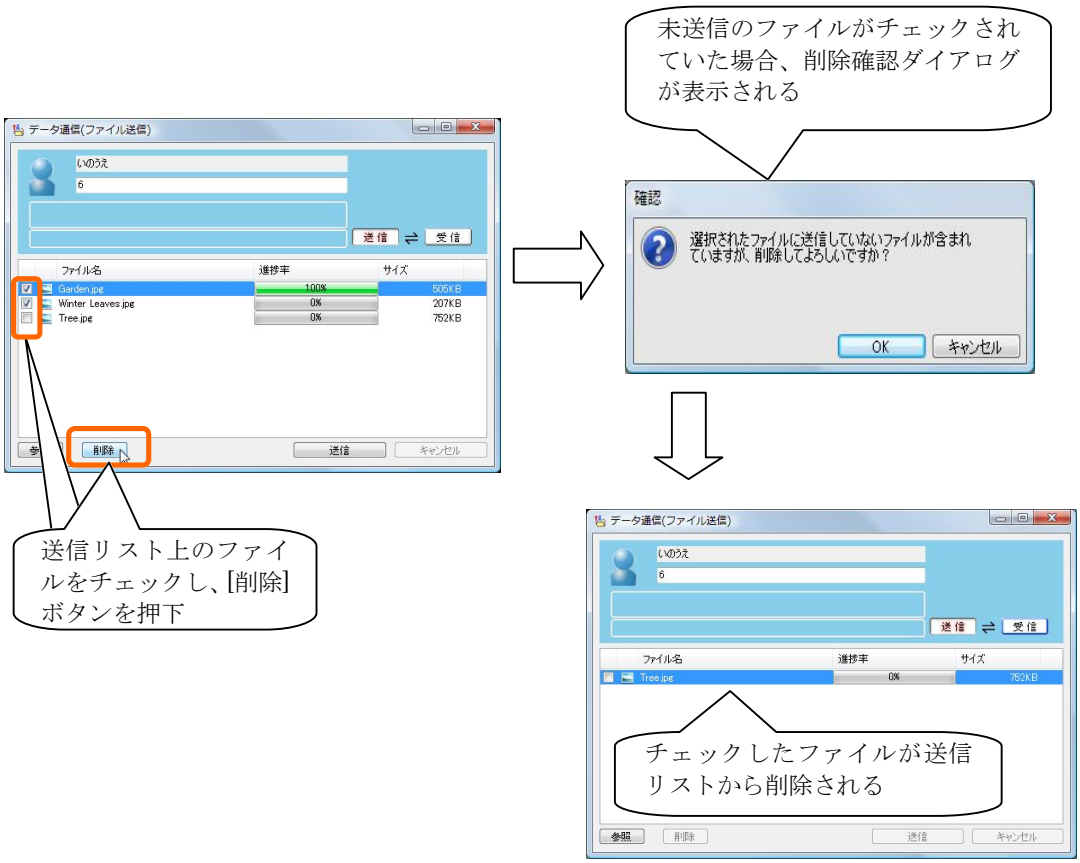


データ通信のファイル送信キャンセル

4-10.1 データ通信の送信リスト削除

送信リスト上でファイルをチェックし、[削除]ボタンを押下することによりリストからファイルの削除を行うことが出来ます。

複数のファイルをチェックすることにより、一度に複数のファイルの削除を行うことが可能です。



データ通信の送信リスト削除

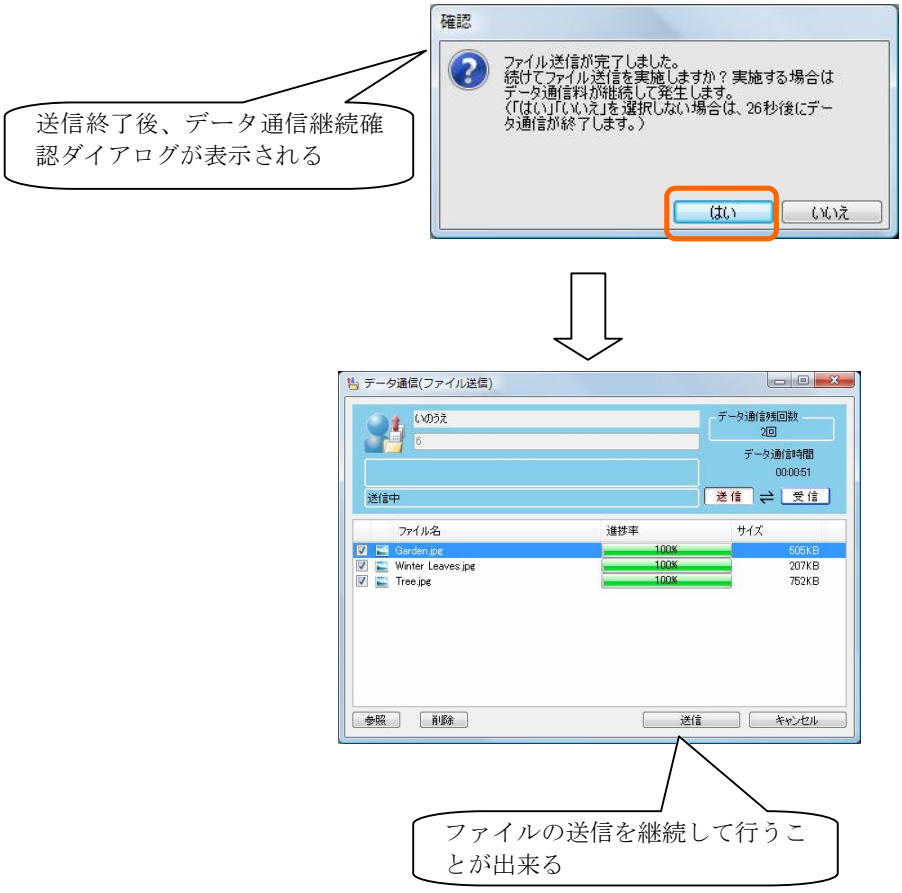
4-11.1 データ通信の継続

通話中にファイルを送信後、データ通信の継続確認ダイアログが表示されます。確認ダイアログの「はい」ボタンを押下するとデータ通信を継続することが出来ます。

データ通信を継続する場合は、ファイル送受信の有無に関わらずデータ通信料が課金されます。

「いいえ」ボタンを押した場合、またはダイアログ中のカウントが 0 秒になった場合は、継続確認ダイアログを閉じデータ通信を終了します。(画面は閉じない)

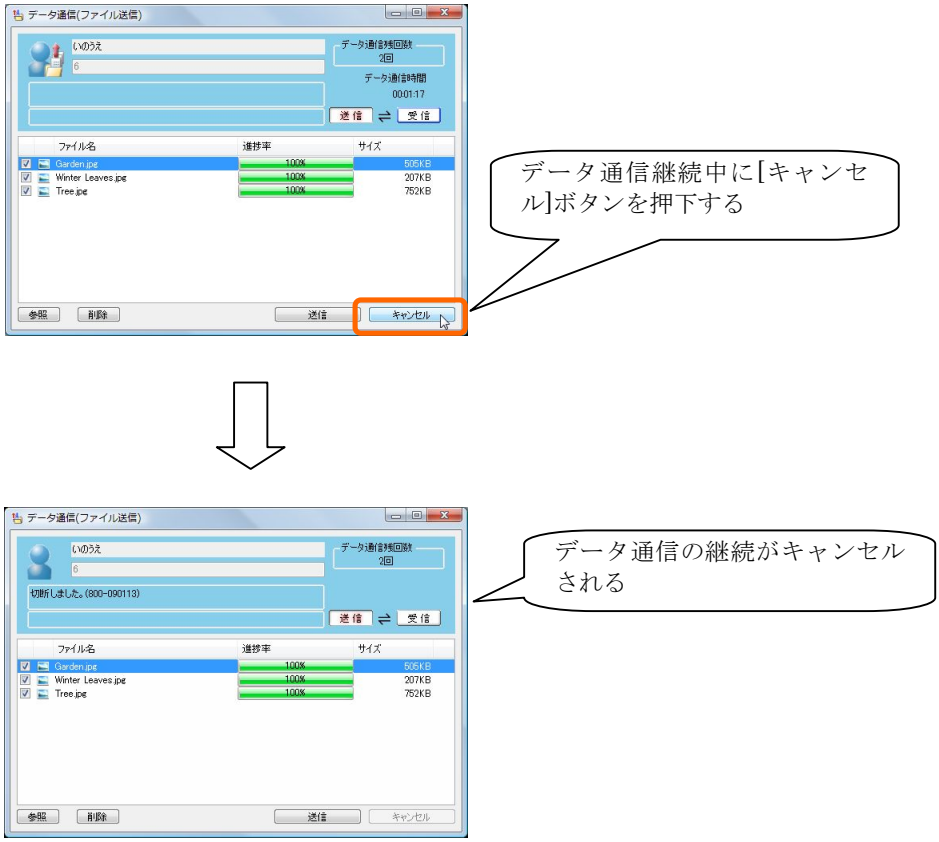
データ通信継続中はデータ通信残回数を減らさずにファイル送信が可能である。



データ通信の継続

4-12.1 データ通信の継続キャンセル

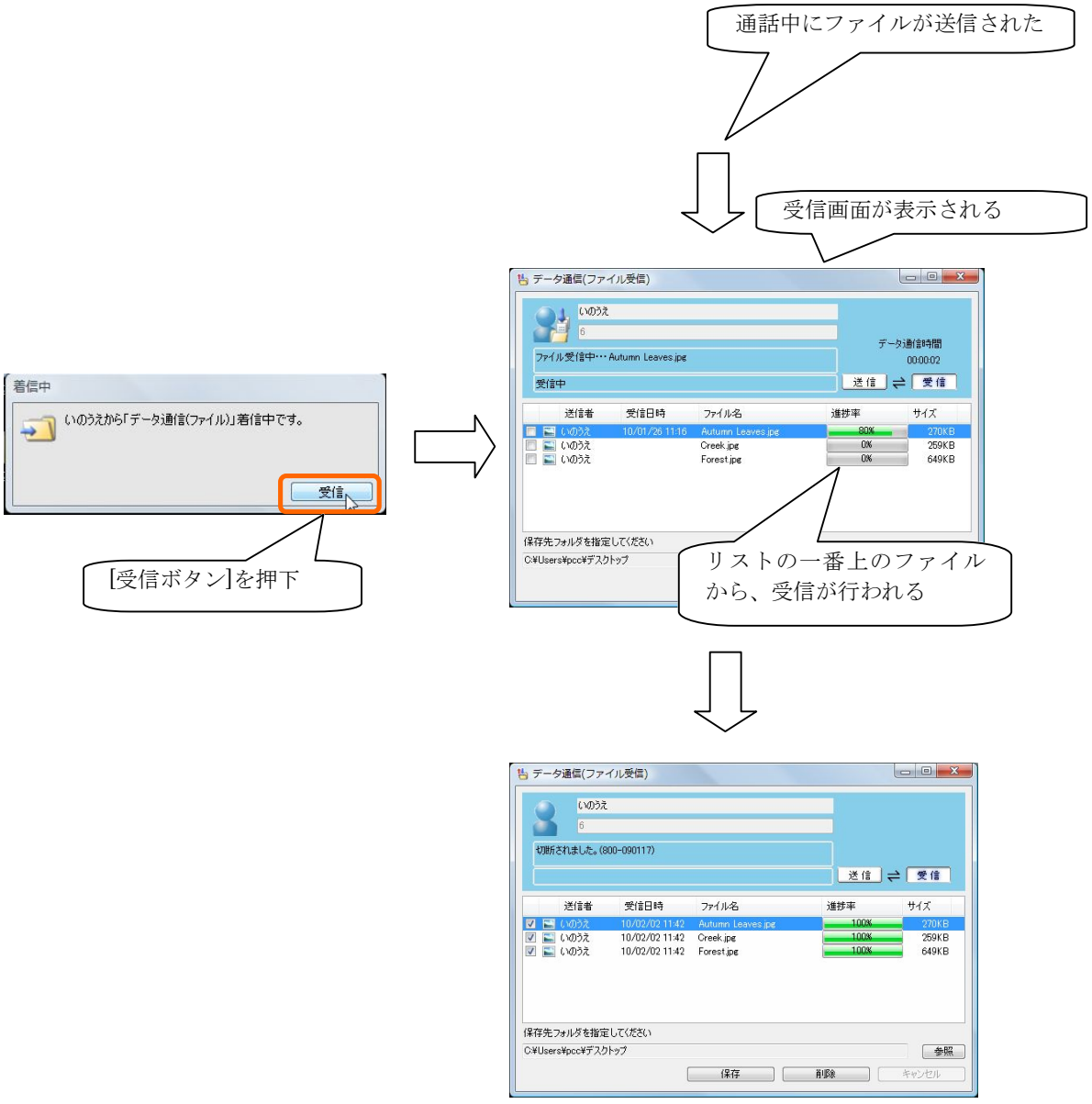
データ通信継続中に送信側の場合は、送信画面の[キャンセル]ボタンを押下することにより、受信側の場合は受信画面の[キャンセル]ボタンを押下することにより、データ通信の継続をキャンセルすることが出来ます。



データ通信の継続キャンセル

4-13.1 データ通信のファイル受信

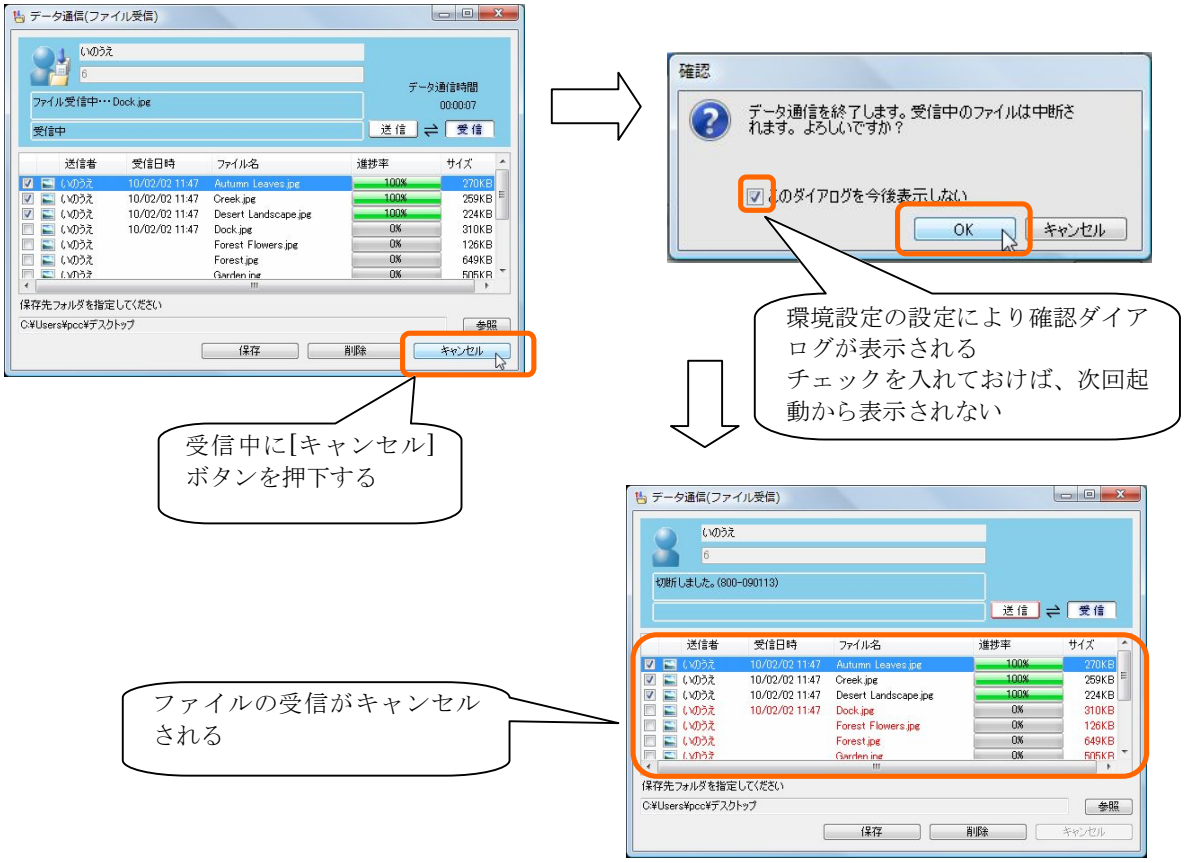
相手からファイルの送信が行われると、通話中の場合は自動的に、非通話中の場合は着信ダイアログで[受信]ボタンを押下することにより受信画面が表示されて、ファイルの受信が開始されます。



データ通信のファイル受信

4-14.1 データ通信のファイル受信キャンセル

ファイルを受信中に画面の[キャンセル]ボタンを押下することにより、ファイルの受信をキャンセルすることが出来ます。画面上ですでに受信済みのファイル(進捗率が 100%)の受信をキャンセルすることは出来ません。



データ通信のファイル受信キャンセル

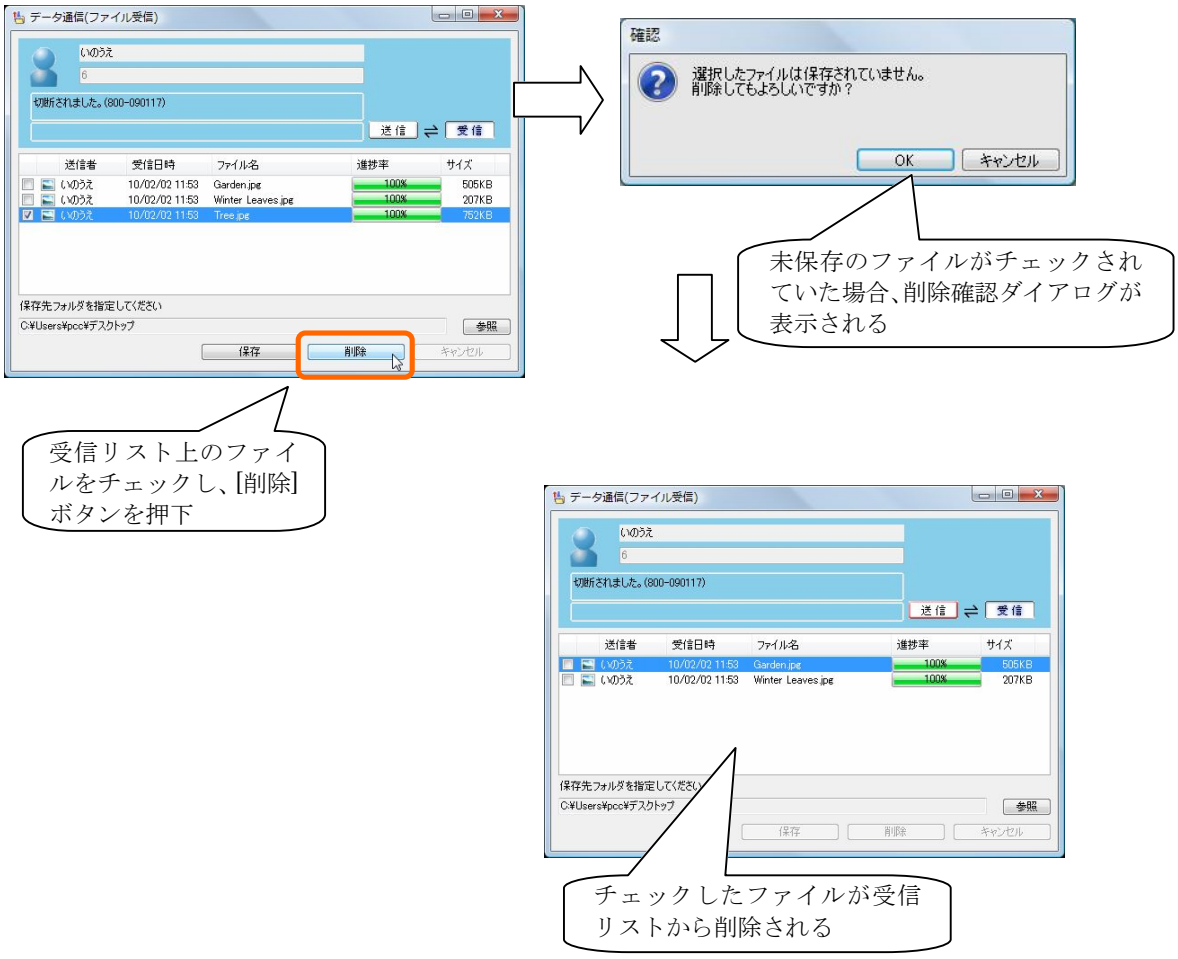
4-15.1 データ通信の受信リスト削除

受信リスト上でファイルをチェックし、[削除]ボタンを押下することによりリストからファイルの削除を行うことが出来ます。

複数のファイルをチェックすることにより、一度に複数のファイルの削除を行うことが可能です。

未保存のファイルがチェックされていた場合、削除確認ダイアログが表示されます。

ファイル保存中の削除、ファイル受信中に受信済み以外のファイルの削除を行うことは出来ません。



データ通信の受信リスト削除

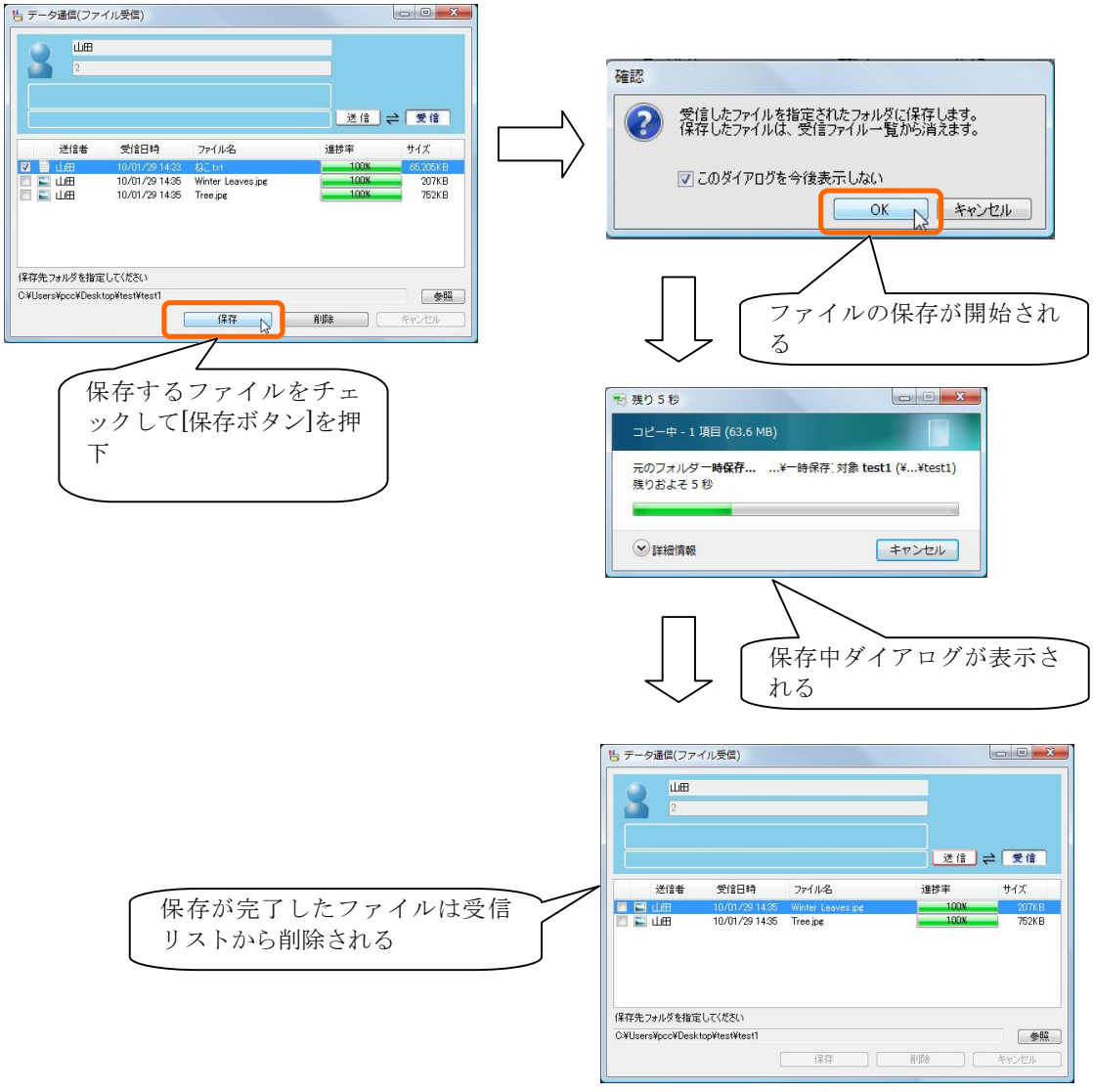
4-16.1 データ通信のファイル保存

受信リスト上で進捗率が 100%になっているファイルをチェックし、[保存]ボタンを押下することによりファイルの保存を行うことが出来ます。

複数のファイルをチェックすることにより、一度に複数のファイルの保存を行うことが可能です。複数ファイル選択時に進捗率が 100%になっていないファイルが含まれている場合は、ファイルの保存を行うことが出来ません。

保存が完了したファイルは受信リストから削除されます。

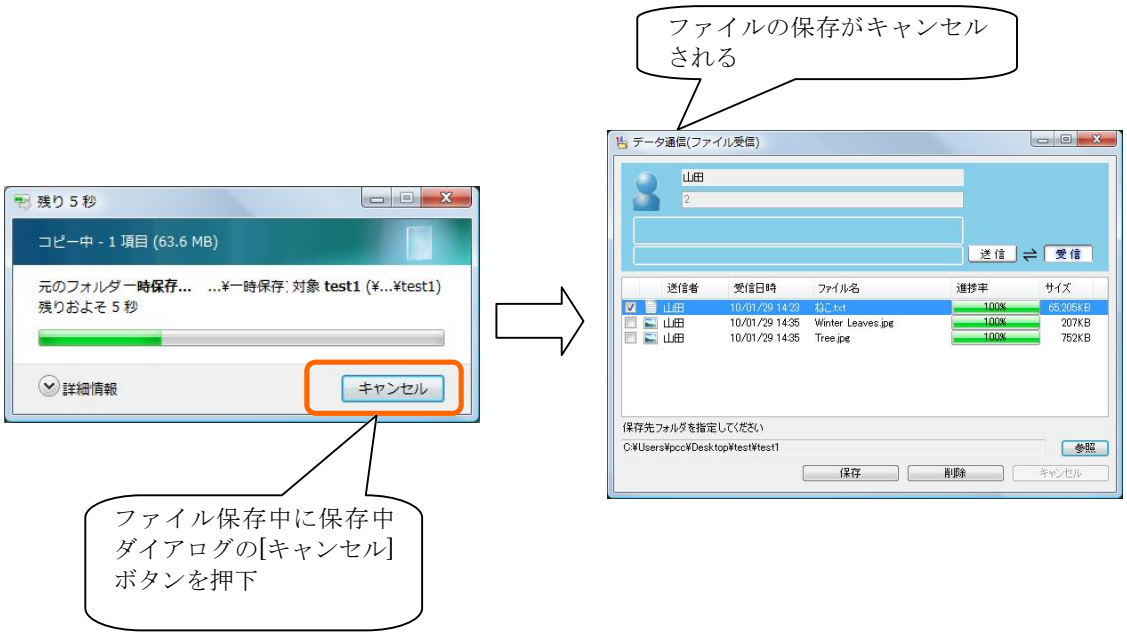
受信画面で[参照]ボタンを押下することによりフォルダ選択ダイアログが表示され、ファイル保存時の保存先フォルダを設定することが出来ます。



データ通信のファイル保存

4-17.1 データ通信のファイル保存キャンセル

ファイルを保存中に保存中ダイアログの[キャンセル]ボタンを押下することによりファイルの保存をキャンセルすることが出来ます。すでに保存済みのファイルの保存をキャンセルすることは出来ません。



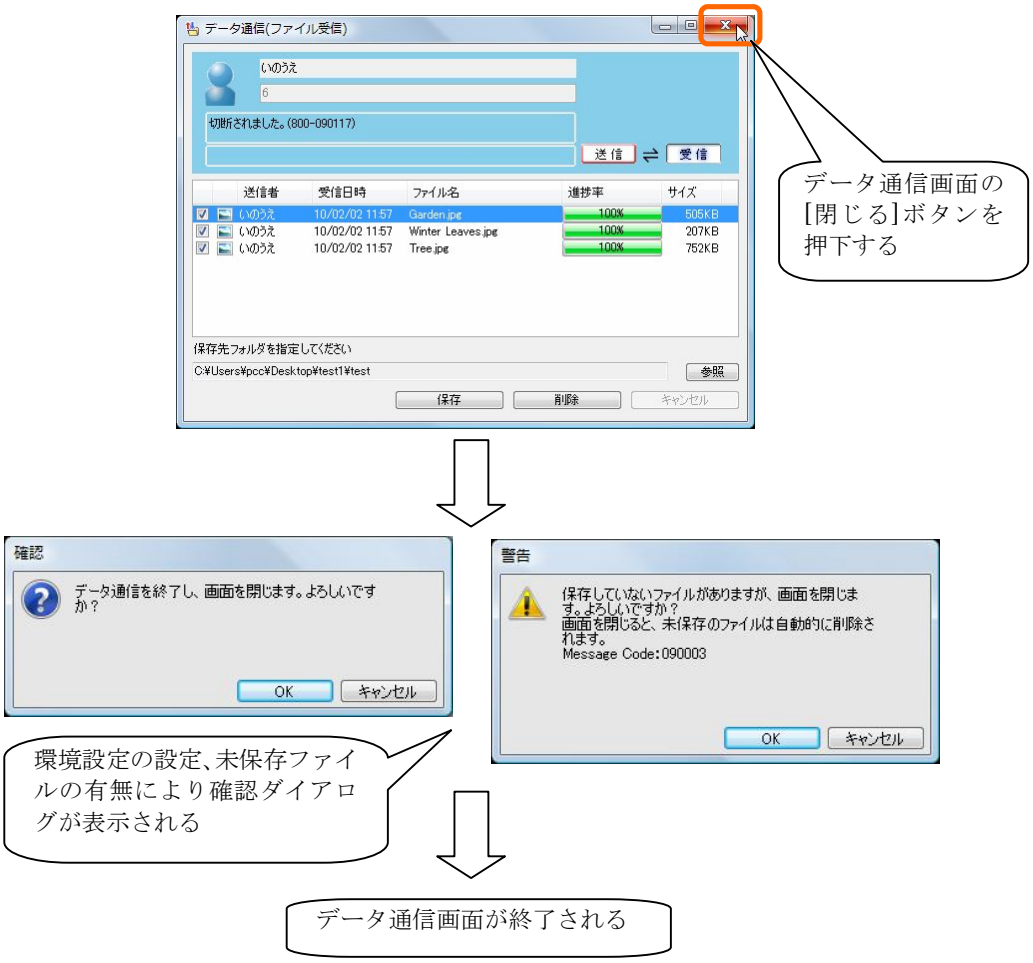
データ通信のファイル保存キャンセル

4-18.1 データ通信の終了

データ通信画面の[閉じる]ボタン(画面右上の[×]ボタン)を押下することにより、データ通信を終了することが出来ます。

データ通信着信中は終了することが出来ません。

環境設定画面データ通信タブで、画面終了時にメッセージを表示する設定がされていた場合は、確認ダイアログが表示される。



データ通信の終了

5. 付属機能

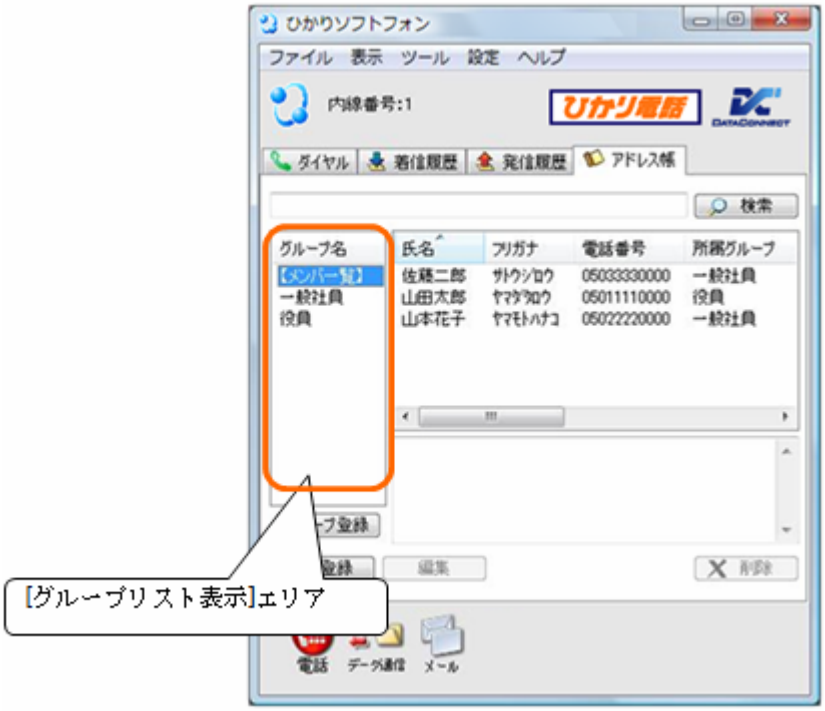
5-1.1　メーラ起動

メイン画面下部　メールボタン

- メールのボタンをクリックすることで、ご利用のパソコンに登録しているメーラが起動します。

5-2.1 アドレス帳のグループの一覧表示

［グループリスト表示］エリアに、グループを一覧で表示します。
一番上に「【メンバー一覧】」が常に表示されます。



グループの一覧表示

5-2.2 グループの追加

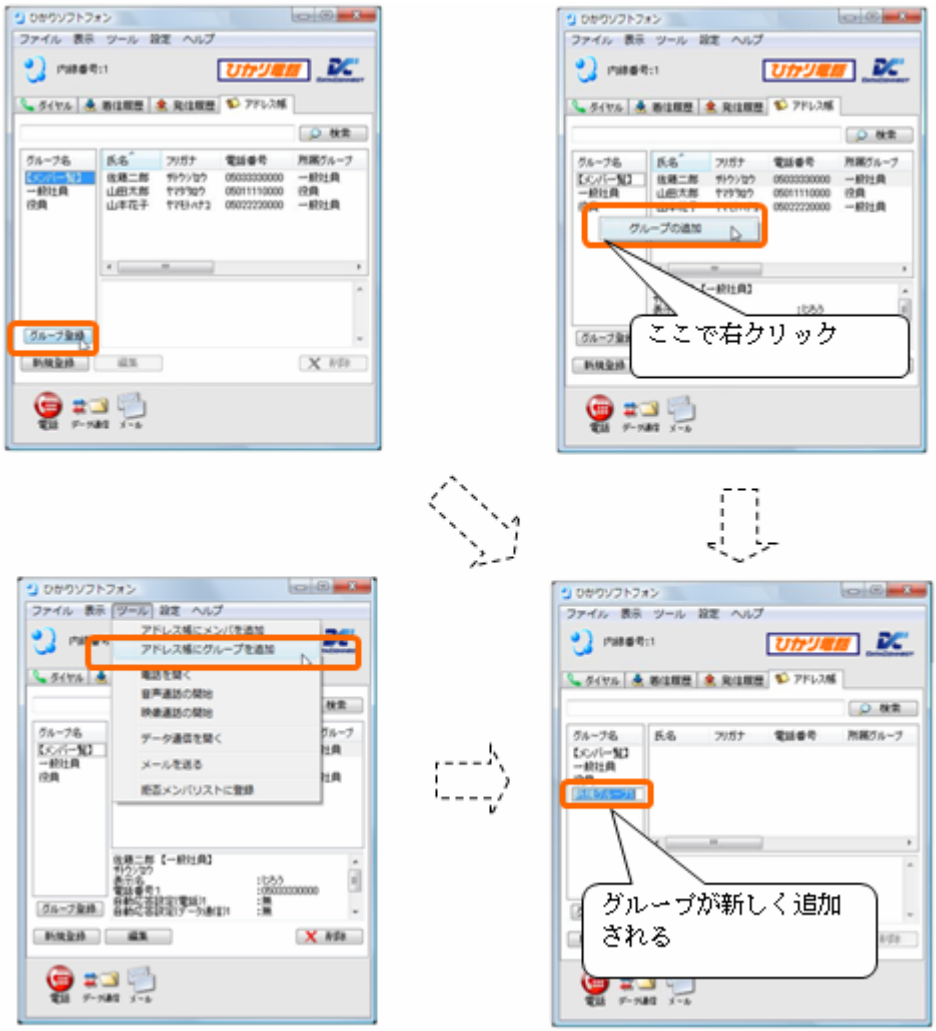
下記の操作を行うと、グループを新規追加することが出来ます。

[グループ登録]ボタンを押下します

[グループリスト表示]エリア上で右クリックし、「グループの追加」を選択します

「ツール」 → 「アドレス帳にグループを追加」を選択します

登録可能グループ数は 1～1200 グループです。



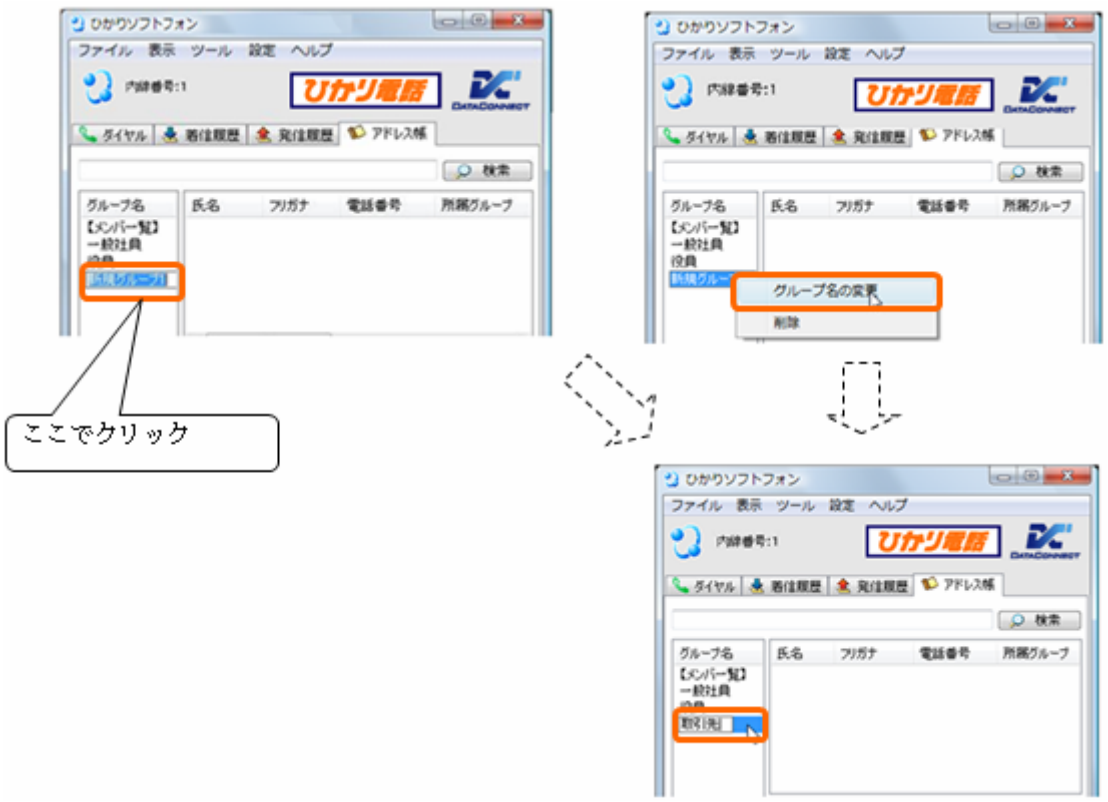
グループの追加

5-2.3 グループの名前変更

下記の操作を行うと、グループの名前変更することが出来ます。

選択中のグループ名をクリックします

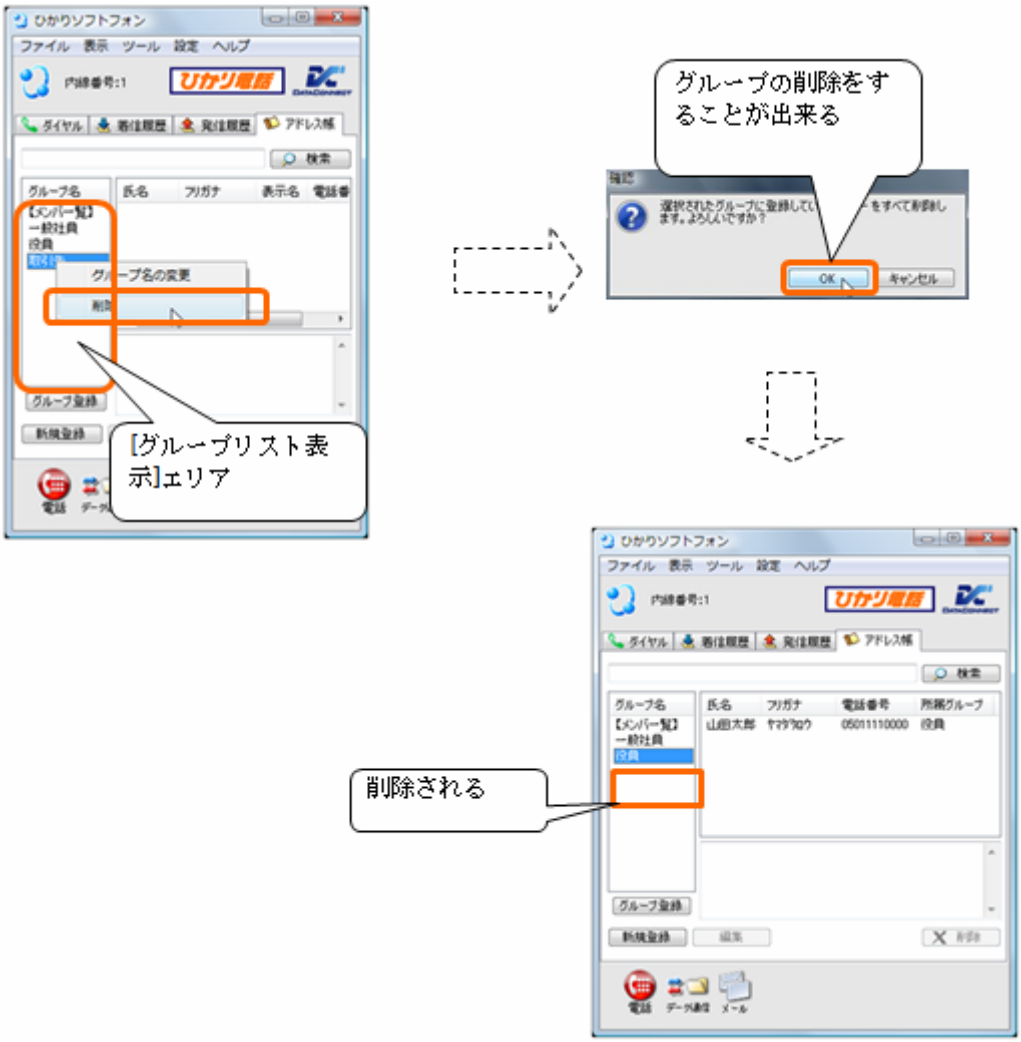
グループ上で右クリックし、「グループ名の変更」を選択します



グループの名前変更

5-2.4 グループの削除

［グループリスト表示］エリア上でグループを右クリックし、「削除」を選択すると、グループを削除することが出来ます。
対象のグループに登録されているメンバは全て削除されます。
グループ全てを削除すると、自動的に「新規グループ 1」が作成されます。



グループの削除

5-2.5 メンバの登録

下記の操作を行うと新規登録画面を表示し、アドレス帳へメンバを新規登録することが出来ます。

[新規登録]ボタンを押下します
一覧上で右クリックをし、「アドレス帳にメンバの追加」を選択します
「ツール」→「アドレス帳にメンバを追加」を選択します

登録可能件数は、全てのグループのメンバを合わせて 0～1200 件です。

※ すでに着信メロディが設定されている状態で、新規登録画面の[♪]ボタンを押下し、表示されるファイル選択ダイアログの[キャンセル]ボタンを押下した場合、確認ダイアログが表示します。
確認ダイアログの[OK]ボタンを押下すると、「着信メロディ選択」テキストが空に設定できます。

※ 登録しようとしている電話番号が重複していた場合、もしくは既にアドレス帳に登録済みの場合は、アドレス帳への登録は出来ません。

※ 登録終了後に、いずれかの電話番号の「自動応答設定」チェックボックスがチェックされていた場合、自動応答チェックが行われます。

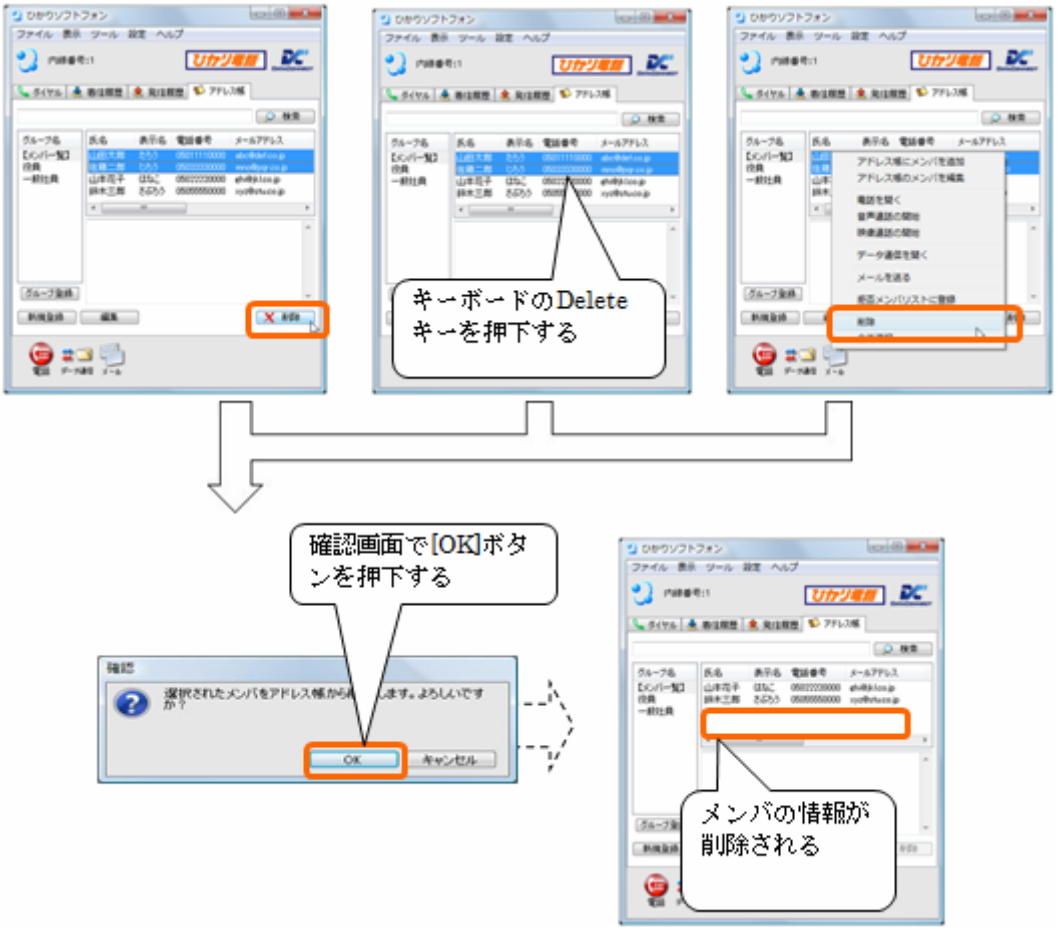
情報を入力し、[登録]ボタンを押下する
必須項目が未入力の状態で[登録]ボタン
を押下すると、警告のダイアログが表示
される
メンバが新規に
登録される

メンバの登録

5-2.6 メンバの削除

下記の操作を行うことにより、メンバの情報を削除することが出来ます。

メンバ情報を一件以上選択し、[削除]ボタンを押下します
メンバ情報を一件以上選択し、キーボードの Delete キーを押下します
メンバ情報の上で右クリックし、「削除」を選択します



メンバの削除

5-2.7 メンバ情報の変更

下記の操作を行うと、メンバ情報の編集画面が開き、メンバ情報の編集を行うことが出来ます。

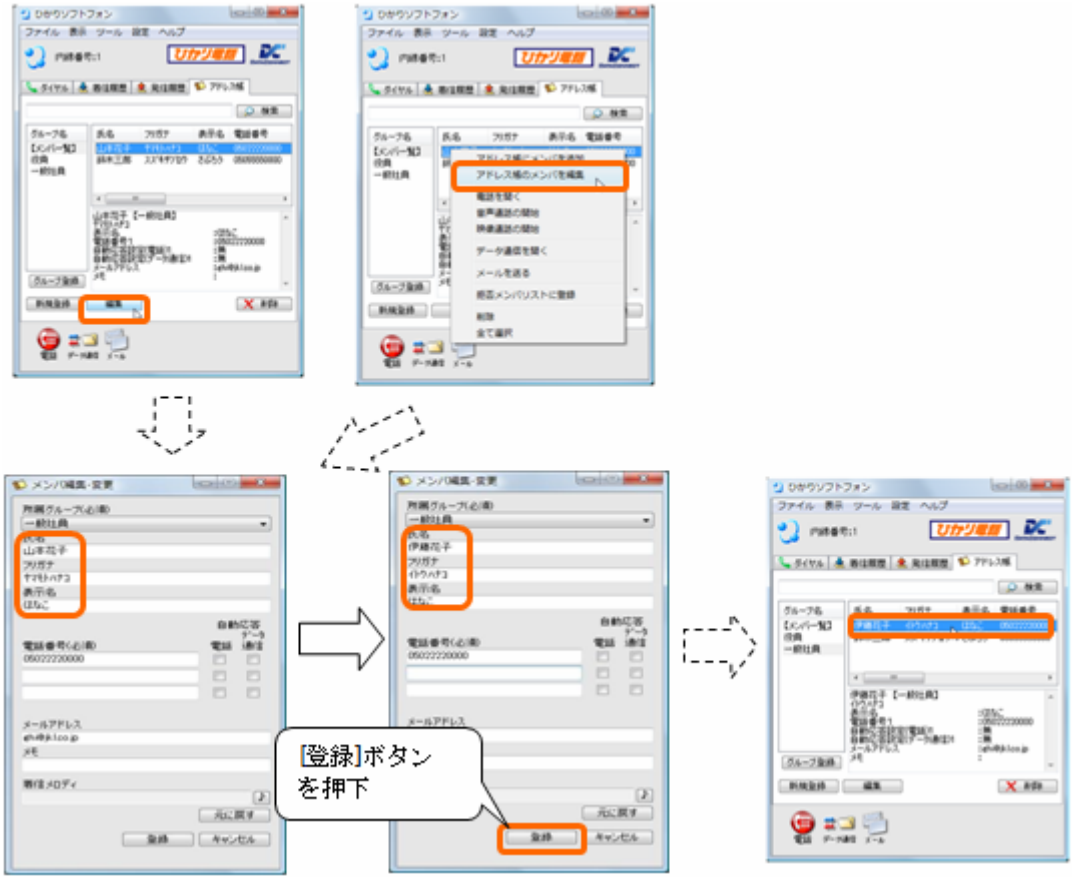
メンバ情報を一件選択し、[編集]ボタンを押下します
メンバ情報の上で右クリックし、「アドレス帳のメンバを編集」を選択します

必須項目が未入力で[登録]ボタンを押下すると、警告ダイアログが表示されます。
項目が編集されていた場合に[キャンセル]ボタンを押下すると、編集内容破棄の確認ダイアログが表示されます。(編集されていない場合は、メンバ情報編集画面を閉じます)

※ すでに着信メロディが設定されている状態で、メンバ編集画面の[♪]ボタンを押下し、表示されるファイル選択ダイアログの[キャンセル]ボタンを押下した場合、確認ダイアログが表示されます。
確認ダイアログの[OK]ボタンを押下すると、「着信メロディ選択」テキストが空に設定されます。

※ 変更しようとしている電話番号が重複していた場合、もしくは既にアドレス帳に登録済みの場合は、メンバ情報の変更は出来ません。
ただし、メンバ編集画面起動時の状態から、電話番号が変更されていない場合は変更可能です。

※ 変更終了後に、いずれかの電話番号の「自動応答設定」チェックボックスがチェックされていた場合、自動応答チェックが行われます。



メンバ情報の変更

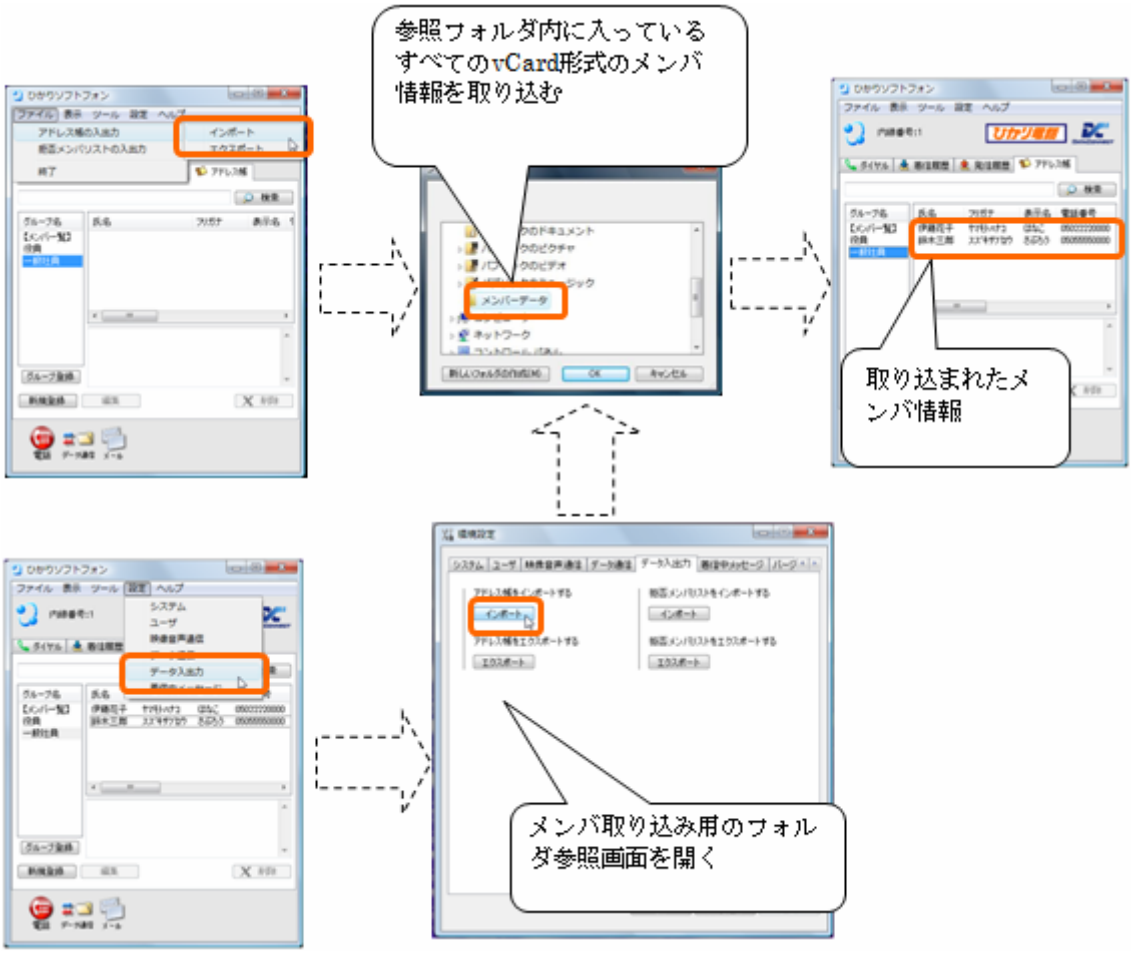
5-2.8 メンバ情報の閲覧

メンバ情報の変更中、下記の操作を行うことでメンバ情報を閲覧出来ます。
メンバの変更中に、マウスによりアドレス帳の他の人を選択します
メンバの変更中に、「↑」/「↓」キーでアドレス帳の他の人にフォーカス遷移します

メンバ情報の閲覧

5-2.9 メンバの取り込み

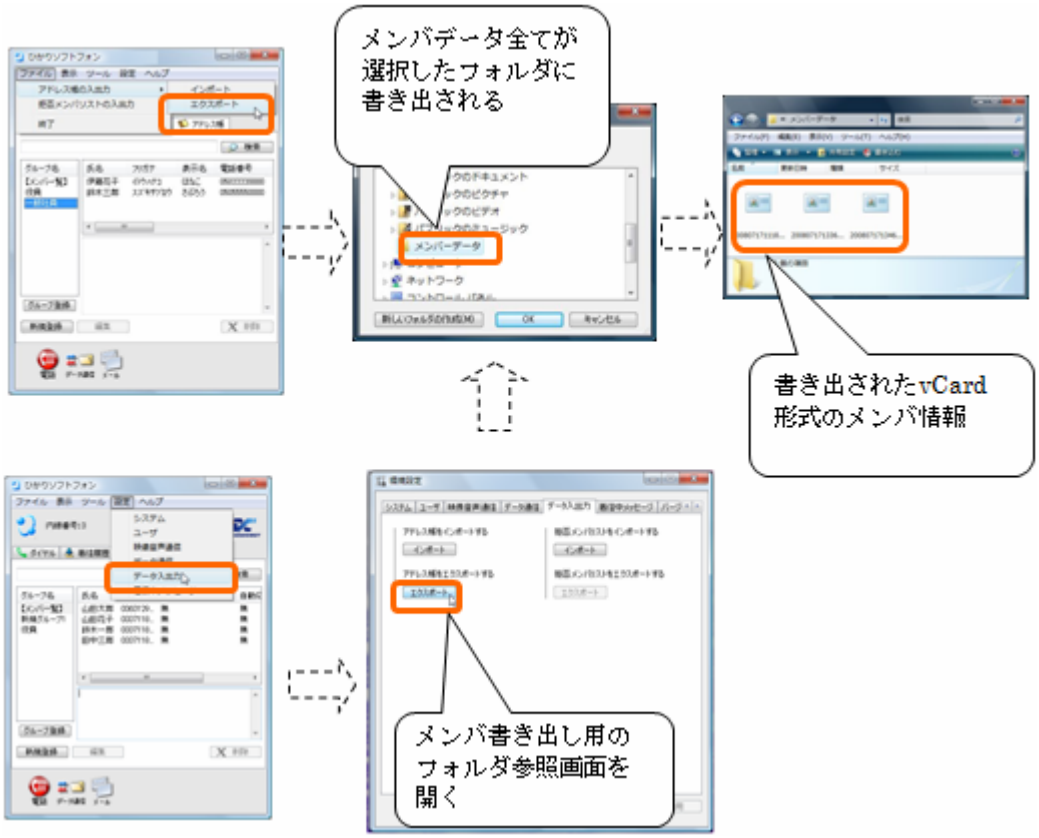
メイン画面上部のメニューから「ファイル」→「アドレス帳の入出力」→「インポート」を選択、もしくはメニューから「設定」→「データ入出力」を選択し、[インポート]ボタンを押下で、vCard 形式のメンバ情報を取り込むことが出来ます。



メンバの取り込み

5-2.10 メンバの書き出し

メイン画面上部のメニューから「ファイル」→「アドレス帳の入出力」→「エクスポート」を選択、もしくはメニューから「設定」→「データ入出力」を選択し、[エクスポート]ボタンを押下で、vCard 形式のメンバ情報を書き出すことが出来ます。



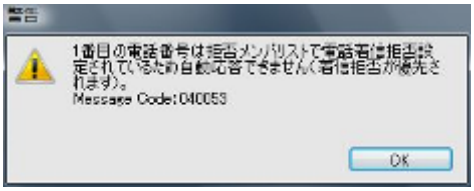
メンバの書き出し

5-2.11 メンバの登録・変更時の自動応答チェック

メンバ情報登録、またはメンバ情報変更時に自動応答設定チェックボックスがチェックされていた場合に、以下の処理が実行されます。

着信拒否設定との矛盾チェック

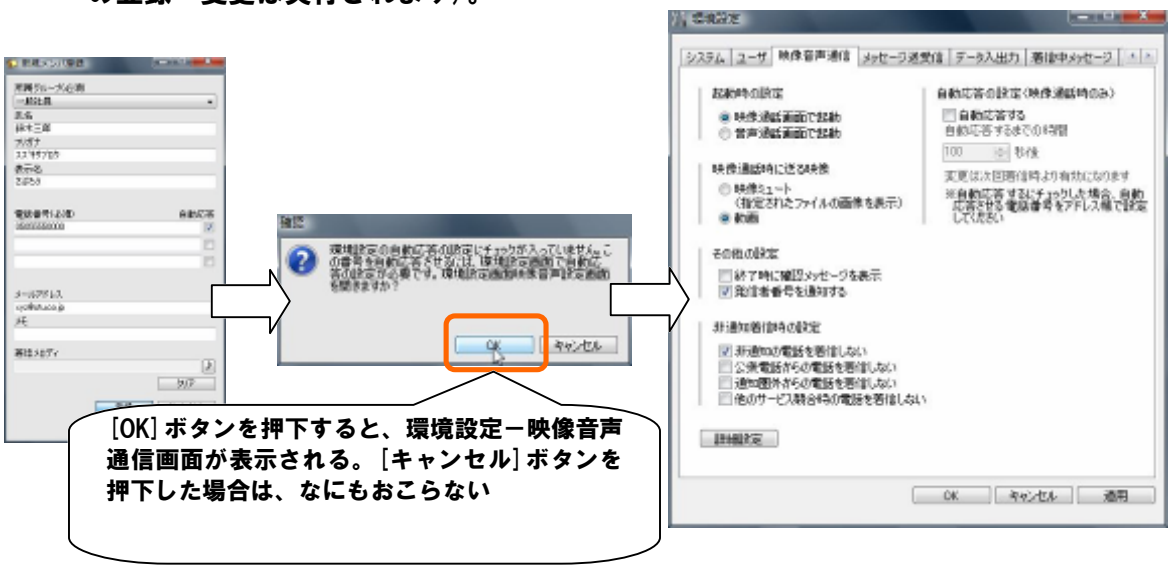
登録･変更しようとしているいずれかの電話番号が拒否メンバリストに登録されており、電話着信拒否する設定の場合、警告ダイアログが表示されます(メンバ情報の登録・変更は実行されます)。



着信拒否設定と自動応答設定の矛盾警告ダイアログ

環境設定－映像音声通信画面の自動応答設定との矛盾チェック

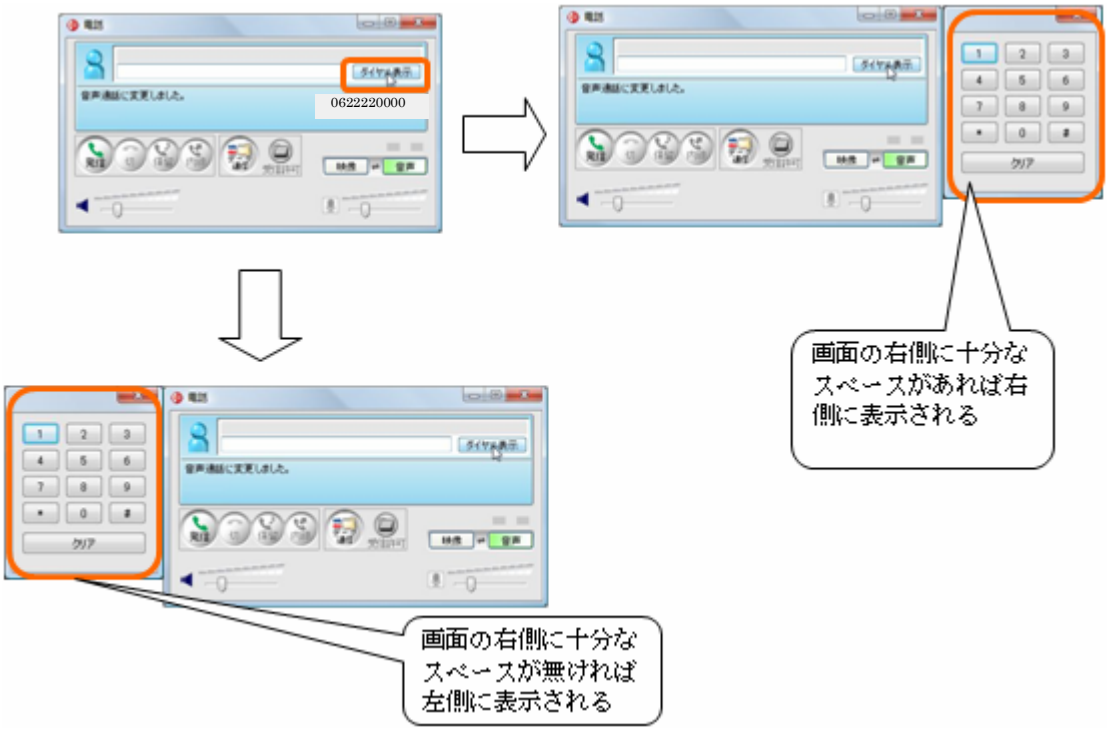
環境設定－映像音声通信タブの自動応答設定が､自動応答しない設定になっている場合、確認ダイアログが表示され、[OK]ボタンが押下すると環境設定－映像音声通信タブが表示される([OK]、[キャンセル]ボタンどちらを押下しても、メンバ情報の登録・変更は実行されます)。



環境設定-映像音声通信画面の自動応答設定との矛盾チェック

5-3.1 電話時のダイヤルトーン（ダイヤルパッド表示方法含む）

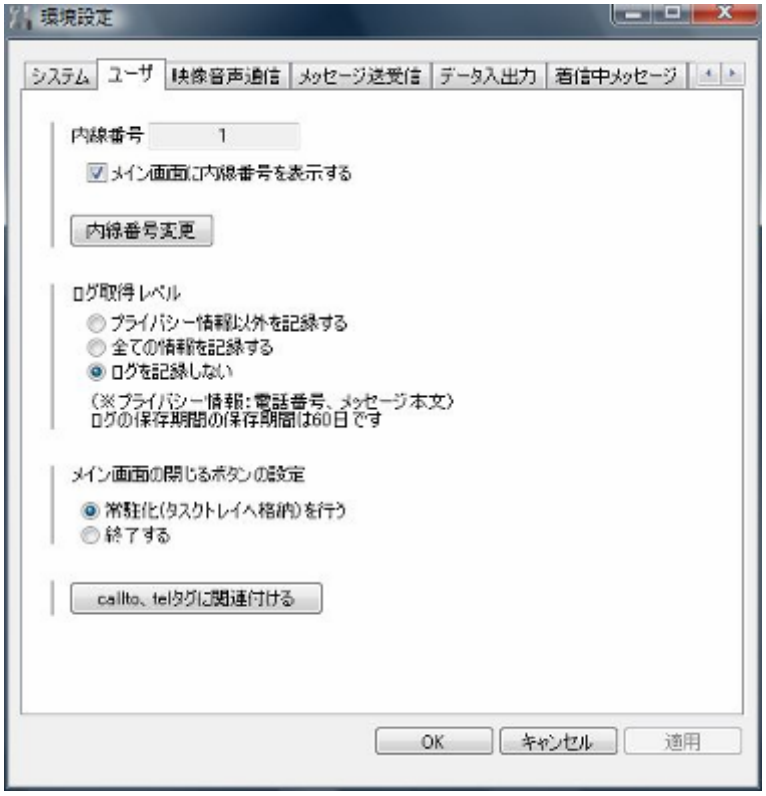
通信中に電話画面の[ダイヤル表示]ボタンのクリックかキーボード入力(「/」キーを押すと「#」が入力出来る)により、ダイヤルトーンを実行することが出来ます。



電話の DTMF 送信

・5-4.1 クリック　トゥ　コール

環境設定のユーザ設定画面について下記に示す。



環境設定画面－ユーザタブ

ご注意

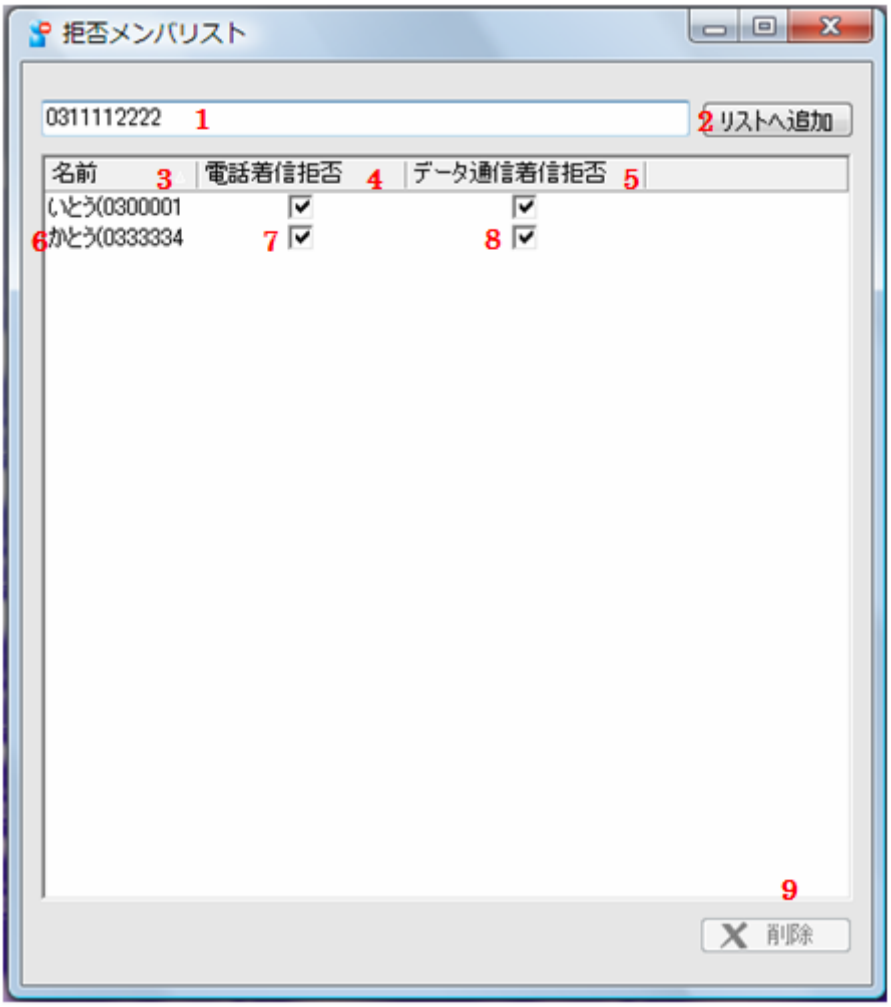
①Callto、telタグに関連付けるを実施後、Webページ内のcallto,telタグから電話の発信が可能となります。

関連付け手順

1. ひかりソフトフォンを右クリックから立ち上げます。
2. 環境設定（ユーザタブ）から関連付けボタンを押します。
3. ひかりソフトフォンを終了し、左クリックから再起動させます。
4. クリック　トゥ　コール機能が利用可能になります。

5-5.1 拒否メンバリスト画面説明

拒否メンバリスト画面について説明します。



拒否メンバリスト画面

拒否メンバリスト画面説明

項番	名称	説明
1	[入力]テキストボックス	拒否したい相手の電話番号を入力出来る
2	[リストへ追加]ボタン	入力された電話番号をリストに追加する
3	[名前]ヘッダ	クリックすると、昇順・降順の変更が出来る
4	[電話着信拒否]ヘッダ	クリックすると、昇順・降順の変更が出来る
5	[データ通信着信拒否] ヘッダ	クリックすると、昇順・降順の変更が出来る
6	[名前]テキストセル	拒否メンバリストに登録されている人の表示名(電話番号)・氏名(電話番号)もしくは電話番号が表示される
7	[電話着信拒否] チェックボックスセル	対象者の電話着信の許可/拒否
8	[データ通信着信拒否] チェックボックスセル	対象者のデータ通信着信の許可/拒否
9	[削除]ボタン	選択した相手を拒否メンバリストから削除する

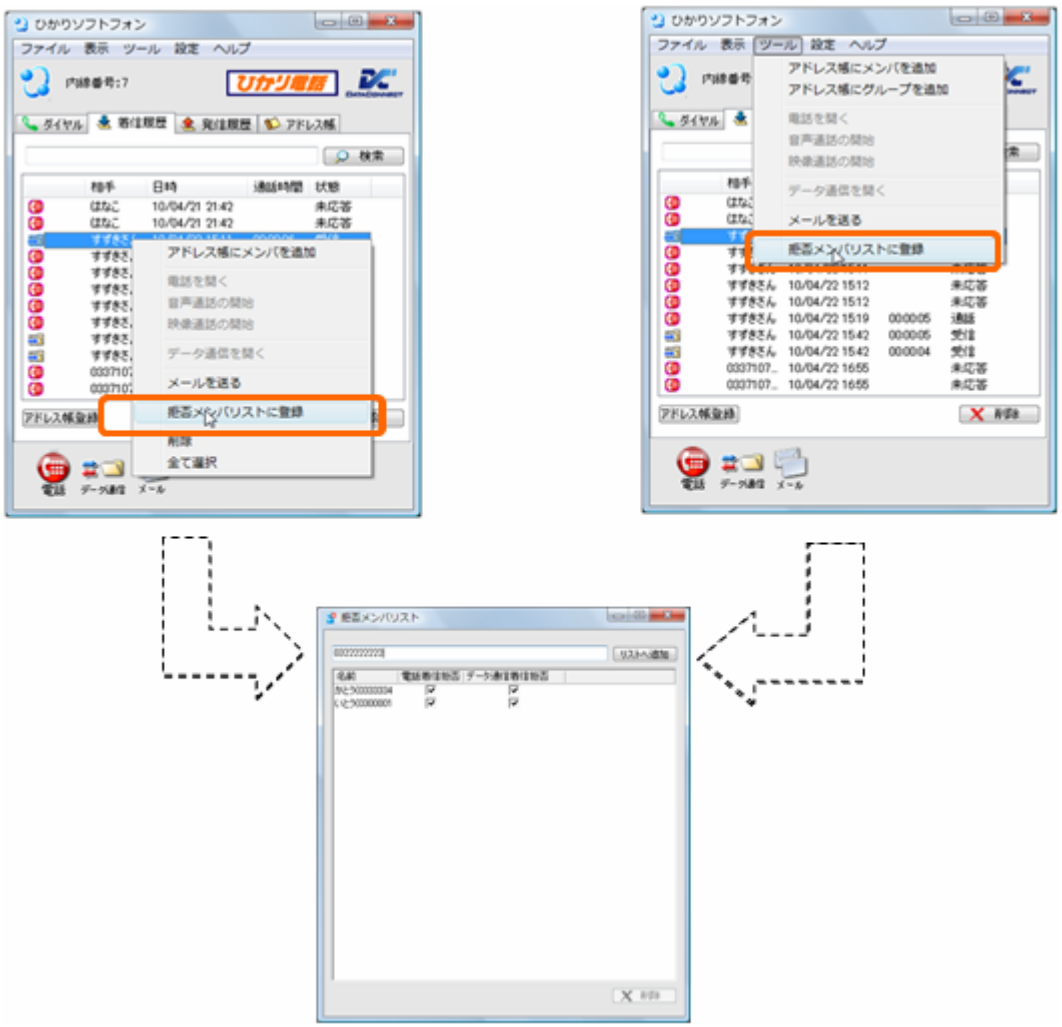
5-5.2 拒否メンバリストの表示

下記の操作を行うと、拒否メンバリスト一覧を表示することが出来ます。

メイン画面上部のメニューから「ツール」→「拒否メンバリストに登録」を選択します

着信履歴画面、発信履歴画面、アドレス帳画面においてメンバ情報を選択し、右クリック→「拒否メンバリストに登録」を選択します

ダイヤル画面の電話番号が入力されている状態、または着信履歴・発信履歴・アドレス帳のメンバ情報が選択されている状態の場合、電話番号を引き継ぎ、初期値として[入力テキストボックス]に表示します。



拒否メンバリストの画面表示

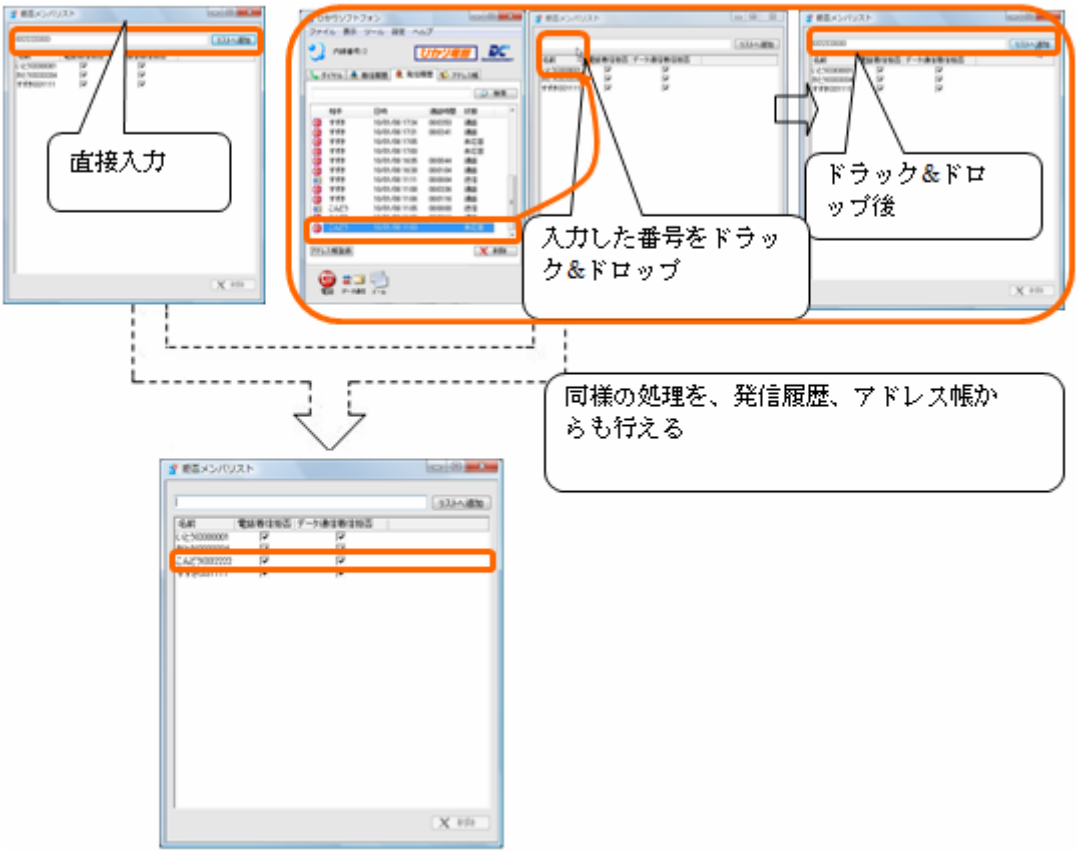
5-5.3 拒否メンバの登録

下記の操作を行うと、着信拒否する相手を拒否メンバリストに登録することが出来る。
登録可能件数は、128 件です。

拒否メンバリストの [入力] テキストボックスに相手の電話番号を入力、または着信履歴画面、発信履歴画面、アドレス帳画面より相手の情報をドラッグ＆ドロップして、[リストへ追加] ボタンを押下します

※ 拒否メンバリスト登録時に対象の電話番号がアドレス帳に登録されており、その電話番号の自動応答設定が有効になっている場合は、自動応答設定より着信拒否が優先される旨の警告ダイアログが表示されます。

※ 「110」や「118」、「119」などの緊急呼番号は登録できない。登録しようとした場合は、警告ダイアログが表示されます。



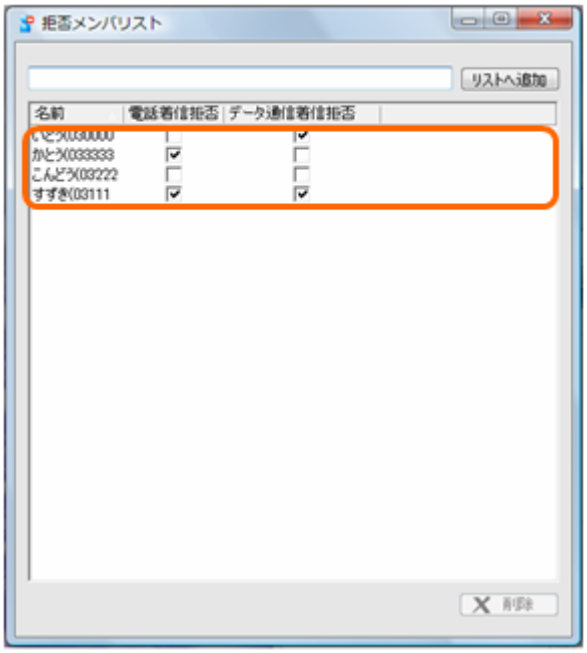
拒否メンバの登録

5-5.4 拒否メンバの変更

[電話着信拒否]チェックボックス、[データ通信着信拒否]チェックボックスのチェック有無を変更することにより、拒否メンバリストに登録したメンバの着信を許可/拒否することが出来ます。

※ [電話着信拒否]チェックボックス、または[データ通信着信拒否]チェックボックスにチェックを入れた際に、対象の電話番号がアドレス帳に登録されており、その電話番号のそれぞれの自動応答設定が有効になっている場合は、自動応答設定より着信拒否が優先される旨の警告ダイアログが表示されます。

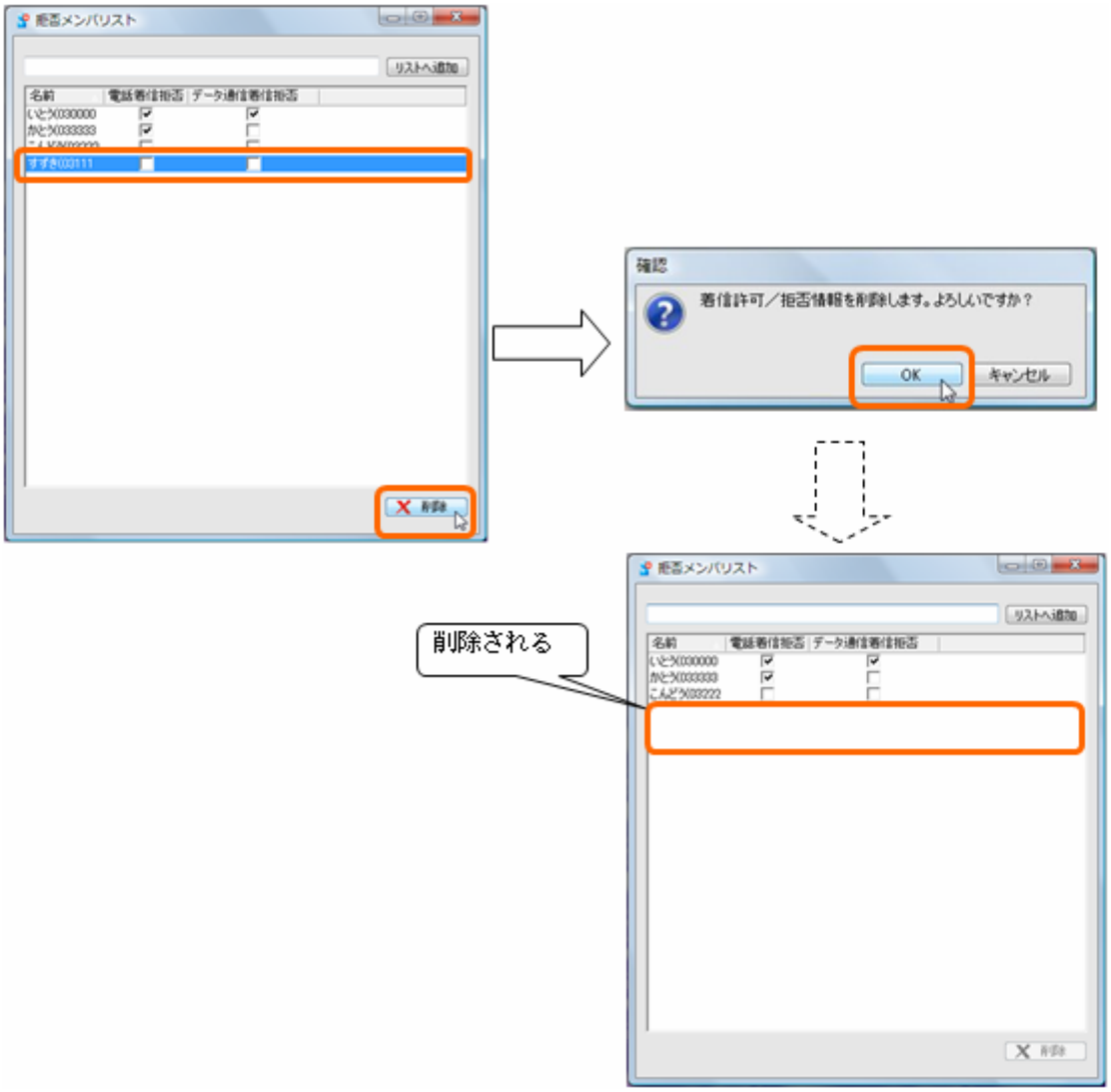
チェック無し：　相手からの着信を許可
チェック有り：　相手からの着信を拒否



拒否メンバの変更

5-5.5 拒否メンバの削除

拒否メンバリスト画面で、削除したいメンバ情報を選択し、[削除]ボタンを押下すると、選択したメンバ情報を拒否メンバリストから削除することが出来ます。



拒否メンバの削除

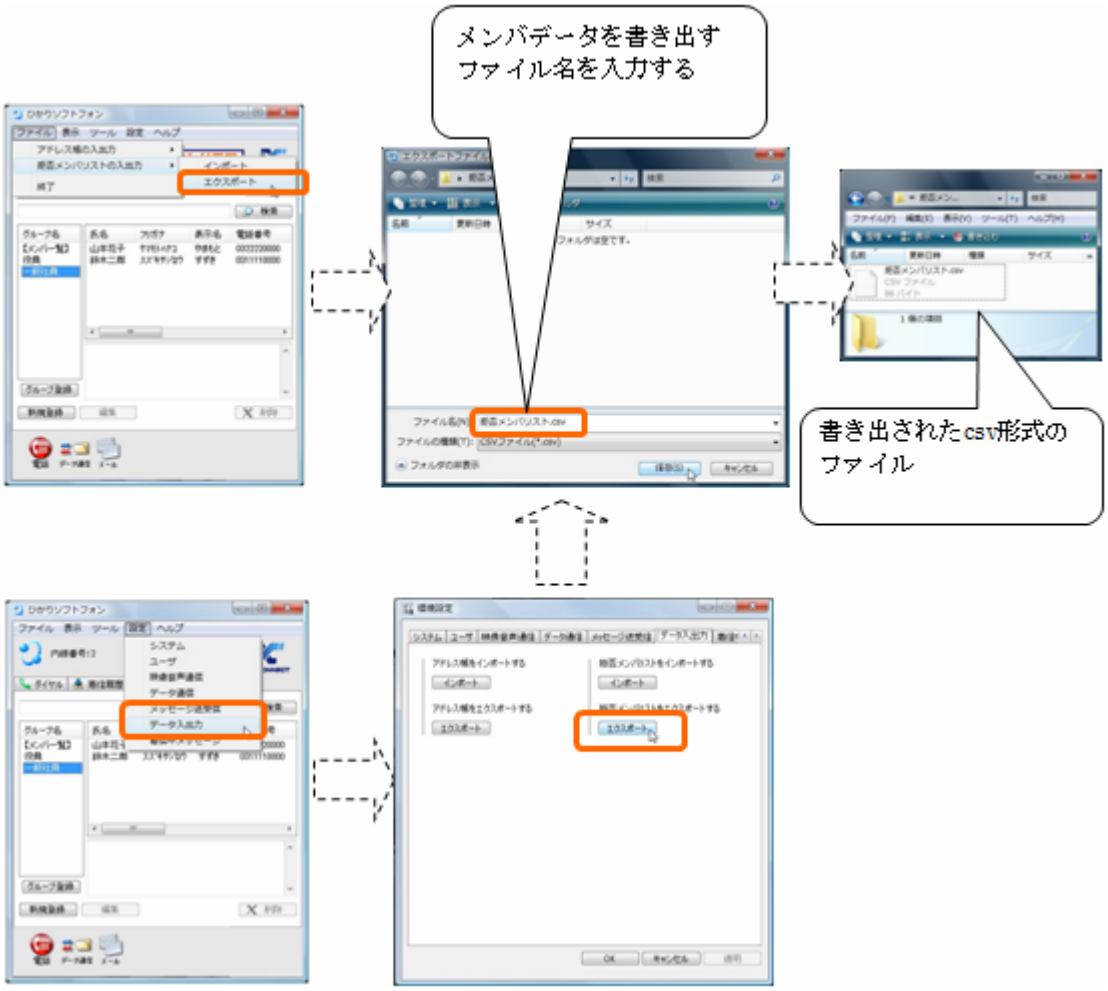
5-5.6 拒否メンバリストの取り込み

メイン画面上部のメニューから「ファイル」→「拒否メンバリストの入出力」→「インポート」を選択、もしくはメニューから「設定」→「データ入出力」を選択し、[インポート]ボタンを押下で、csv 形式のメンバ情報を取り込むことが出来ます。

拒否メンバリストの取り込み

5-5.7 拒否メンバリストの書き出し

メイン画面上部のメニューから「ファイル」→「拒否メンバリストの入出力」→「エクスポート」を選択、もしくはメニューから「設定」→「データ入出力」を選択し、[エクスポート]ボタンを押下で、csv 形式のメンバ情報を書き出すことが出来ます。



拒否メンバリストの書き出し

6　環境設定

6-1.1 環境設定の起動

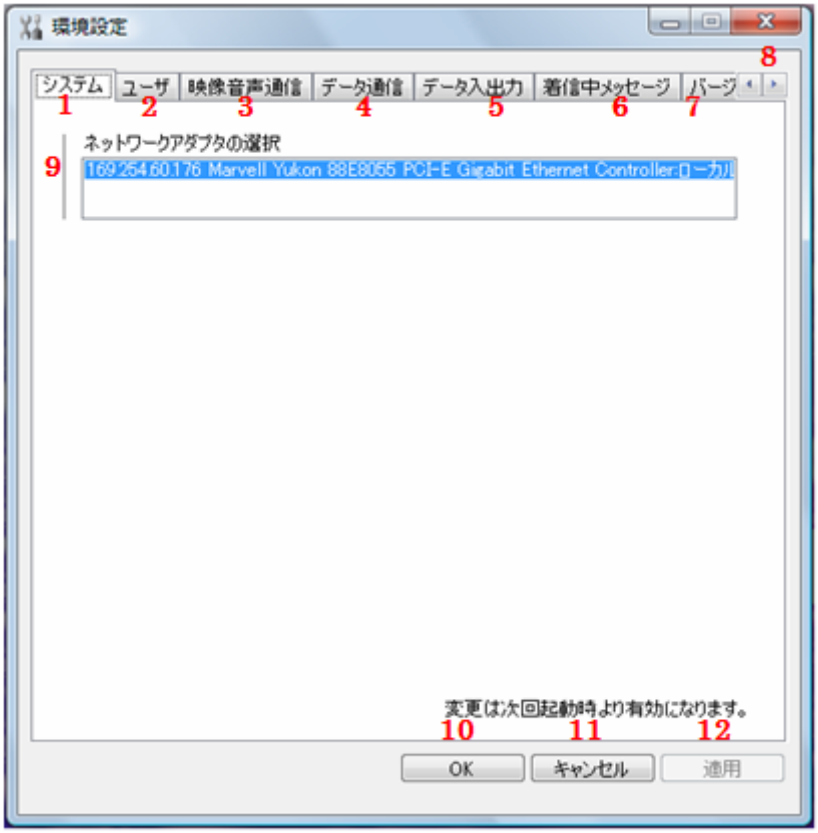
下記の操作を行うと、環境設定が起動します。

メイン画面上部のメニューから「設定」→「システム」「ユーザ」「映像音声通信」「データ入出力」「着信中メッセージ」のいずれかを選択

メイン画面上部のメニューから「ヘルプ」→「バージョン情報」を選択

6-2.1 システム

環境設定のシステム設定画面について説明します。



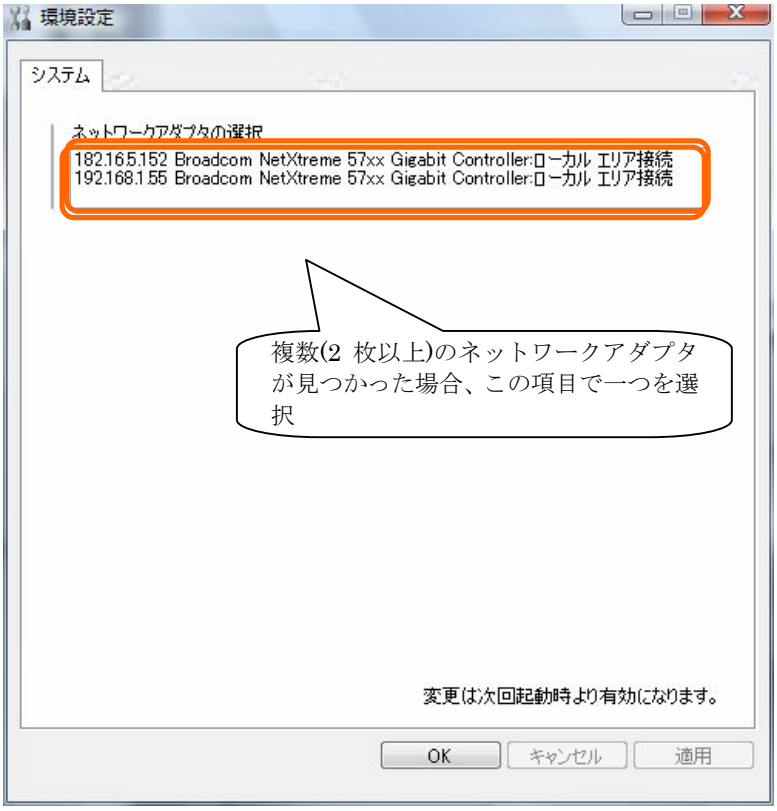
環境設定画面ーシステムタブ

環境設定画面－システムタブ説明

項番	名称	説明
1	[機能切り替え]タブ (システム)	システム設定画面を表示
2	[機能切り替え]タブ (ユーザ)	ユーザ設定画面を表示
3	[機能切り替え]タブ (映像音声通信)	映像音声通信設定画面を表示
4	[機能切り替え]タブ (データ通信)	データ通信設定画面を表示
5	[機能切り替え]タブ (データ入出力)	データ入出力設定画面を表示
6	[機能切り替え]タブ (着信中メッセージ)	着信中メッセージ設定画面を表示
7	[機能切り替え]タブ (バージョン情報)	バージョン情報設定画面を表示
8	[タブ移動]ボタン	[機能切り替え]タブを左右に移動
9	[ネットワークアダプタの選択]リストボックス	インターネット接続するために使用するネットワークアダプタを選択
10	[OK]ボタン	更新を適用して環境設定を閉じる
11	[キャンセル]ボタン	更新を破棄して環境設定を閉じる
12	[適用]ボタン	更新を適用する

6-2.2 起動時の環境設定

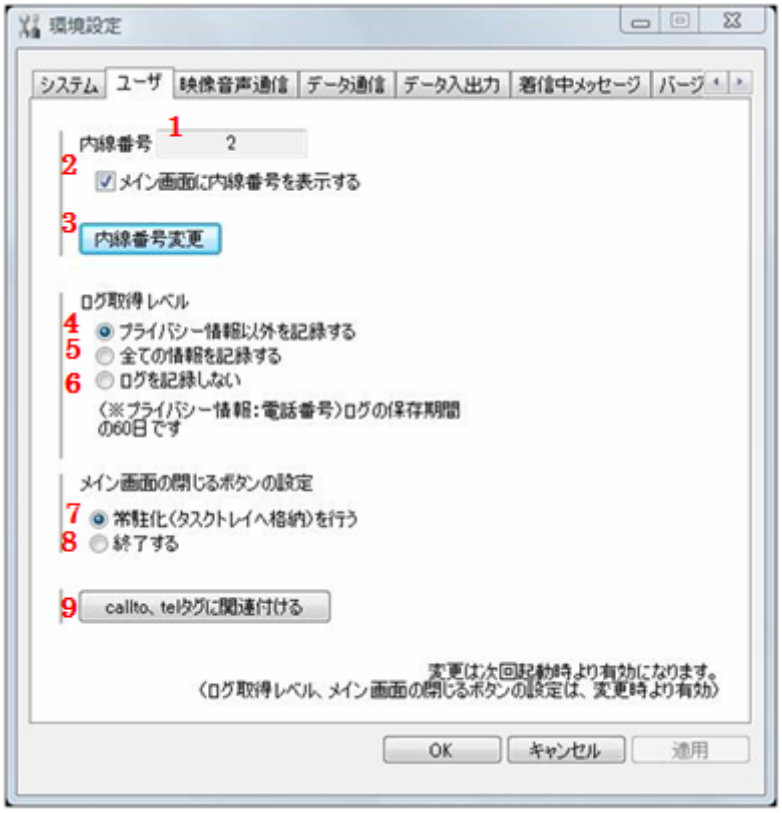
ソフトフォン起動時に複数のネットワークアダプタが存在した場合、ソフトフォンによって自動的に使用するネットワークアダプタが選択されます。
自動的に選択出来ない場合、スプラッシュ画面中に[システム]タブ画面が開かれ、使用するネットワークアダプタの選択を行います。



起動時の環境設定

6-3.1 ユーザ

環境設定のユーザ設定画面について説明いたします。



環境設定画面－ユーザタブ

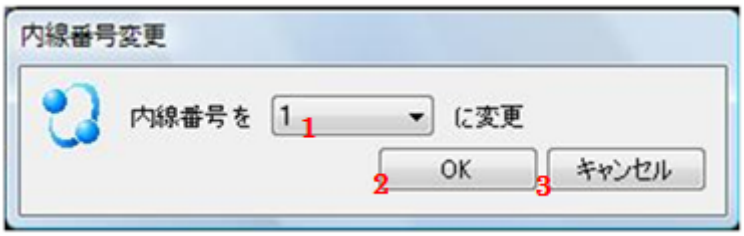
環境設定画面－ユーザタブ

項番	名称	説明
1	[内線番号] テキストボックス	現在設定されている内線番号を表示
2	[メイン画面に内線番号を表示する] チェックボックス	メイン画面に内線番号を表示
3	[内線番号変更] ボタン	内線番号変更画面を表示
4	[プライバシー情報以外を記録する] ラジオボタン (※)	アプリケーション操作、データ通信 (電話) 発生時のログはプライバシー情報以外を記録する
5	[全ての情報を記録する] ラジオボタン (※)	アプリケーション操作、データ通信 (電話) 発生時のログは全ての情報を記録する
6	[ログを記録しない] ラジオボタン	アプリケーション操作、データ通信 (電話) 発生時のログは記録しない
7	[常駐化 (タスクトレイへの格納) を行う] ラジオボタン	メイン画面の [閉じる] ボタンの挙動を設定 選択されていた場合は、[閉じる] ボタン押下時に、アプリケーションをタスクトレイに格納する
8	[終了する] ラジオボタン	メイン画面の [閉じる] ボタンの挙動を設定 選択されていた場合は、[閉じる] ボタン押下時に、アプリケーションを終了する
9	[callto、tel タグに関連付ける] ボタン	ハイパーリンクの callto、tel タグを電話機能と関連付ける

※保存されるログの通話時間は参考値のため、実際の通話時間と異なることがあります。

6-3.2 内線番号変更画面

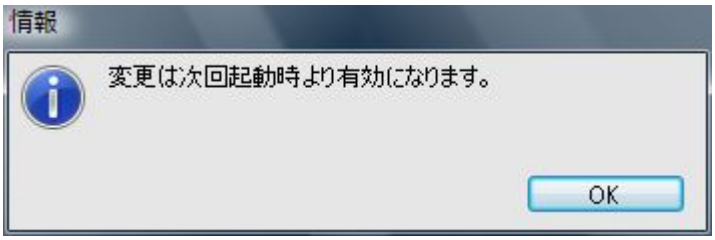
ユーザ設定画面で、[内線番号]ボタンを押下した際の内線番号変更画面について説明します。



環境設定画面－ユーザタブ－内線番号変更画面

環境設定画面－ユーザタブ－内線番号変更画面

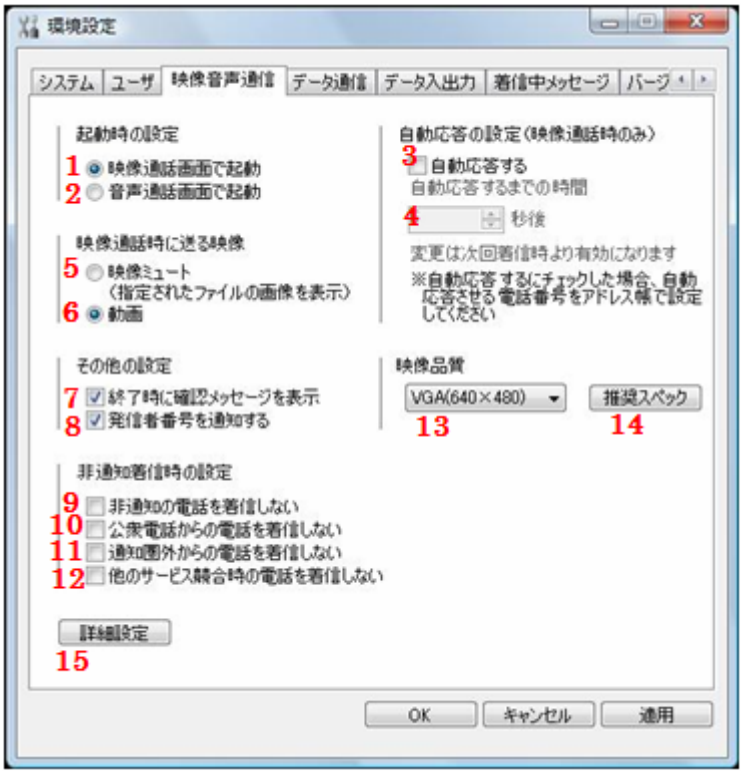
項番	名称	説明
1	[内線番号]コンボボックス	内線番号を選択
2	[OK]ボタン	選択した内線番号で決定し、画面を閉じる 内線番号変更終了後、変更は次回起動時より有効になる旨のダイアログが表示される
3	[キャンセル]ボタン	内線番号を変更せず、画面を閉じる



内線番号変更完了の情報ダイアログ画面

6-4.1 映像音声通信

環境設定の映像音声通信設定画面について説明します。



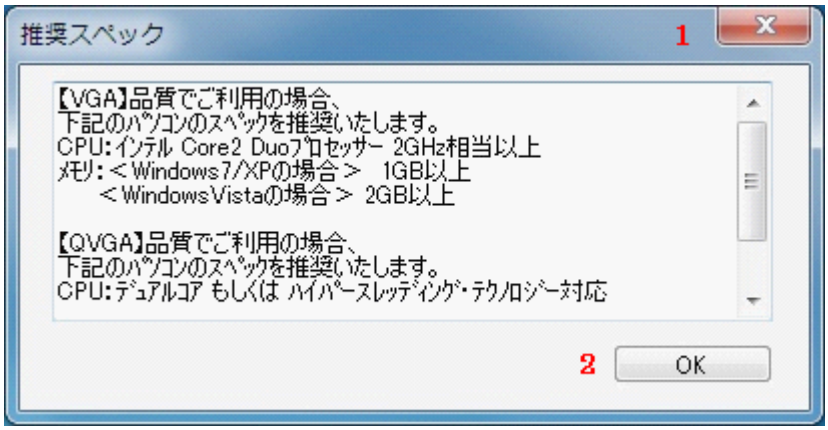
環境設定画面－映像音声通信タブ

環境設定画面－映像声通信タブ説明

番号	設定対象	名称	説明
1	起動時の設定	[映像通話画面で起動]ラジオボタン	電話起動時、映像通話画面で起動
2		[音声通話画面で起動]ラジオボタン	電話起動時、音声通話画面で起動
3	自動応答の設定	[自動応答する]チェックボックス	映像通話の着信時に自動で応答するかどうか設定
4		[自動応答するまでの時間]スピンボックス	自動応答までの時間を秒で設定
5	映像通話時に送る映像	[映像ミュート]ラジオボタン	映像モードの初期設定を映像ミュートに設定
6		[動画]ラジオボタン	映像モードの初期設定を動画に設定
7	その他の設定	[終了時に確認メッセージを表示]チェックボックス	終了時に確認メッセージを表示するかどうかを設定
8		[発信者番号を通知する]チェックボックス	発信者番号を通知するかどうかを設定
9	非通知着信時の設定	[非通知の電話を着信しない]チェックボックス	非通知の電話を着信しないかどうかを設定
10		[公衆電話からの電話を着信しない]チェックボックス	公衆電話からの電話を着信しないかどうかを設定
11		[通知圏外からの電話を着信しない]チェックボックス	通知圏外からの電話を着信しないかどうかを設定
12		[他のサービス競合時の電話を着信しない]チェックボックス	他のサービス競合時の電話を着信しないかどうかを設定
13	映像品質の設定	[映像品質]コンボボックス	映像通話時の映像品質を設定
14		[推奨スペック]ボタン	推奨スペック画面を表示
15	－	[詳細設定]ボタン	音声・映像・メディアファイル・着信音の設定の詳細設定画面を表示

6-5.1 推奨スペック画面

映像音声通信設定画面で、[推奨スペック]ボタンを押下した際の推奨スペック画面について説明します。



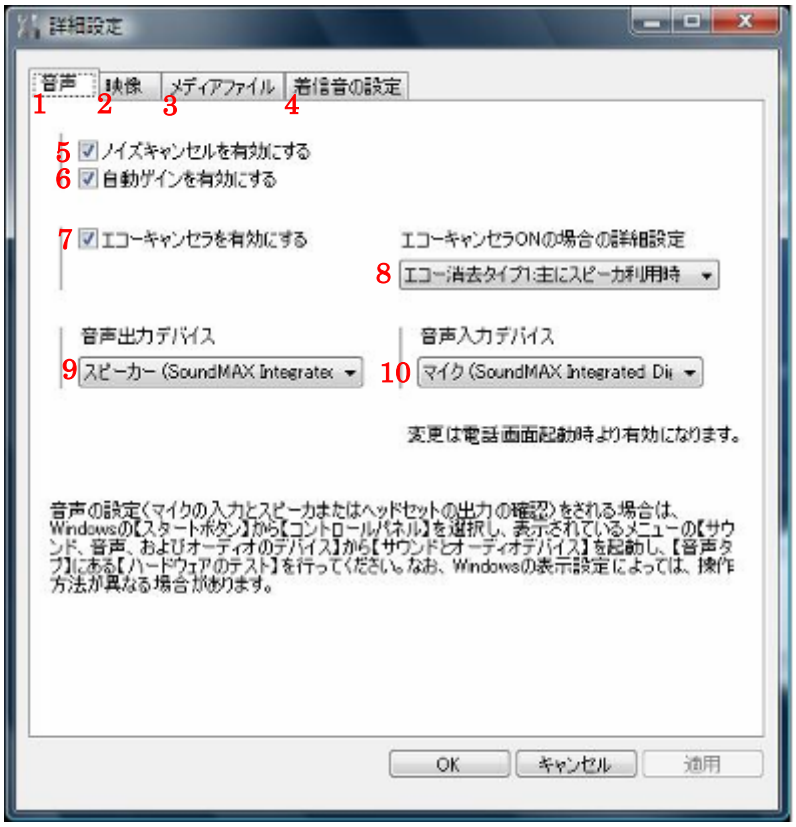
環境設定画面－推奨スペック画面

環境設定画面－推奨スペック画面

項番	名称	説明
1	[閉じる]ボタン	推奨スペック画面を閉じることが出来る
2	[OK]ボタン	推奨スペック画面を閉じることが出来る

6-5.2 映像音声通信－音声

映像音声通信設定画面で、［詳細設定］ボタンを押下した際の音声設定画面について説明します。



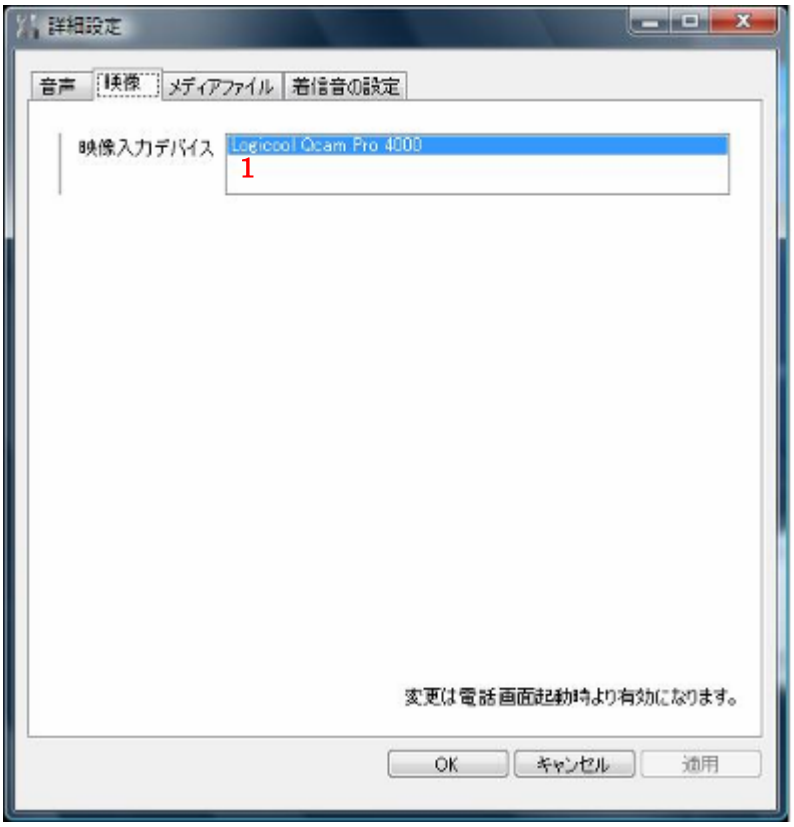
環境設定画面－映像音声通信タブ－詳細設定画面－音声タブ

環境設定画面－映像声通信タブ－詳細設定画面－音声タブ説明

項番	名称	説明
1	[機能切り替え]タブ (音声)	音声設定画面を表示
2	[機能切り替え]タブ (映像)	映像設定画面を表示
3	[機能切り替え]タブ (メディアファイル)	メディアファイル設定画面を表示
4	[機能切り替え]タブ (着信音の設定)	着信音設定画面を表示
5	[ノイズキャンセルを有効にする] チェックボックス	ノイズ除去機能を有効
6	[自動ゲインを有効にする] チェックボックス	自動ゲイン機能を有効
7	[エコーキャンセラを有効にする] チェックボックス	エコーキャンセラを有効
8	[エコーキャンセラ ON の場合の詳細設定] コンボボックス	エコーキャンセラが有効のとき、エコーキャンセラの詳細設定
9	[音声出力デバイス] コンボボックス	音声出力用のデバイスを選択
10	[音声入力デバイス] コンボボックス	音声入力用のデバイスを選択

6-5.3 映像音声通信－映像

映像音声通信設定画面で、［詳細設定］ボタンを押下したときの映像設定画面について説明します。



環境設定画面－映像音声通信タブ－詳細設定画面－映像タブ

環境設定画面－映像音声通信タブ－詳細設定画面－映像タブ説明

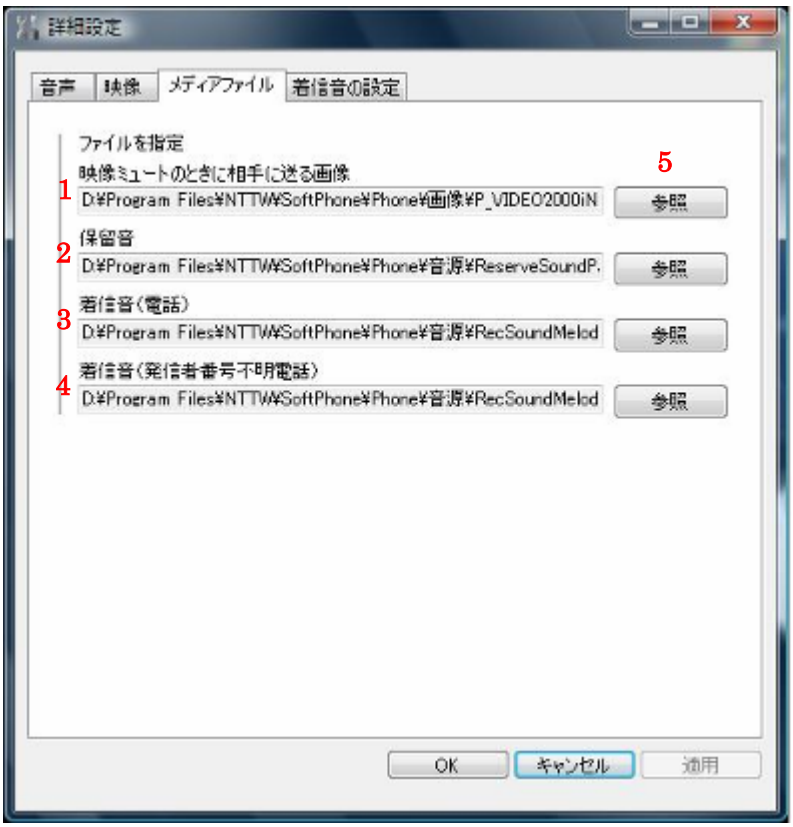
項番	名称	説明
1	［映像入力デバイス］ リストボックス	映像入力デバイスを選択 デバイスが存在しない場合、空表示

6-5.4 映像音声通信－メディアファイル

ご注意

①保留音、着信音には１６bit/１ch/１６kHzで作成された音源ファイル（.wav）のみ使用可能です。ひかりソフトフォンで使用できない音源ファイルで設定すると保留音が流れず、無音となります。

映像音声通信設定画面で、［詳細設定］ボタンを押下したときのメディアファイル設定画面について説明します。



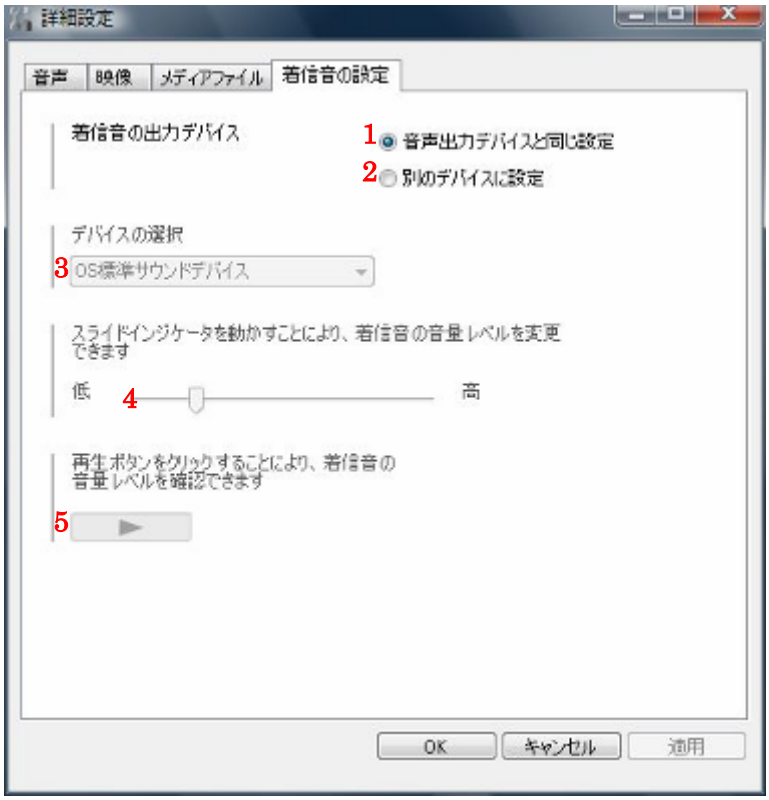
環境設定画面－映像音声通信タブ－詳細設定画面－メディアファイルタブ

環境設定画面－映像音声通信タブ－詳細設定画面－メディアファイルタブ説明

項番	名称	説明
1	[映像ミュートのときに相手に送る画像] テキストボックス	映像ミュートモードのときに相手に送る画像として現在設定中のファイルの場所 （利用可能画像はビットマップに限ります。）
2	[保留音]テキストボックス	保留音として現在設定中のファイルの場所
3	[着信音(電話)] テキストボックス	着信音・着メロ(電話)として現在設定中のファイルの場所
4	[着信音(発信者番号不明電話)]テキストボックス	着信音・着メロ(発信者番号不明電話)として現在設定中のファイルの場所
5	[参照]ボタン	1～4 までのファイルの場所を設定するためのファイル参照画面を表示

6-5.5 映像音声通信－着信音の設定

映像音声通信設定画面で、[詳細設定]ボタンを押下したときの着信音の設定画面について説明します。



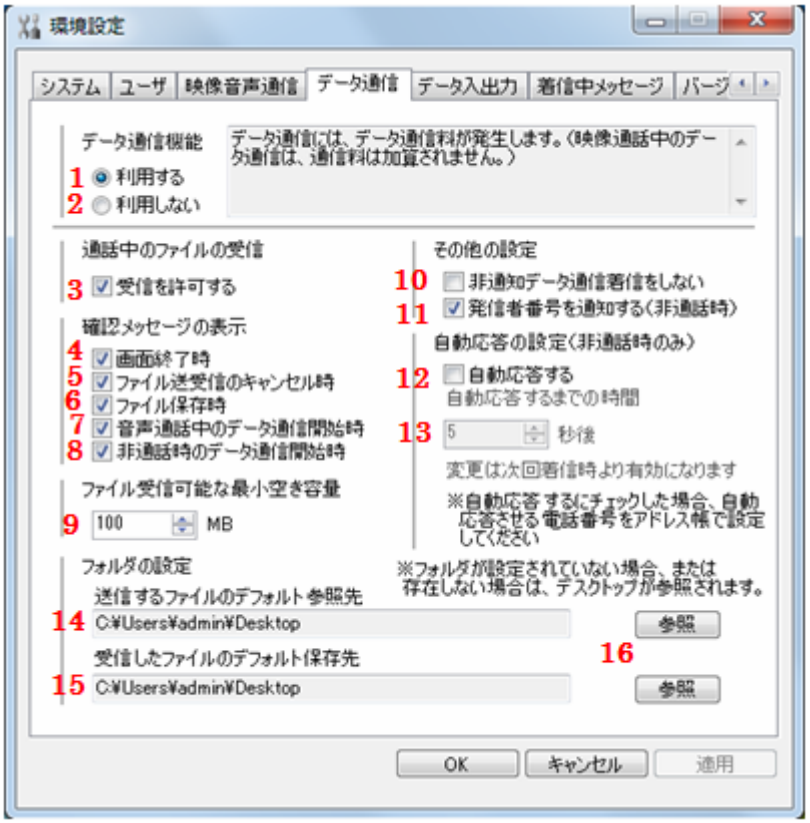
環境設定画面－映像音声通信タブ－詳細設定画面－着信音の設定タブ

環境設定画面－映像音声通信タブ－詳細設定画面－着信音の設定タブ説明

項番	設定対象	名称	説明
1	着信音の出力デバイス	[音声出力デバイスと同じ設定]ラジオボタン	着信音を音声と同一のデバイスに出力
2		[別のデバイスに設定]ラジオボタン	着信音を音声と別個のデバイスに出力
3	デバイスの選択	[デバイスの選択]コンボボックス	[別のデバイスに設定]ラジオボタンを選択したとき使用可能 着信音を出力するデバイスを設定
4		スライドインジケータ	着信音の音量レベルを変更
5		[再生]ボタン	着信音を再生

6-6.1 データ通信

環境設定のデータ通信設定画面について下記に示す。



環境設定画面－データ通信タブ

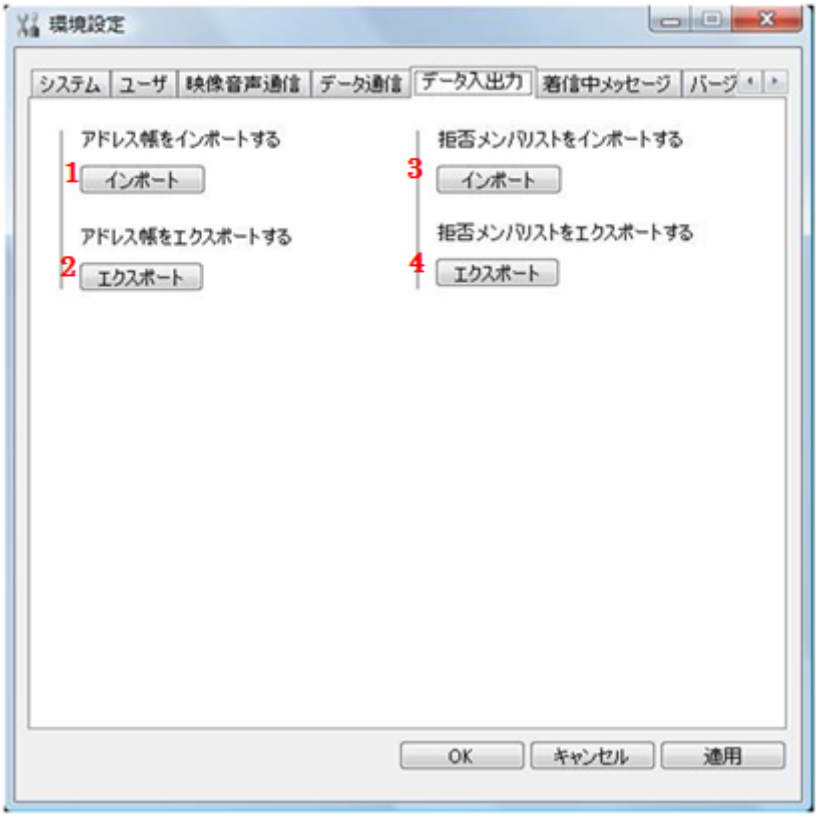
環境設定画面－データ通信タブ説明

項番	設定対象	名称	説明
1	データ通信機能の利用設定	[利用する] ラジオボタン	データ通信機能を利用する状態に設定
2		[利用しない] ラジオボタン	データ通信機能を利用しない状態に設定
3	ファイルの受信設定	[受信を許可する(通話中のみ有効)] チェックボックス	通話中にファイルの受信を許可するかどうかを設定
4	確認メッセージの表示設定	[画面終了時」 チェックボックス	データ通信画面終了時に確認メッセージを表示するかどうかを設定
5		[ファイル送受信のキャンセル時] チェックボックス	ファイル送受信キャンセル時に確認メッセージを表示するかどうかを設定
6		[ファイル保存時] チェックボックス	ファイル保存時に確認メッセージを表示するかどうかを設定
7		[音声通話中のデータ通信開始時] チェックボックス	音声通話中のファイル送信時に確認メッセージを表示するかどうかを設定
8		[非通話時のデータ通信開始時] チェックボックス	非通話時のファイル送信時に確認メッセージを表示するかどうかを設定
9	ファイル受信可能な最小空き容量の設定	[ファイル受信可能な最低空き容量] スピンボックス	ファイル受信可能を可能とするディスクの最低空き容量を設定
10	その他の設定	[非通知のデータ通信を着信しない] チェックボックス	非通知のデータ通信を着信するかどうかを設定
11		[発信者番号を通知する(非通話時のみ)] チェックボックス	非通話時に発信者番号を通知するかどうかを設定
12	自動応答の設定(非通話時のみ) その他の設定	[自動応答する] チェックボックス	データ通信着信時に自動で応答するかどうかを設定
13		[自動応答するまでの時間]スピンボックス	自動応答までの時間を秒で設定
14	フォルダの設定	[送信するファイルのデフォルト参照先] テキストボックス	送信するファイルのデフォルト参照先フォルダの場所を表示
15		[受信したファイルの	受信したファイルのデフォルト保存先フ

項番	設定対象	名称	説明
		デフォルト保存先] テキストボックス	ォルダの場所を表示
16		[参照]ボタン	14～15 のフォルダの場所を設定するためのフォルダ選択ダイアログを表示

6-7.1 データ入出力

環境設定のデータ入出力設定画面について説明します。



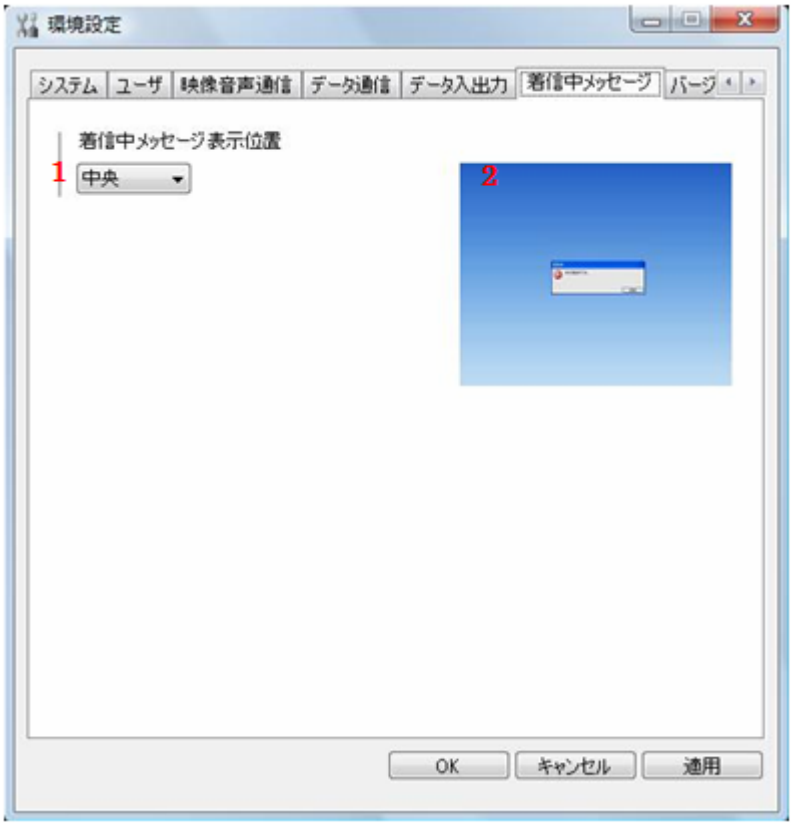
環境設定画面－データ入出力タブ

環境設定画面－データ入出力タブ説明

項番	設定対象	名称	説明
1	アドレス帳	[インポート]ボタン	vCard 形式のファイルをアドレス帳に追加する
2		[エクスポート]ボタン	アドレス帳のデータを vCard 形式のファイルに書き出す
3	拒否メンバリスト	[インポート]ボタン	csv 形式のファイルを拒否メンバリストに追加する
4		[エクスポート]ボタン	拒否メンバリストのデータを csv 形式のファイルに書き出す

6-8.1 着信中メッセージ

環境設定の着信中メッセージ設定画面について説明します。



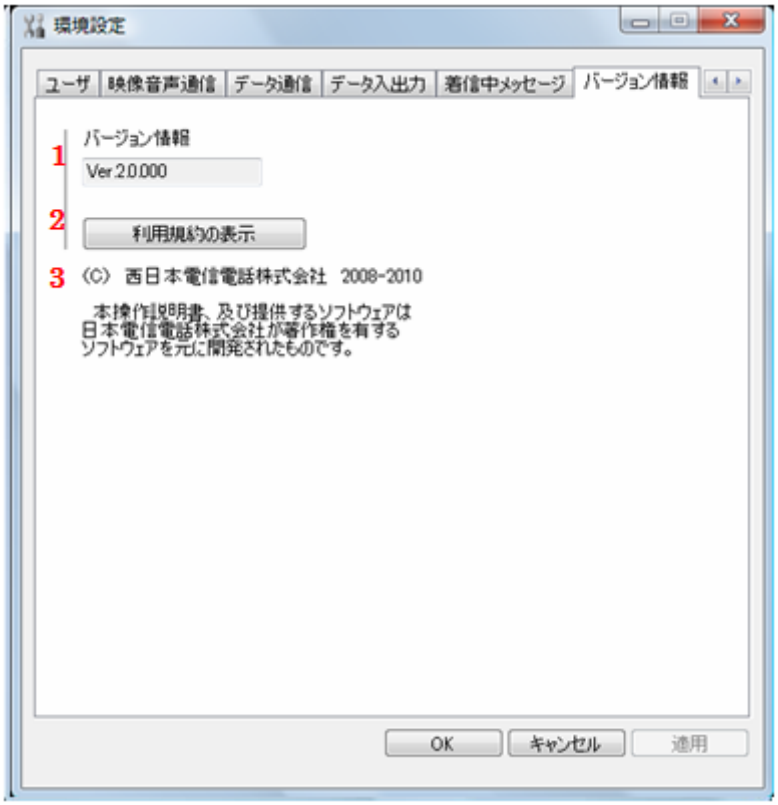
環境設定画面－着信中メッセージタブ

環境設定画面－着信中メッセージタブ説明

項番	名称	説明
1	[着信中メッセージ表示位置] コンボボックス	着信中メッセージの表示位置を選択することが出来る
2	[着信中メッセージ表示位置] ビットマップイメージ	[着信中メッセージ表示位置] コンボボックスで設定した部位に実際どのように表示されるかの確認が出来る

6-9.1 バージョン情報

環境設定のバージョン情報画面について説明します。



環境設定画面－バージョン情報タブ

環境設定画面－バージョン情報タブ説明

項番	名称	説明
1	**[バージョン情報] テキストエリア**	**現在のバージョン情報が表示される**
2	[利用規約の表示]ボタン	利用規約画面を表示
3	**[著作権情報] テキストエリア**	**著作権情報が表示される**

6-9.2 利用規約

バージョン情報画面で、[利用規約の表示]**ボタンを押すと、ひかりソフトフォンの利用規約が表示します。**

環境設定画面－バージョン情報タブ－利用規約画面

環境設定画面－バージョン情報タブ－利用規約画面

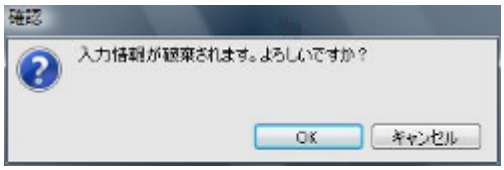
項番	名称	説明
1	[閉じる]ボタン	利用規約画面を閉じることが出来る

6-9.3 環境設定の終了

環境設定の終了方法について説明します。

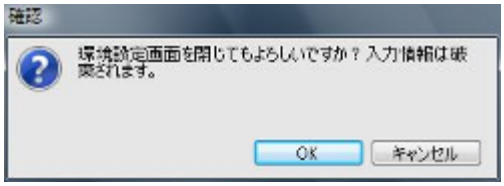
環境設定画面下部の [OK] ボタン押下による終了（更新を適用して環境設定を閉じる）

環境設定画面下部の [キャンセル] ボタン押下による終了（変更がある場合は、確認ダイアログが表示され [OK] ボタンを押下すると入力情報を破棄して環境設定を閉じる、[キャンセル] ボタン押下時は環境設定を閉じない）



キャンセルボタン押下時の確認ダイアログ

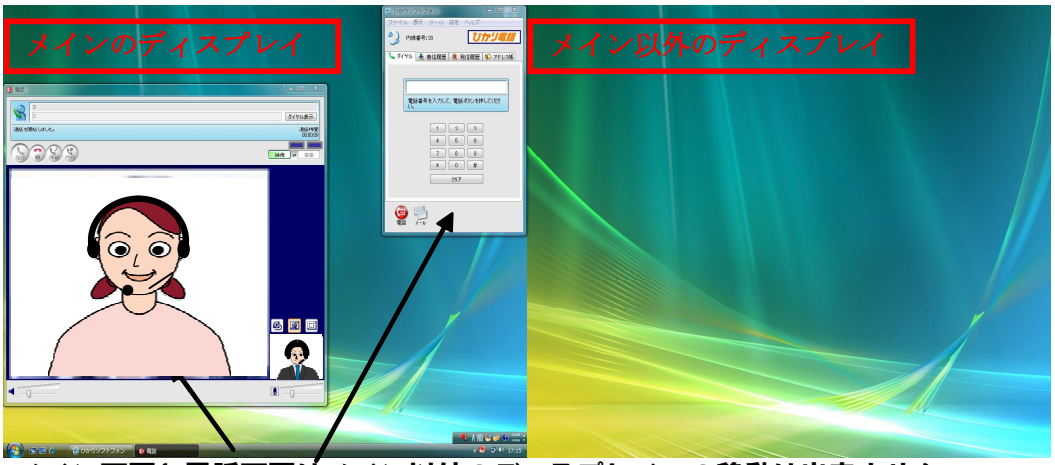
[閉じる] ボタン押下による終了（変更がある場合は、確認ダイアログが表示され [OK] ボタンを押下すると入力情報を破棄して環境設定を閉じる）



閉じるボタン押下時の確認ダイアログ

（参考）マルチディスプレイ環境での画面の移動について

マルチディスプレイ環境では、メイン画面及び電話画面はメイン以外のディスプレイには表示されません。



メイン画面と電話画面はメイン以外のディスプレイへの移動は出来ません。

マルチディスプレイ環境での画面の移動について

ご注意

①デスクトップ共有エリア画面、アドレス帳画面、拒否メンバリスト画面はメイン以外のディスプレイへ移動することが出来ます。
②ひかりソフトフォン起動後に、パソコンの「画面の設定」（マルチディスプレイの設定）や「テーマ」を変更した場合、メイン画面/電話画面については、設定変更後のメインディスプレイ上で最小化状態となります。
③デスクトップ共有エリア画面は終了した場所で再度起動するため、マルチディスプレイ環境からシングルディスプレイ環境へ変更する際は、デスクトップ共有エリア画面はメイン画面で終了してください。シングルディスプレイ環境においてデスクトップ共有エリア画面が表示されません。